

氏麟
實驗心理學

英國博士リンドナル氏原著
日本文學士有賀長雄校閱
田中治六三石賤夫譯



下卷

東京

牧野書房刊



氏麟 實驗心理學下卷目次

第三章 智力

目次	頁
第四十八節 思考概論	二六三
第四十九節 斷定	二六九
第五十節 推理	二七三
第五十一節 斷定ノ眞實	二七八
第五十二節 概念ノ構成	二八一
第五十三節 概念ノ種類	二八五
第五十四節 言語及ヒ思想	二九一
第五十五節 言語ノ生成	二九六
第五十六節 人間悟性ノ發達	三〇一
第五十七節 空想	三〇七

第四章 自識

二

第五十八節	自己身體ノ心象タル「我」	三一二
第五十九節	心象ノ叢會境タル「我」	三一六
第六十節	經歷上ノ「我」	三二二
第六十一節	社會上ノ「我」タル「我等」	三二八
第六十二節	內覺	三三二

第二編 感情

第六十三節	感情ノ成立	三三九
第六十四節	感情ノ內容、調節強度及ヒ連續	三四四
第六十五節	感情及ヒ心象	三四七
第六十六節	感情ノ分類	三五一
第六十七節	普通即チ形式の感情	三五四
第六十八節	覺官の感情	三九

第六十九節	其他ノ劣等感情	三六四
第七十節	高等感情	三六七
第七十一節	智力的感情	三七〇
第七十二節	審美的感情	三七四
第七十三節	審美的感情ノ元素及ヒ全體、美ノ形躰及ヒ內容	三八二
第七十四節	審美的趣味	三八七
第七十五節	道德的的感情	三九一
第七十六節	宗教的的感情	三九五
第七十七節	我情	三九八
第七十八節	同情	四〇三
第七十九節	感情ノ相互作用	四〇九
第八十節	情動即チ激情	四一四

第八十一節 激情ノ彙類……………四二〇

第三編 意力(努力)

第一章 願望

第八十二節 願望……………四二五

第八十三節 願望ノ満足……………四二八

第八十四節 意力ト心象及ヒ感情トノ關係……………四三二

第八十五節 願望ノ相互作用……………四三八

第二章 願望ノ特形

第八十六節 願望ノ彙類……………四四二

第八十七節 動向……………四四五

第八十八節 偏向及ヒ性癖……………四五二

第八十九節 激情……………四五五

第九十節 激情ノ起原其消長……………四六〇

第九十一節 激情ノ異種……………四六六

第九十二節 激情及ヒ激情……………四七〇

第三章 意志

第九十三節 意志概論……………四七四

第九十四節 意志ノ發達……………四七八

第九十五節 意志ノ外ニ對スル作用、動作及ヒ行爲……………四八四

第九十六節 意志ノ内ニ對スル作用、心狀ノ任意……………四八九

第九十七節 反省及ヒ自定……………四九四

第九十八節 心理的自由……………四九六

第九十九節 理性……………五〇四

第一百節 性格……………五一〇

麟氏實験心理學下卷目次畢

附錄 精神病

第百一節 歸責……………五二七

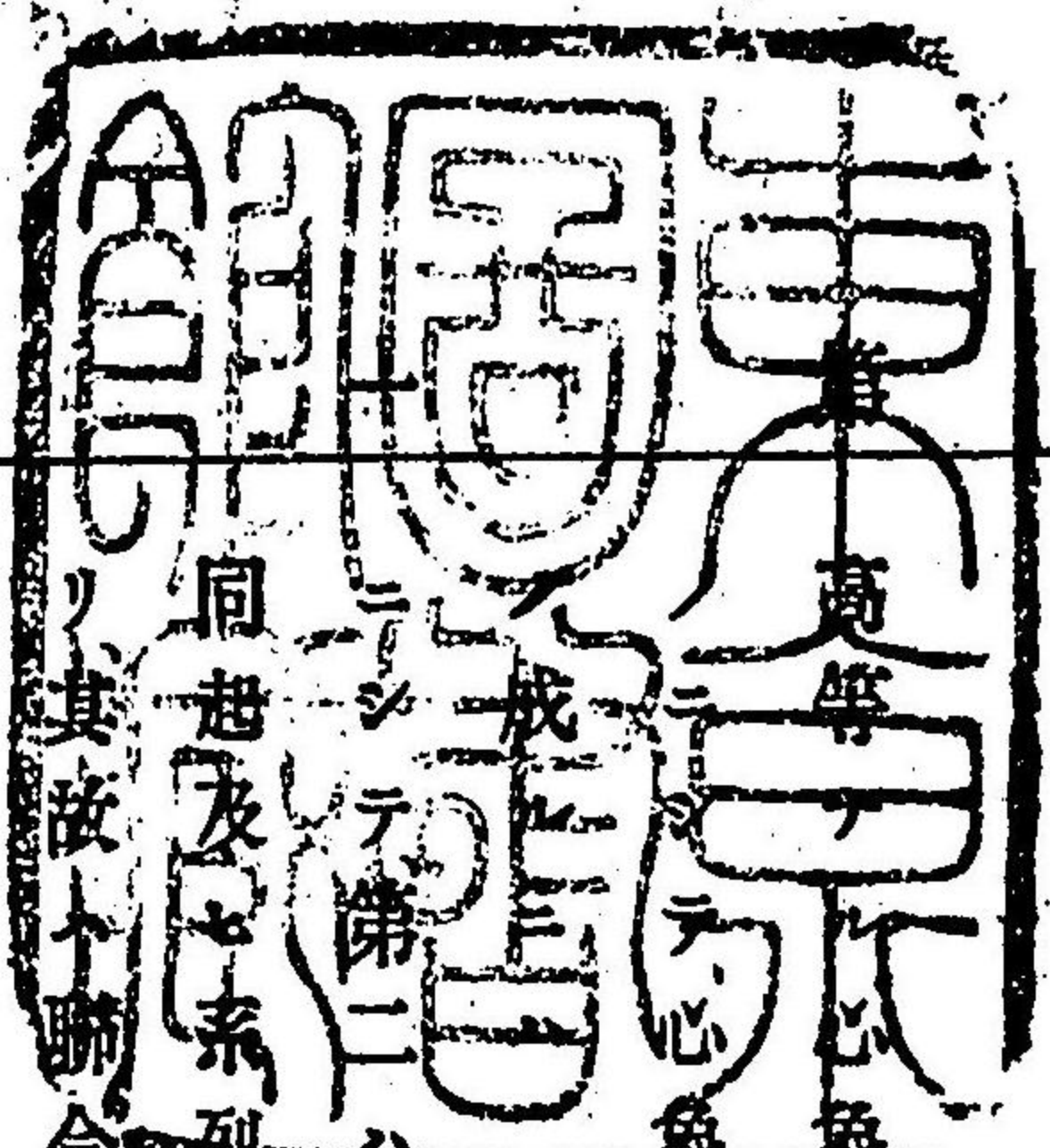
第百二節 夢ハ精神病ノ模型ナリ……………五二三

第百三節 健全ノ精神生活内ニ於ケル心理的攪亂……………五二八

第百四節 精神病ノ發生……………五三二

第百五節 精神病ノ主ナル形狀……………五三九

第百六節 病症ノ影響ニ由レル精神作用ノ增強……………五四五



第三章 智力

第四十八節 思考概論

結構ハ、其特殊ノ模型ヲ吾人ノ精神生活上ニ印象スルモ
 聯合ノ生起スル方法ニ基キテ構成セラル、ナリ。聯合
 大原則アリ、第一ハ心象ノ内容ノ原則同一、類似、差異、相反
 同起ノ原則及ヒ此原則ニヨリテ成レル系列ナリ。
 同起及ヒ系列ニ基クル心象ノ聯合ハ、偶然的ナリ、外面的ナリ、機械的ナ
 リ、其故ト聯合ノ理由ハ、全ク吾人ノ意識内ニテ心象ノ偶然ニ會遭セル
 事實ニ在リテ、決シテ或内容上ノ内部ノ關係ニ基クモノニアラザレハ
 ナリ。故ニ此聯合ニテハ相背反スルモノ、或ハ全ク不同ナルモノヲモ
 結合スルヲ得、以テ意識外ノ如何ナル實物ニモ對合スルコトナキ心象
 ノ結合ヲ生ズルナリ。

聯氏實驗心理學

若シ努力或ハ特殊ノ目途ナク、吾思想ヲシテ自由ニ動作セシムルトキハ、無意ノ飛動及ヒ奇怪ナル結合ノ特性ヲ有スル、機械的進行ヲナスモノナリ。此ノ如キ進行ハ醒起及ヒ健全ノ状態ニ在ル時、尤モ善ク表ハル、モノニシテ、睡夢、心意錯亂及ヒ癡狂ニ在リテハ、心象ノ機械的聯合ノ純然タル模型ヲ見ルコトナシ。

心象ノ内容ニ基キ、隨ヒテ又必然内部的ニ且ツ論理的トシテ現ハル、聯合ハ大ニ右ト異ナリ。其結合ノ根據ハ心象ノ主觀的會遭ニ存セズシテ、其論理的ナル内容上ノ關係ニ在リ、而シテ此關係ハ奈何ナル事情ニ於テモ、一切ノ時順及ヒ一切ノ人心ニ於テモ、常ニ同一不變ナルモノナリ。心象ノ論理的聯合ハ反省論理的論争、科學上ノ論說、數學上ノ證明ノ狀ニ於テ最モヨク現ハル、ナリ。

心意現象ノ内容ニ應ジテ其心象ヲ齊整スルコトヲ思考ト稱ス、而シテ思考ノ能力ハ悟性理會力ナリ。

第一編

人アリ結合スベキモノヲ結合シ、分離スベキモノヲ分離スルトキハ、即チ心意現象ノ内容ニ隨ヒテ自ラ齊整セルモノトス。心象ノ元素即チ覺官感覺ハ、吾人ノ力ノ及バザル方法ヲ以テ吾人ニ與ヘラル、モノナレバ、思考ハ單ニ此等ノ元素間ニ設定スル總合ニ於テ其力ヲ表ハスベキノミ。實ニ結合及ヒ分離ノ作爲タル斷定ハ、思考ノ特殊作用ヲ成スモノナリ。人ニシテ斷定ヲナサンカ、即チ該人ハ亦思考スルモノナリ。斷定ニ由リテ元素ノ總合及ヒ分離ヲナサル心象ハ單ニ機械的斷定ニシテ、思考ニハアラザルナリ。

論理學ハ思想ノ三作用、即チ概念(普通總念)ノ構成、斷定、推理ヲ區別シ、而シテ此等ノ三作用ヲ以テ結局、概念及ヒ其關係ニ歸スルナリ。心理學上ニテハ、斷定ノ作爲ハ概念ノ構成及ヒ推理ニ先行スルモノトス、奈何トナレバ、概念ハ單ニ吾人カ事物ニ就テ斷定セシ結果ニシテ、推理ハ間接ノ斷定ニ過キザレバナリ。

(備考) 思考ハ、思考ニ適スル形式ヲ心象ニ與ヘンガ爲ニ、記憶ニ於テ保存セル心象ノ舊連絡ヲ攪亂セザルヲ得ザルコト屢々之アリ。斯ノ如ク舊物ヲ破壊シテ新物ヲ構成スル精神作用ニ於テハ、想像力ノ補助スルアリ、サレドモ想像力ハ獨立ノ限定力ニアラズシテ、寧ロ助勢カトシテ來ルノミ。若シ想像力ニシテ悟性ト共ニ急進スルトキハ、靜謐ナル思考運動ハ此ニ息止スベク、又想像力微弱ニシテ心象生活ノ舊來ノ偶成連絡ヲ攪動スルニ堪ヘザルトキモ、思考運動ハ拒斥セラルベシ。前ノ場合ハ、誇張及ヒ妄想ヲ事トセル詩學上ノ荒誕ニ於テ見ルベク、後ノ場合ハ、反對心象ヲ以テ意識ノ偶成連絡ヲ齊整スルニ堪ヘザル、憫ムヘキ愚者及ヒ白痴ノ狀ニ於テ知ルベシ。吾人ハ愚人ト論理的理由ニ基キテ論辨スベカラズ、彼ハ劣等ヲ以テ高等トシ、高等ヲ劣等ト認メ、且ツ一般ニ其意癡ニ隨ヒテ睿智ノ認ムル目的物ヲ翻弄スルモノナリ。然レドモ眞理ハ一切ノ恣意ニ超勝シ、如何ナ

ル最強意志ノ努力ト雖モ、スベテ一笑ニ付スルノミ、人或ハ之ヲ拒否シ、或ハ之ヲ曲歪シ又ハ廢棄スルコトヲ得、而カモ眞理ハ其自力ニヨリテ無窮ニ其眞價ヲ保スルモノナリ。

第四十九節 斷定

論理的斷定ハ疑問ト應答ヨリ生ズル如ク、心理的斷定ノ作用モ二ノ程度ヲ區別スベシ、即チ反省及ヒ決定ノ程度コレナリ。

第一ニ二ノ心象A及ヒBナカルベカラズ。此中、思想ノ進發スル一心象Aハ主位ニシテ、其通過スル他ノ心象Bハ賓位ナリ。故ニ主位ハ既定セルモノニシテ、賓位ハ添加セラル、モノナリ。

若シ二ノ心象A及ヒBノ外、現ハル、モノナキトキハ、二者ハ單ニ相融合シテ一體ノ心象ABヲ成スベシ、サレドモ是レ決シテAハBナリトノ斷定ニアラザルナリ。若シ又一ノ人ヲ知覺シテ之ヲ直ニ我友Bナリト認メタリトナサンニ、此場合ニモ單純ナル融合ヲ生ズルノミニシテ、

麟氏實験心理學

未だ斷定ニ達スルコトナシ。
 右ト異ナリ、若シ主位心象Aカ多數ノ反對心象B、C、D、E……等ヲ現
 ハストキハ、其各心象ハAト結合セシコトヲ要求スト雖モ、又他心象ノ
 同一ナル努力ニヨリテ其求ムル結合ヲ妨碍セラル、ガ故ニ、之トAト
 ノ結合ニ猶豫ヲ生シ、直ニ完成スルニ至ラズ。此ニ於テ動搖ヲ生シ、以
 テAハBナルカ、或ハCナルカ、或ハDナルカハ不定ナリ。是レ即チ反
 省、或ハ疑惑ノ状態ナリ、奈何トナレバ、吾人ハ「AハBナリ、又「AハBニア
 ラズ」ト、二ノ場合ヲ思量セザルヲ得ザレバナリ。此ノ如キ各ノ斷定ハ
 即チ未決的ナリ。
 反省ハ吾人カーノ知人ヲ見テ、而カモ其知人タルコトヲ速ニ認識セザ
 ルトキハ直ニ生起スルモノナリ。吾人ハ此場合ニ、該人Aヲ以テ知人
 Bナリト爲サムト欲スト雖モ、又同時ニ其朋友C、或ハDナラシカトモ
 思惟セラル、ナリ。又一ノ鳥ヲ見ルトナサシニ、其狀ハ吾人ヲシテ黃

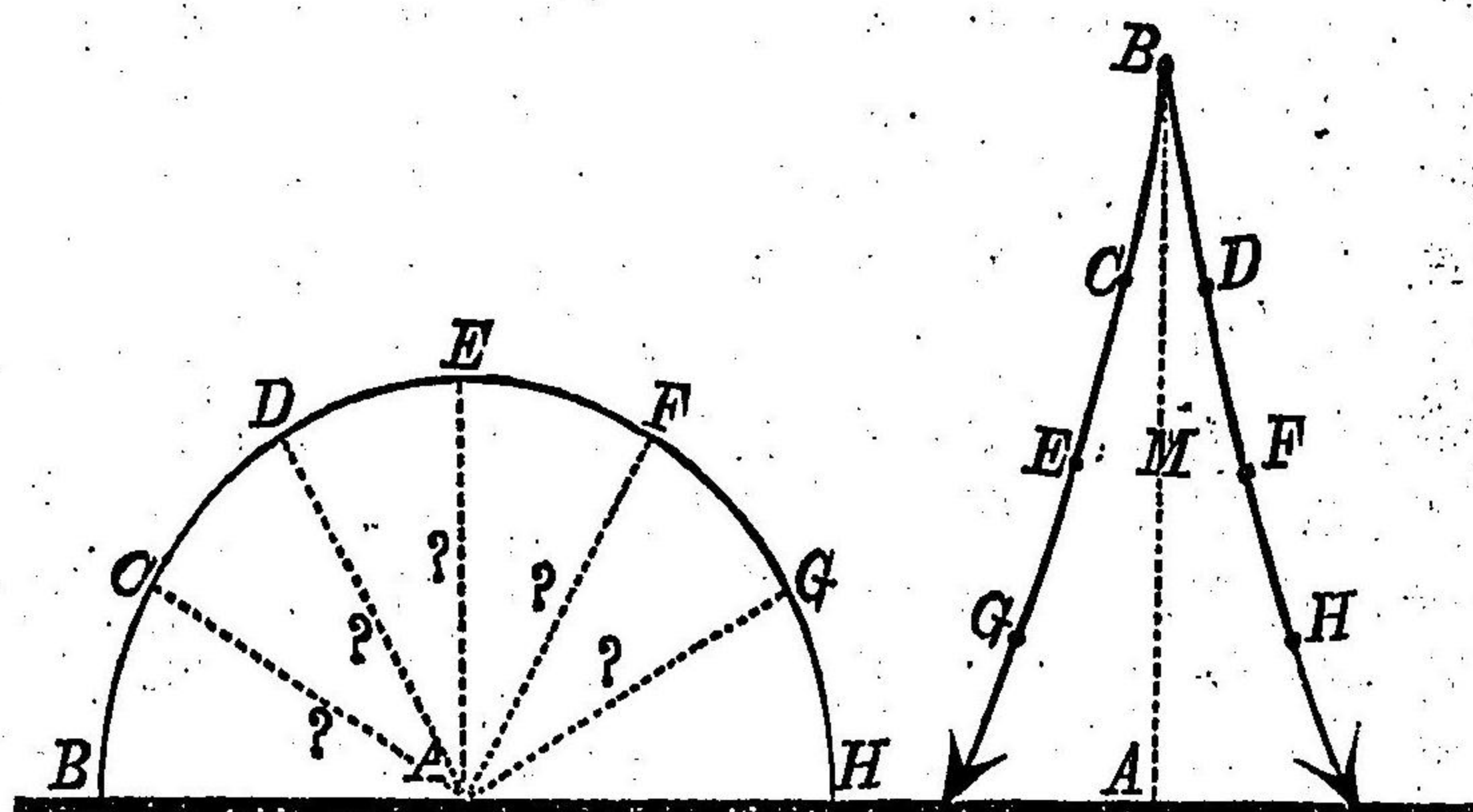
第一編

一

編

鵬、告天子、紅雀等ノ概念ヲ再現セシムベシ、此ニ於テ該鳥ハ此諸鳥中ノ
 一ナルガ如ク、又ハ他ナルガ如ク見ユルヨリ、其果シテ孰レナルカニ關
 シテ反省ヲ生ズルナリ。
 此ノ如キ反省ノ状態ハ、反對ノ賓位心象カ其迅速ニ變化スルニ拘ラズ、
 彰著ノ同一度ヲ以テ意識内ニ現ハル、ノ間永續スルモノナリ。サレ
 ドモ、或他ノ心象M現ハレ來リテBニ斷然タル幫助ヲ與へ、爲ニ之ヲシ
 テ確乎トシテ意識内ニ興起セシメ、反對心象C、D、E……ヲシテ沈降
 セシムルトキハ、直ニ或賓位心象Bノ勝利トナリテ、反省ヲ終ルベシ。
 今ヤB及ヒAノ結合ヲ妨クベキモノ一モ存スルコトナキガ故ニ、此結
 合ハ右ノ特殊ナル事情ニヨリテ、AハBナリノ斷定トナルナリ。是レ
 即チ斷定ノ第二程度タル決定ナリ。
 反省ノ程度ニ於ケル多クノ賓位心象ノ關係ハ、へるばると氏ニ隨ヒテ
 圓狀穹形ニ比較スベシ、決定ノ程度ニ於ケル其關係ハ尖狀穹形ニ比較

圖八第



AハBナルカ、或ハOナルカ、
或ハD……ナルカノ一ナリ。
AハMナルカ故ニBナリ、
AハO、D……ニアラズ。

スベシ。今之ヲ圖形上、上ノ如ク表示
スルヲ得ベシ。
心象Mハ決定ヲ提起スルモノニシテ、
断定ノ心理的、理由ナリ。此鳥ハ黃鸝
ナリ、奈何トナレバ特殊ノ鳴聲ヲ發ス
ルカ故(M)ナリ、此人ハ知人Bナリ、奈何
トナレバ特殊ノ歩行ヲ爲スカ故(M)ナ
リ。
断定ノ作爲ハ自覺作用ナル概念ニ歸
スベキモノナリ。即チ未タ正シク確
定セザル主位心象ハ新入ノ心象ニシ
テ、之ニ比スレバ更ニ老舊、強勁ナル實
位心象ニヨリテ自覺セラル、モノナ

リ。

(備考一) 各断定ハ唯一回ナサル、ノミ、其故ハ、断定ニヨリテ一決シ
タル疑惑ハ、若シ該反省ニシテ根本的ノモノナルトキハ、將來永ク確
定シテ動クコトナクレバナリ。是ノ故ニ少年ハ、成人ノ既ニ断定ヲ構
成セシ所ニ隨ヒテ判断スルコトヲ得ベシ。真正ノ各断定ハ同時ニ
吾人ノ智識ノ擴張ヲ表スルモノナリ、是レ断定ハ從前ニハ想ヒ到ラ
ザリシ、思考物ノ内容ニ應ズル結合ヲ新ニ提起スルモノナレバナリ。
凡テ思考ノ進歩ハ断定ノ作爲ト相駢進セリ。分解的断定ハ單ニ吾
人ノ智識ヲ闡明スルノミナレドモ、總合的断定ハ之ヲ擴張スルモノ
ナリ。

(備考二) 断定ノ作爲ハ抵抗ヲ受ケズシテ現ハル、コトナキガ故ニ
之ヲ純然タル心象ノ聯合ト區別スベシ。此抵抗ハ反省ノ心狀内ニ
在ル反對ノ實位心象ヨリ生ズルナリ。是カ故ニ、抵抗ノ存セザルト

キハ斷定ヲ言明スルコトナシ、例ヘバ事變カ吾人ニ期待セシ如クニ起ル場合ノ如シ。サレドモ、若シ主位心象カ之ニ伴ヒテ、前ノ期待ト相反セル心象ヲ意識内ニ喚起ストキハ、此目前ノ期待ハ主位心象及ヒ其隨伴心象ノ間ニ限ラル、ガ故ニ、此ニ判斷ノ必要ヲ覺フベシ。例ヘバ吾人カ「病者ハ死セリ」ト言フハ、該人ノ生活ヲ期待シタルガ故ナリ。

(備考三) 動物モ、亦斷定スルコトヲ得ルカ。犬ハ其主ヲ認メ、人ヨリ之ニ對シテナセル標號ヲ解シ、溝渠ニ達スルトキハ、之ヲ跳過スルヲ得ベキカ否ヤヲ自ラ決斷スル等ノ能力アリ。其他、吾人ハ往々動物界ニ於テ斷定作用ノ或類例ヲ見ルト雖モ、而カモ尙ホ動物ハ、特殊ノ思量的反省、及ビ現出セル數實位中ニ就テ、意識的撰擇ヲナス力ヲ缺クリ。動物ノ斷定ガ、常習及ビ馴養ヨリ生ヅタル心象ノ聯合ニ基クルモノナルコトハ、若シ動物ヲ未タ習熟セザル地位ニ置キ、且ツ從來

自己ノ經驗ノ外ハ他ニ全ク倚ルモノナキ狀ニ遺棄シ、以テ一己ノ反省ニヨリテ判斷セザルヲ得ザラシムル場合ニ於テ尤モ明ナリ。サレドモ、豈タゞ動物ノミヲ然リトセンヤ、兒童及ビ單ニ機械的生活ノミニ慣レシ成人ニアリテモ、若シ之ヲ全ク新奇ノ地位及ビ關係ニ置キ、且ツ其一己ノ悟性ニ、換言スレバ、獨立ノ斷定ヲ構成スベキヤウ放任セラレ、トキハ、其智腦ヲ失スルモノナリ。

第五十節 推理

論理學ニ於テハ推理ヲ以テ間接的斷定トシテ現ハスナリ。二ノ概念A及ビBノ論理的關係ハ、第三概念即チ中位概念Mニ對スル關係ニヨリテ間接ニ限定セラレ、モノナリ。心理學上ニテハ各斷定ハ皆間接的ナリ。獨立ニ成レル各ノ斷定ハ皆先ツ反省ヲナシ、而シテ此反省ハ其心理的理由タルM(第四十九節)ノ現出ニヨリテ決定ニ達スルモノナリ。

麟氏實驗心理學

然レドモ多數ノ場合ニ於テハ、此決定ハ甚ダ迅速ナルガタメニ、該作用ト共ニ活動シタル理由ヲ明カニ認識セザルナリ。纔ニ心意修養ヲ受ケタル人、特ニ兒童、婦人ニシテ屢、正當ノ斷定ヲナスコトアルハ、彰著ナル意識内ニ現ハレズシテ而カモ決定ヲ影響シタル、或蒙蔽心象ノ結果トシテ之ヲ説明スベシ。若シ此ノ如キ人ニ對シテ何故ニ斯ノ如ク決定セシカヲ問フトキハ、一モ満足ナル理由ヲ示スコト能ハザルナリ。此點ニ就テ、婦人ノ智力的本能ハ頗ル感ズベキモノト謂フベシ、即チ婦人ハ全ク論理的方法ヲ以テ其思考ヲ構成スルコトヲ知ラザレトモ、常ニ能ク眞理ニ的中スルモ、往々兒童ノ感想ニヨリテ直ニ開現セラレハ、コトアリ。此ノ如キ蒙蔽ナル心理的理由ヨリ生シタル斷定ハ、其正當ヲ保證スベキモノ殆ト無シ。故ニ最高度ノ理證ヲ以テ辨セザルヲ得ザル場合、例ヘバ科學上ノ證明、論理的辨論等ニアリテハ、吾人カ斷定セシ所以ノ理由ヲ明ニ識覺セザルベカラズ。是レ即チ中位概念Mト二ノ主ナル概念A及ヒBトノ關係ヲ、斷定ニヨリテ限定スル際ニ見ル所ニシテ、此場

合ニハ之ヲ前提ト稱スルナリ。

第

論理學ハ中位概念Mノ媒介ニヨリテ、二ノ前提ヨリ「AハBナリ」トノ斷案ヲ推續シ得ベキ、各種ノ推測式ヲ現ハスコトヲ以テ職務トナスモノナリ。斯學ハ推理上ノ有ラユル諸式ハ、第一合式的圖式ト稱スル一ノ根本形式ニ歸スルヲ得ベキコトヲ示セリ、此圖式ハ即チ左ノ如シ、

MハBナリ、
大前提

AハMナリ、
小前提

故ニAハBナリ。
斷案

編

大前提ハ普通理法ニ對合シ、小前提ハ特殊ノ場合ヲ指定スルモノニシテ、此小前提ハ斷案ニ於テ普通理法ノ下ニ包攝セラル、ナリ。然レドモ普遍ヨリ特殊ニ移ルハ、殆ト思想ノ心理的順路ニ對合セザルナリ、奈何トナレバ、思想ハ目前ノ場合ヲ以テ端ヲ發スルモノニシテ、斯ノ如キ場合ハ具體的ニ又個體的ナレバナリ。是カ故ニ既ニどろーびッ

し、氏ノ望ミシ如ク、心理學上ノ使用ニ供セン爲メ、右論理的推理ノ根本形式ニ於ケル前提ハ、順序ヲ反轉スルハ相當ナルベシ、即チ左ノ如シ、

A ハ M ナリ、
小前提

M ハ B ナリ、
大前提

A ハ B ナリ。
斷案

即チ M ハ A ノ特性(標記)ニシテ、B ハ M ノ特性ナリ、故ニ B ハ A ノ特性ナリ。

此事ハ若シ數多ノ中位概念ヲ通シテ移リ行クトキハ、尤モ明瞭ナルベシ。而シテ此連鎖中ニテ心理上ノ思考ニ對合スルモノハ唯、ありすとてりあん躰ノミニシテ、こぐれにあん躰ハ然ラザルナリ。

(備考) 推理ノ要點ハ特殊ヲ以テ普遍ノ下位ニ從屬セシムルニ在リ。サレドモ、經驗スベキモノハ單ニ特殊ノミニシテ、現實ニ存スルモノハ特リ個躰ノミナレバ、推測式ノ大前提タル普遍ノ斷定ハ特殊或ハ

個躰ヨリ推續セザルベカラズ。此等ノ斷定ハ多クハ歸納論理ノ法ニヨリテ起リシモノナリ。即チ一ノ場合或ハ同種類ノ多クノ場合ニ合理ナルコトハ、又同種類ノ一切ノ場合ヲ通シテ合理ナラザルベカラズト論結スルモノ是ナリ。歸納法ノ斷案ハ論理上ヨリ考フルトキハ、單ニ蓋然推理ノ一ニ過ギズ、然ルニ之ヲ心理上ヨリ觀ルトキハ、最高度ノ主觀的理證ヲ有スルコト甚ナカラザルナリ。例ヘバ是レマデ太陽ハ毎日昇リシカ故ニ、明日モ亦昇ルナラントノ事ハ、何人モ其理證ニ於テ、二テ二倍スレバ四ナリトノ事ニ劣ラザル一真理ナリト看做スナラン。而カモ此真理ハ唯、蓋然推理ニ基クノミナリ。其他、尋常人ノ歸納的推理ハ其無分別ナルヲ以テ特性トス、是レ諸人ハ斷定ヲナスニ方リ、己カ概括ヲサントノ衝動ニ從ヒテ、往々個々二三ノ場合ヨリ急卒ニ、無證ノ斷案ヲ推續セントスルモノナレバナリ。(著者ノ論理學第三十六節ヲ參看スベシ)。吾人ノ續釋的推理ノ

基礎タル大前提ハ多クハ歸納法ヨリ生シタルモノニシテ、隨ヒテ其有スル普遍性ハ單ニ借り來リシモノ、ミ。例ヘバ「總テノ人ハ死スベシ」トノ前提及ヒ之ニ類セル他ノ前提ハ、單ニ歸納上ノ普遍性ヲ有スルノミナリ。

第五十一節 斷定ノ眞實

斷定ノ眞實ナルハ吾人ノ諸心象間ニ於テ、其内容ニ對合スル所ノ結合ヲ提起スルカ、或ハ斯カル分離ヲ存スル時ニアリ。「人ハ死スベシ」トノ斷定ハ眞實ニシテ、白聖ハ元素ナリ」トノ斷定ハ誤謬ナリ、其故ハ、第一ノ斷定ニテハ、主位及ヒ賓位ノ間ニ主張スル結合ハ思考物ノ内容ニ對合スト雖モ、第二ノ斷定ニテハ此内容ニ背反スルモノナレバナリ。斷定ノ眞實或ハ誤謬ナルハ、之ニ先チテ行ヒタル反省及ヒ決定ノ種類及ヒ方法ニ由レリ。過半ノ斷定カ誤謬ニ陷ルハ、如何ナル反省ヲモナサズシテ、第一ニ心内ニ現出セル賓位ヲ以テ主位ニ結合スルカ故ナリ。

第一編

一

斯ノ如ク反省ナクシテ作りタル斷定ヲ「臆斷」ト稱ス。其他ノ斷定ニ於テハ實ニ反省ヲ行フト雖モ、其中ニ總テ現ハルベキ諸賓位ヲ包括セザルヨリ、一方ニ偏スルコトアリ。最後ニ、總テノ賓位ヲ商量スト雖モ、既ニ預メ或決定ヲサントスル傾アルヨリ、必須ナル「斷定ハ公平」ヲ缺略セルモノアリ。此狀態ニ於テハ意識内ニ一ノ心象或ハ心象群Ⅲアリテ、現出セル諸賓位中ノ或一賓位ヲ隱ニ幫助スルモノトス、而シテ該心象ノ依レル根據ハ思考物ノ内容ニ在ラズシテ、心情ノ主觀的性質即チ願望、偏向、欲情、臆斷ニ存スルモノナリ。此理ニ由リテ、人ハ思考スルニ當リ自ラ生ゼント欲セシ結果ヲ生起スルコト屢之アリ。是レ即チ主觀的理由ヨリ判斷シタルモノナリ。此種ノ主觀的、理由ハ心象ナレドモ、其心象タルヤ内部ノ關係ニヨリテ主位及ヒ賓位ニ屬スルモノニアラズ、寧ロ單ニ偶然ノ聯合、即チ新入ノ覺官心象、一時ノ變心、或ハ純然タル常習ヨリ生ヒシ再現ノ如キニ由リ

テ、主位及ヒ賓位ニ附着スルモノナリ。此等ノ心象ハ反省ノ狀態ヲ決シテ、或賓位ノ勝利ニ歸セシムルコトヲ得レドモ、斷定ヲシテ其客觀的眞價ヲ求ムルコト能ハザラシム。

加旃斷定ヲシテ虚妄ナラシムベキ豫期、欲望及ヒ恐怖ノ如キモ屢決定ノ結果ヲ影響スルモノナリ。斯ク偏頗ノ心情ハ悟性ノ職務ニ干涉スルモノニシテ、一定ノ事物、例ヘバ己カ「我」ノ如キモノニ關スル眞理ノ發見ヲシテ甚ダ困難ナラシムル所以ハ、此ノ如キ干涉アルヲ以テナリ。」

個人ノ心理的生活ノ行路ニ於テモ、猶ホ社會及ヒ時代ニ於ケルガ如ク一定ノ能自覺的^〇心象ヲ形成スルモノニシテ、該心象ハ必ス斷定ノ上ニ影響ヲ及ボサズンベアラズ。此能自覺的^〇心象ハ斷定ハ大前提ヲ給スルモノニシテ、吾人ノ日常ノ萬事ニ關スル意見ハ、皆之ニ基キテ決セラ

ル、ナリ。一方ニ慈善家ノ斷定アレバ、他方ニハ刻薄ナル吝嗇家ノ斷定アリ、又公共生活ニ於ケル諸政黨及ヒ宗派ノ斷定ハ、各、ソノ斷定ノ大

前提ヲ異ニスルガ故ニ、同一物ニ關シテ意見ヲ異ニセザルヲ得ザルナリ。

(備考) 眞理ノ最モ危險ナル敵ハ私利ナリ。法官ハ己ノ情實ニヨリテ裁定スベカラズ、又證人ニシテ口供ノ事實ニ一身ノ利害ヲ有スルコト少ナキニ應ジテ、益之ヲ信任スベシ。愛ハ其私利ニヨリテ一切ノ反省ヲ奪フガタメ、之ヲシテ全ク盲目ナラシム、而シテ愛ノ極度ナル自愛ハ、殆ト吾身ニ就テ正當ノ斷定ヲ下スコト能ハザルモノナリ。

若シ、一切ノ眞理ニシテ不偏無私ナルコト數理學上ニ於ケルカ如クナラシニハ、眞理ノ探究ハ頗ル容易ナリシナラシ。然ルニ人ハ多クノ場合ニ於テ、安樂及ヒ利己ノ欲ヲ満足セシ爲メ其斷定ヲ賣ラザルモノ鮮ナシ。

第五十二節 概念ノ構成

各、ノ心象ハ認識セル物ノ内容、即チ其關スル物躰ニ對合スル點ヨリ云

ハハ、皆心理上ノ概念ナリ。故ニ概念ハ諸種ノ特性ヲ有スル物體ヨリハ多カラズ、又少ナカラザル、一部ノ諸心象ヲ有スベキナリ。心象ハ決シテ一個ニテ意識内ニ現ハル、コトナキガ故ニ(第二十七節)先ツ之ヲシテ目下ノ事實ニ關セズ、隨ヒテ此心象其物ニ關セザル一切ノ同起諸心象ヨリ分立セシメザルベカラズ。此事ハ、右心象カ吾人ノ注意ノ中點トナリ、以テ其上ニ意識ヲ集積スル時ニ遂ケラルベシ。(第二十七節ノ第三圖ヲ見ルベシ)此ノ如キ方法ヲ以テ、心象ハ其一般ニ能フヘキ彰著ノ極度ニ達スルモノナリ。然レドモ心象ハ單ニ彰著ナルノミナラズ、又明晰ナラザルベカラズ。心象ノ彰著ナルハ之ヲ全躰トシテ其他ノ各心象ヨリ區別スルニ在リ、心象ノ明晰ナルハ其諸元素ヲ相區別スルニ在リ。サレバ明晰ナラシムルコトヲ得ベキモノハ唯、複合心象ノミナリ。斷定ニ藉リテ認識物ノ内容ニ存スル諸特性ヲ闡明スルトキハ、心象ヲ

明晰ナラシムルコトヲ得ベシ。吾人カ正方形ハ四角形ナリ、四邊相等シキモノナリ、直角ヲ有スルモノナリト云フトキハ、明ニ正方形ト他形トヲ區別スベキナリ。故ニ概念ハ成ルベク彰著明晰ニシテ、認識物ノ内容ニ對合セル心象ナリトス。

心象ハ左ノ諸點ニ於テ概念ト區別スベシ。(一)一物ニ就テ無數ノ心象アリト雖モ、概念ハ唯一アルノミ、而シテ各人ハ各時ニ於テ概念ヲ其心内ニ表現(認識)スルコトヲ得ベシト雖モ、眞ニ之ヲ現スルヲ得ベキ方法ハ唯一アルノミナリ。(二)心象ハ心意ノ状態ナレバ現實ノモノナレドモ、之ニ反シテ概念ハ單ニ表現ノ特形式タルノミニシテ、例ハバ猶ホ「數」ト同一ナル成立ヲ有スルモノナリ。(三)心象ハ或人ノ之ヲ認識スルニ基クモノニシテ、認識者ヲ外ニシテハ決シテ存スルコトナク、且ツ心狀トシテ、一定ノ強度、始端、連續及ヒ終端ヲ有ス、之ニ反シテ概念ハ全ク時

順ナキモノニシテ、且ツ或人ノ之ヲ認識スルト否ラザルトニ關セザルナリ。是ヲ以テ例ヘバ天神ナル概念ハ、若シ何人モ天神ニツイテ或心象ヲ形成スルコトヲ得ズトナスモ、依然トシテ尙ホ存立スベキカ如シ。(四)概念ハ心象ニ對スル摸表ナリ、即チ心象ヲシテ認識物ノ内容ニ對合セシメントセバ、之ヲ規制スルニ方リテ範ヲ取ルベキ圖式ナリ。概念ハ論理上ノ理想ナリ。心象ハ絶エズ行動シ、現實不定、偶然ニ且ツ主觀性ノモノナレドモ、概念ハ定靜不變、必然及ヒ客觀性ノモノトシテ別ニ特立セリ。(此理ニ由リテ、概念ハ哲學者ふらと¹氏ニヨリテ眞成ノ實在ナリト主張セラレタリ。)

(備考) 斷定ハ概念ノ母ナリ、各ノ斷定ハ一タビ成ルトキハ直ニ概念ニ化スルモノニシテ、此概念ハ實位限定、即チ事物ノ特性ニ對スル關係ニヨリテ明晰トナサル、ナリ。例ヘバ「靈魂ハ不滅ナリ」ノ斷定ハ「不滅ナル靈魂」ヲ概念ニ化スルガ如シ。概念ハ肯定的斷定ニヨリ

テ明晰トナルカ如ク、否定的斷定ニヨルトキハ他ノ類似セル概念ヨリ區別スルガタメニ彰著トナルモノナリ。思想ノ聰明ハ概念ノ嚴密ナル辨別ニ於テ之ヲ徵スベシ。

第五十三節 概念ノ種類

概念ハ個體ナルカ、或ハ普通ナリ。

個體概念ノ目的物ハ個々ノ物體ナリ。普通概念ノ目的物ハ數多ノ個體ニシテ、此等ノ個體ハ或關係ニ於テ相符合セルヨリ空間及ヒ時順ニ於テハ實ニ隔歴セルニ拘ハラズ、共ニ聚合シテ一ノ部類ヲ成スモノナリ。

個體概念ハ普通概念ト等シク、抽象作用ニ由リテ覺官ノ直覺ヨリ生ズルモノナリ。若シ個々ノ物體ヲ反覆シテ、隨ヒテ殊別ナル事情ノ下ニ知覺スルトキハ、Aナル心象ハ毎ニ他ノ心象群m、n、o……………ト結合シテ現ハレ、以テ一體ノ心象Am、An、Ao……………ヲ生スベシ。今物體Aヲ知覺

スルトキハ、總テ此等ノ心象群ハ類似ノ理法ニ從ヒテ再現シ、是ニ於テ反對心象 m, n, o, \dots ハ蒙蔽トナリ、獨リAノミ興起シテ一切ノ同起心象ヨリ分離シテ、自由トナル、即チ概念トナルナリ。此過程ニ際シテ、物體Aノ上ニ注意力ノ凝聚アリ。斯ノ如キ方法ヲ以テ、兒童ハ多クノ觀察及ヒ注意ヲ反覆シテ已テ圍繞セル個々物體ノ概念、例ヘハ「此蓋微ナル概念ニ達ス、サレドモ普通ノ蓋微ニハアラザルナリ。此際、注意ハ蓋微ヲ挿メル花瓶及ヒ之ヲ載セタル卓子ヨリ減退セザルベカラズ。

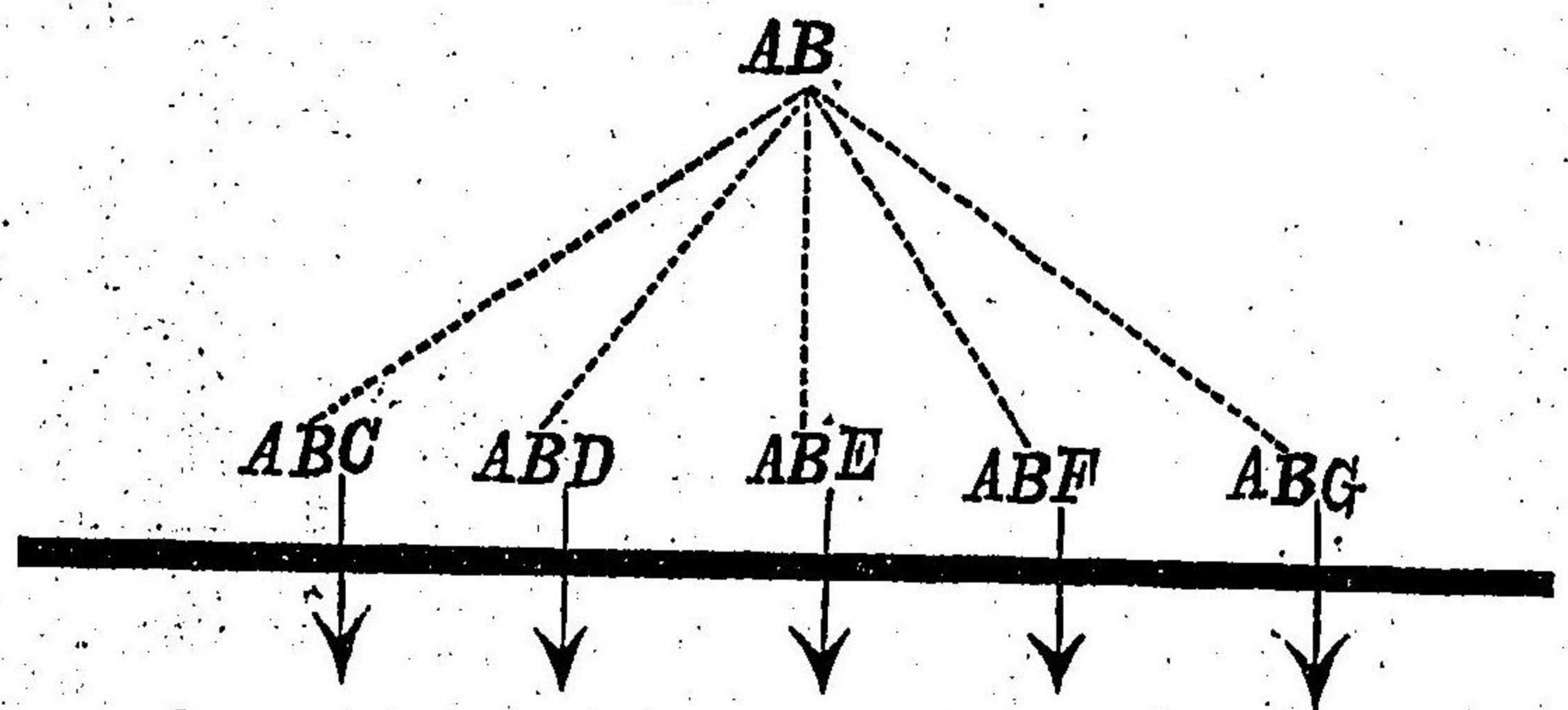
概念ノ構成ハ、若シ其物體ノ運動スルモノナルトキハ大ニ容易ナルナリ。此場合ニハ物體ハ動カズ、運動スルモノニ觀察セラルルガ故ニ、該物體ナシテ同時ニ知覺セシ餘地ヲ離レテ獨立セシメシメシキコト更ニ容易ナリトス。是カ故ニ、兒童ハ無生物ニ比スレバ生物ヲ合得シ易キコトナリ、例ヘバ猫兒ハ卓子ヨリ容易ナルガ如シ。

普通概念モ亦抽象作用ニヨリ、覺官ノ直覺ヨリ生ズルモノナリ。若シ人アリ多數ノ類似セル直覺、例ヘバ各種ノ家屋ヲ得、而シテ後日ニ至リ或一ノ家屋ヲ見ルトキハ、從前ニ得タリシ諸家屋ノ心象ハ類似ノ理法

ニ從ヒテ再現シ、以テ自ラ一ノ系列中ニ排列スベシ。此系列ノ一切諸節ハ總テ、此等ノ直覺、例ヘバ家屋ニ屬セル共通ノ主要素ABヲ有シ、而シテ單ニ右個々ノ直覺ニ特有ナル特殊ノ副元素限定C、D、E、F、G、ニヨリテ區別セラレ、ノミナリ。此主要素タル心象ハ、系列ノ一切諸節ニ於テ存スルガ故ニ、獨リ其特殊ノ強度ニ達シ、而シテ副元素ハ意識ノ水平以下ニ沈降スベキコト自然ノ勢ナリトス。

斯ノ如クシテ第一ニ普通心像ヲ生ズレドモ、該心像ハ尙ホ其周邊ニ彷徨セル多種ノ副元素ニヨリテ蔽ハル。此心像ハ否定的斷定ニ由リテ偶有、附屬ノ諸象ヲ脱スル、抽象作用ヲ完ウスル時ニ至リ、始メテ普通概念トナルナリ。サレドモ此抽象作用ハ決シテ全ク完結スルコトナシ、奈何トナレバ、反對ノ副元素C、D、E、F、G、……ハ同一ノ強度ヲ有セザレバナリ。今假リニABヲ抽象スベキ直覺群中ニテABC及ヒABFノ節ヲ以テ他ニ超勝セルモノトナストキハ、此節ハ全ク蒙蔽トハナラズシテ、普

圖九第



通心像 AB ノ周邊ニ彷彿スベシ。サレバ草廬
 宮殿、寺院、兵舍等ノ直覺群ヨリ生シタル普通
 心像、家屋 AB ノ内容ハ、直覺群ノ痕迹ヲ有スベ
 ク、而シテ其内容ハ此心象群中ノ如何ナル直
 覺群カ尤モ起勝セルカニ應ジテ定マルナリ。
 都會住民ノ多クハ周邊ニ大厦高樓ヲ見ルモノト、
 村落住民ノ其眼多クハ矮小ノ草廬ニ慣ルモノト、
 村元ノ家屋ノ概念ニメツキテ如何ニ正實ニ一切ノ偶
 有元素ヲ離脱セシメント勉ムトモ、家屋ノ概念ニ
 對シテ各相異ナレリ。
 心象ヲ成スベキナリ。
 直覺 ABC ABD ABE …… 例へバ石造家屋、木造家屋
 一階屋、二階屋、草廬、宮殿 …… ハ論理上ヨリ
 觀ルトキハ、普通概念 AB (家屋) ノ外延ヲ成ス
 モノナリ。此ニ於テ左ノ緊要ナル原則ヲ生
 ス。

普通概念ハ其内容(諸特性)ノ總括即チ定義ニ由ラズシテ、其外延(種類
 ノ通覽、即チ區分)ニ由リテ心理上ニ思考セラレ、ハモノナリ。色ナル概
 念ハ赤、橙、黃、綠、青、紫ニヨリ外ニ他ニ思考スル方法アラザルナリ。
 (備考一) 普通概念ハ吾認識力ノ上ニ要求ヲナスモノニシテ、此要求
 ノ履行ハ、概念ノ高等トナルニ從ヒテ益、困難ナルベシ、是レ其壓伏ス
 ベキ(概念ノ周邊ニ逼レル)特殊限定ノ數ハ、概念ノ普遍ニ進ムト共ニ
 増加スルモノナレバナリ。加之、概念ノ外延ハ漸次ニ擴大シ來リ、遂
 ニハ單ニ皮相ノ把住ヲナスニ止メントスルダニ、猶ホ吾人ノ認識力
 ニ堪ヘザルニ至ルベシ。例へバ「動物」ナル概念ノ外延ハ何ゾソレ大
 ナルヤ。一切ノ哺乳動物、魚類、鳥類、蝶類、甲蟲、昆蟲、象及ヒ木蝨ヲ包括
 スル無量ノ外延ハ、ヨシ皮相ナリトモ、是レ豈ニ思考セラレベキコト
 ナランヤ。而カモ尙ホ何人ニテモ「動物」ニ就テ或事ヲ說カンカ、即チ
 此ノ如ク纔ニ思考セラレベキ一切ノ動物ニ就テ、一樣ニ確説スルモ

ノナリ。是カ故ニ識力、孱弱ナル學者ハ、若シ其思考ノ高等抽象ノ域ニ進ムトキハ、其思考作用ハ頓挫セザルヲ得ズ、是ニ於テカ普遍ヲ特殊ニ付シ、規則ヲ例證ニ付スルノ必要ヲ生ズルナリ。(道ハ規則ニ由ルトキハ長クレドモ、例證ニ由ルトキハ短クシテ且ツ効アリ。)サレバ幾何學者ハ、板上ニ描ケル特殊ノ三角ヲ以テ、邊及ヒ角ノ如何ニ構成セラレ、ニ關セズ、有ラユル三角ニ適用セラレルベキ一ノ定理ヲ證明スルモノナリ。此場合ニハ、吾人ハ普遍ヲ見ズシテ、多中ハ一ヲ考ヘ、普通概念ノ外延ヲ組成スル全概念ノ系列ヲ通過セズシテ、其何レナルヲ擇バズ、系列中ノ或節ニ步ヲ留ムルモノナリ。此ノ如ク單一ノ摸型的心像ニヨリテ思考スルハ、博物學上ノ概念ヲ以テ殊ニ然リトス。

(備考二) 心理的概念ハ論理的概念ト相反シテ、常ニ其中ニ動搖不定、轉化ノ性ヲ具有ス、而シテ吾人ハ心理的概念ヲ以テ思考スルヨリ外

ナキモノナルガ故ニ、各個人並ニ各時代ノ斷定及ヒ意見ノ動搖不定ナル所以ヲ解明スベシ。各個人并ニ各時代ハ皆同一物ニ就テ特殊ノ概念ヲ有ス、而カモ概念ハ意識ノ變化ト共ニ變易スルモノナルヨリ、間斷ナキ發達ノ行程中ニ在ルモノナリ。少年及ヒ成人ノ概念ノ殊別ナルハ、猶ホ其兒童ノ概念ヨリ異ナレルニ同シ。天文學者ハ太陽ニ就テ、田舎人ト殊別ナル概念ヲ有シ、又そくらてすニ於ケル徳義及ヒ本國ノ概念ハ、氏ノ原告ト相異ナリシナリ。

第五十四節 言語及ヒ思想

概念ヲ構成スル要件ハ、一心象ヲ其他ノ意識ヨリ獨立セシムルニアリ(第五十二節)。此要件ハ、概念ニ或表號ヲ付スルコト、換言スレバ、概念ト覺官的表號トヲ連結スルコトニ由リテ生ズルナリ。

個體概念ハ之ニ對合スル外界事物ニ於テ特殊ノ覺官的表號ヲ有ス、此概念ハ單ニ吾人ノ心象ニ於テ主觀的ニ存立スルノミナラズ、又外物ニ

麟氏實験心理學

於テ客觀的ニ實在セリ。可視的事物ハ又、此事物ノ特有ナル個體概念ノ表號ナリ。故ニ其概念ハ事物ヲ視ル毎ニ吾人ノ心内ニ復生スルモノナリ。吾人ガ天然其物ノ談レル言語ヲ彷彿ノ間ニ聽取スルハ則チ此表號ニ在リ。

普通概念ニ於テハ即チ然ラズ。此場合ニハ本然ノ表號ヲ有スルコトナシ、故ニ人爲ノ方法ニヨリテ發明セザルベカラザルナリ。

普通概念ノ物體ハ一個ノ事物ニアラズシテ、或内部ノ關係類似ニ由リテ集合セル個體ノ部類ナリ、例ヘバ、凡テノ樹「凡テノ人類」「凡テノ家屋」ノ如シ、サレドモ此等ハ決シテ現實界ニ於テ俱ニ現ハル、モノニアラズ、從ヒテ一回ノ直覺作用ニヨリテ之ヲ把住スルコト能ハズ。此把住ハ事物ヲ比較スル悟性ニヨリテ遂ゲザルベカラズ、即チ吾人ハ悟性ニヨリテ諸物ヲ相互ニ關係セシメ、以テ普通概念ノ外延ニ達シ、夫ヨリ抽象ニヨリテ其概念ヲ生ズルモノナリ。(第五十三節參照)

第

一

編

部類構成ノ目的ヲ以テ同一物ヲ同一物ニ關係セシムルコトハ、命名ニヨリテ大ニ幫助セラル、モノナリ。部類中ノ各體ノ受クシ同一ノ名目(例ヘバ各ノ魚)ハ唯、ソノ一物體ヲ知覺セシトキニ、直ニ全部類並ニ其名目ト不離ニ融合セル普通概念ヲモ同時ニ再現スルモノナリ。

吾人ノ悟性が各ノ普通概念ニ名目(例ヘバ「樹木」「家屋」「人類」……等ヲ命ゼンカ、是レ即チ此概念ニ外界ノ存在ヲ付與セシモノナリ、又吾人ハ此等ノ物體ニ對セル普通概念ノ名目ヲ指名スルトキハ、直ニ各物體ヲ認識スベシ。サレバ本草家ハ一ノ植物ヲバ其特殊ノ名目ト連結シテ之ヲ認識スルモノナリ。

サレドモ智識ハ名目ニ於テ存ストナスモノニアラズ、モ智識ヲ給スルコトナケレバ名目ヲ語ルトモ之ヲ知ラザル人ニハ、毫モ智識ト同種ナルコトナケレバ、以テ同一ノ名目ヲ帶ヘル、唯、目前ノ實例カ該起ギザルナリ。

名詞ハ概念ノ表號ナルガ如ク、文章ハ斷定ヲ言語上ニ表出スルモノナリ。兒童ハ初メテ其斷定ヲ表出スルニ至レバ、又其思考ヲモ發スルモ

ノナリ。普通概念ノ構成ハ、眞ニ概念ノ諸元素ヲ逐一計量シテ其内容及ヒ外延ヲ彰著ナラシムベキ斷定ニ基クモノナルガ故ニ、言語ハ概念ヲ完成スルコトニ與リテ最要ノ効ヲ奏スルモノトス。

智識及ヒ教化ハ言語ニ藉リテ著大ノ扶助ヲ受クルモノナリ。現時代ノ教化ハ口碑及ヒ書冊ニヨリテ少年ノ精神ニ進入ス、而シテ各時代ハ過去時代ノ智識及ヒ經驗ノ財寶ヲ取得スルモノナルガ故ニ、皆其教化事業ヲ過去ニ連結シ、決シテ新ニ之ヲ創始スルコトナシ。此等ノ智識ハ多クハ一國民ノ文學、即チ其教化ヲ書寫セル總テノ文獻ニ於テ蓄藏セラルハモノナリ。吾人ハ尙ホ十九世紀ノ今日ニ於テモ、就中希臘及ヒ羅馬ノ教化ヲ被レルナリ。

(備考一) 普通概念ヲ外ニ代表スル者ハ、吾人ノ知覺スル個物ニアラズシテ、吾人カ普通概念ト連結セシメ以テ吾意識内ニ全部類ヲ喚起スル所ノ名目コレナリ。此事ハ、一ノ個物ニシテ、而カモ全ク別種ノ

部類ニ屬シ、從ヒテ種々ノ概念ヲ指明シ得ベキモノ(例へバ獅子)アルコトヲ一考スルトキハ、直ニ瞭然タルベシ。例へバ獅子ハ「肉食獸」強烈「四足獸」等ノ部類ニ屬スルガ如シ。此ノ如キ方法ヲ以テ概念ノ主要素ニ於テセズ、唯、他ノ特質ニ於テ符合セル諸物ヲバ命名ニヨリテ一ノ部類ニ總括スルトキハ、以テ抽象概念ヲ構成スルヲ得ベシ。例へバ獅子ト熊、瀑布、暴風、希臘ノ酒酒精等ノ諸物ヲ取り、其各ニ強烈ノ名ヲ命ジテ、一類中ニ總括スルトキハ、強烈ナル普遍抽象ノ概念ヲ得ベキカ如シ。

(備考二) 狹義ノ言語ハ人間ノ他ニ特絶セル長所ニシテ、其教化ヲ移ス所以ノ最大導子ナリ。如何ニモ動物モ互ニ意ヲ通ズルコトヲ得ベク、此點ヨリ云フトキハ、一種ノ廣義ノ言語ヲ有スルモノナリ、サレドモ其表號ハ一時ノ主觀的狀態ヲ自然ニ表出スルノミニシテ、以テ眞啞ノ態語(科話)ニ比較スベキモ、決シテ普通概念ヲ示スベキ自作的

表號ニハアラザルナリ。是ガ故ニ動物ハ(其他ニ又心意活動ノ形跡ヲ示スコト多シト雖モ)實ニ此ニ基キテ教化ヲ施サルベシトハ到底思惟スルコト能ハズ、其心狀ハ永遠ノ靜止ニ處罰セラレタリ、之ニ反シテ人類ハ間斷ナキ發達ニ堪フルモノナリ。

第五十五節 言語ノ生成

今日ノ音聲語ハ心象ヲ表示スル所ノ約束的(即チ一般ノ約諾ニヨリテ一定セル)系統ニシテ、豫メ自然語ノ存立セシコトヲ要ス、即チ吾人ハモト自然語ヲ有シ、是ニ由リテ約束的ナル言語表號ノ意義ヲ理會スルニ至リシモノナラザルベカラズ。若シ音聲語ハ其概念ニ從ヒテ、專恣ノ表號ヲ最初ノ通信ハ音聲語ニ由リテ遂クラズ、然ラザレバ全ク理會セラレザルカ、或ハ多クトモ單ニ推測セラレバキノミ、サレドモ談話セラレハ人ハ推測ニ基キテ算定スルコト能ハザレバナリ云々ト。(ハルバるセ氏心理學第百三十節)

此自然語ハ其始メハ、無意的ニ吾人ノ心狀ニ隨伴スル所ノ表情的反射運動ニ基クモノナリ。自然ノ狀ニアル人類ハ印象ヲ外部ヨリ受ク、運

動ヲ以テ之ニ反應ス。此等ノ反應ハ全身及セ其諸肢ニ分布セリ。肢節ノ多キニ隨ヒテ數多ノ言語アリ。音聲上ノ反射ハ即チ右運動中ノ特別種類タルニ過キズシテ、是レ爾後發達シテ音聲語トナルモノナリ。』各種ノ表情的反射運動ハ精神狀態ノ無意的表象ト爲ルモノトス、是人ハ此運動ニ於テ通信ノ目的ヲ達セザリシ際ニテモ、尙ホ之ニ由リテ内部ノ意向ヲ表出シタレバナリ。若シ他人アリ、其内狀ヲ推測センクメ此等ノ表象ニ注意スルトキハ、乃チ變シテ表號トナルナリ。斯クテ痛苦ノ叫號ハ痛苦ノ表號ニ化シ、忿怒ノ態度、驚駭ノ叫聲等ハ皆此等ノ心狀ヲ通信スル手段ト爲ルモノナリ。此場合ニ於テハ、音聲ハ顔容及ヒ態度ト同一水平上ニ在リ、即チ自然ノ音聲語ハ言語機關ニ於ケル一ハ能語ナリトス。

此ノ如キ方法ヲ以テ、自然ノ狀ニアル人類ハ第一ニ、其主觀的感情及ヒ興奮ヲ表情的ニ表出セリ。此段階ニ於テハ音聲ハ一種ノ本能運動ニシテ、外界ノ刺激ニ由リ感情的興奮ヲ生ゼシ場合ニ、

麟氏實験心理學

天稟ノ必然ニヨリテ。例ヘバ「噫嘻」「あー」「嗚呼」「おー」「哈々」「うゑー」「哀哉」(ば)「賤語」等ノ如シ、其他、自ラ其意ヲ示セル顔容及ヒ態度、例ヘバ「嘻笑」及ヒ「哭泣」「點頭」及ヒ「振頭」(然及ヒ「否」「聳肩」「手斥」「手招」「指示」等ノ如キハ又之ニ屬シ、皆何人ニモ明白ナル意義ヲ有スルモノトス。

然レドモ反射運動ハ又、視聽セル物ヲ摸擬スルノ性ヲ有スルモノナリ。此方法ヲ以テ最初ハ唯、或現象ヲ擬スルニ止マレドモ、後ニハ又現象ヲ生セシ所ノ物躰其物ヲモ寓意的ニ描寫スベシ。『ふるむふ』(落音)ナル呼聲ハ、墜落セシ物躰ノ重大ナル反跳ノ現象ヲ反射的ニ摸擬セシモノニシテ、わうわう(犬聲)、みあう(猫聲)、めー(羊聲)等ノ如キ擬響的表出ハ、皆ニ單純ノ現象ノミナラズ、又物躰其物即チ犬、猫、羊等ヲモ寓意的ニ描寫セシト圖リシモノナリ。吾人ハ表情の段階ニテハ音聲ハ、態ヲ以テシ、擬響的の段階ニ於テハ音聲ノ象ヲ以テ之ヲ表スルナリ。

表情の音聲ノ態及ヒ擬響的の音聲ノ象ハ、蓋シ或度マデハ原始ノ狀態ニ

第

一

編

於ケル人類間ノ第一通信ヲ遂ゲシモノナルベク、且ツ音聲語ヲシテ一層完備ナラシムベキ方便ヲ與ヘシヤ疑フベカラズ。即チ表情の及ヒ擬響的の方便ニヨリテ、一方ニハ或心象ト、他方ニハ或音聲トノ間ニ牽強的聯合ヲ形成シ、爲メニ該音聲ハ一變シテ心象ノ表號トナルヤ、此ニ人類ハ心象ト音聲表號トノ間ニ於ケル一層自由ハ、聯合ニ向テ漸次ニ歩ヲ進メタリ、換言スレバ、音聲及ヒ心象間ニ於テ毫モ内部ノ關係ヲ有セズ、故ニ唯、二ノ聯合節間ニ徐々ニ成レル、約束的連絡ノミニヨリテ生ゼシ所ノ聯合ニ達シタリ。斯クテ畜犬ノ心象ニ對スル「わうわう」ナル擬響的表出ヨリシテ、言語ヲ異ニスル各地ニ於テ各別ノ約束的表號ヲ生シタリ、例ヘバ「どくどく」(英語)、「ふん」と「獨逸語」(かじす)「拉甸語」(れ、ちーん)「佛語」(べす)「ぼへみお語」等ノ如シ。

一般ニ現今ノ音聲語ノ基礎タル自由ノ聯合ハ決シテ、宛モ或偉人ノ宣言ニヨルガ如キ、專恣ノ方法ヲ以テ生ゼシモノニアラズ、寧ロ「だーおん

氏カ自然有機物ノ發達ニ對シテ顯示セン、自然淘汰ノ方法ニヨリテ起
 リシモノナリ。例ヘバ現時あらびあ人ハ駱駝ニ對シテ六千言、馬ニハ
 二千言、獅子ニハ五十言、蛇ニハ二百言ヲ有スルガ如ク、言語ノ生成ニ於
 テモ、言語上ノ各地方ニ於テ各ノ心象ニ對シテ最モ多様ナル言語表號
 ナ生シ、此等ハ互ニ生存競争ノ場裏ニ入り、遂ニ或理由ニヨリテ、現時流
 布セル名目ガ其敵手タル表出ニ勝テ制シ、以テ一般ノ允諾ヲ得ルニ至
 リシナリ。

(備考) 言語ノ外形ハ、一定ノ心象内容ニ對スル外部ノ表號トシテ聽
 取セラルベキ音聲ナリ。此内容ノ物即チ意識ノ状態ハ、音聲ノ表
 號ニヨリテ表出セラル、ガ故ニ、此表號ヲ理會スル人ハ皆必ス己カ
 心内ニ之ヲ喚起スルモノニシテ、之ヲ言語ノ内形ト稱スベシ。言語
 ノ内形并ニ外形ハ國民ノ生活ニ於テ種々ノ變遷ヲ受クルモノニシ
 テ、此變遷ハ教化ノ變遷及ヒ國民ノ運命ト密接ニ關聯セリ。此等ノ

同一ナル言語ノ外形ハ歴史ノ行程ニ於テ種々ノ心象内容ヲ以テ充
 塞セラレタリ。例ヘバ「道德」及ヒ「太陽」ナル言辭ハ、現今ニテハ中世之
 ニ付與セシ意義トハ差別アリ、電氣ナル言辭ハ琥珀ヲ摩擦シテ始メ
 テ電氣ノ現象ヲ觀察セシ時ニアリテハ、現今ノ言辭ヨリ異ナレル意
 義ヲ有シタリキ、是レ即チ言語ノ内形ノ變化シタルナリ。然レドモ
 又同一ノ思想ヲ表出スルガタメニ用フベキ言語ノ外形モ、日月ノ進
 行ト共ニ大ニ變化セリ。吾人モシ「レ」レべらんげん」物語ノ獨逸語ト、
 今日ノ同語トヲ比較セバ、該言語カ去ル六百年間ニ於テ如何ニ其外
 形ヲ變化セシカヲ吃驚セズンバアラザルナリ。

第五十六節 人間悟性ノ發達

悟性ハ精神ノ生來有スル眞實ノ能力ニアラズ、寧ロ一定ノ事情ニヨリ
 テ漸次ニ發達セシモノニシテ、該發達ハ尤モ未熟ノ嬰孩ヨリ老成ノ年
 齒ニ及ブマデ繼續セリ。記憶力ハ年齒ノ進ムトトモニ微弱トナリ(第

三十八節、想像力モ遲鈍トナルモノナレバ、成人及ヒ老年ノ卓越セル點ハ主トシテ、斷ユズ發達スル悟性ノ上ニ在ルナリ。

悟性發達ノ事情ハ左ノ如シ、
一、悟性カ依テ以テ自力ヲ修練スベキ材料ヲ供セザルベカラズ。此材料ハ俱ニ吾人ノ經驗ノ限界ヲ定ムル覺官及ヒ記憶力ノ供給スル所ナリ。故ニ人ハ經驗ノ廣キニ應シテ、其斷定力ニ供セラル、材料ハ愈々多カルベシ。

二、覺官及ヒ記憶力ヨリ得タル經驗材料ヲシテ論理的結合ヲ成サシメシニハ、其中ニ一ノ運動ヲ發起シ、由テ以テ單ニ經歷上ヨリ成リ、毫モ思想ニ合セザル(即チ不合理的)結合ヲ解キテ、之ニ代フルニ心象ノ内容ニ相應セル新形式ヲ以テセザルベカラズ。此功ヲ成サンニハ想像力ヲ以テ最モ必須ナリトス。彼ノ動物カ悟性ヲ缺ケルハ心象ノ自由ナル活動性ノ缺乏、換言スレバ想像力ノ缺乏ニ職由セリ。

第

一

編

三、個々ノ心象ヲシテ其他ノ意識ヨリ解脱シテ、高度ノ彰著ニ興起セシメザルベカラズ。是カ爲メニ尤モ必須ナルハ注意ナリ。反省ノ最大敵ハ心意ヲシテ一物ヨリ他物ニ飛動セシムル、不注意ノ狀是ナリ。鬱憂ノ氣性ハ心象ノ流動最微ニ、其強度ノ著大ナルモノナレバ、思考ヲ運ラスニハ最モ適セリトス。スベテ必要テフモノハ、吾人ノ注意ヲ永ク一定ノ物躰上ニ向注セシムルガ故ニ、能ク吾人ニ思考ヲ教示スルモノナリ。

四、悟性ヲシテ高等ノ發達ヲナサシメシニハ亦、教育及ヒ教授モ必須ナリ。若シ人ハ各、一己ノ努力ノミニ由リテ、經驗ノ物躰間ニ存スル合理的關係ヲ索ムルモノナラシカ、宛モ所謂人生テフ無數ノ沙子中ニ於ケル真理ノ顆粒ト等シク、偶然僥倖ノ機運ニヨリテ其目前ニ現出セル個々二三ノ智識ヲ收得スルニ止マラザルベカラズ。然ルニ此場合ニ吾人ヲ救フモノハ、善ク合理的關係ノ全系統ヲ明示スル教育及ヒ教授

コレナリ。斯カル系統トハ無數ノ智腦ト、全時代トノ協同作用ニヨリテ成就セル所ニシテ、即チ科學及ヒ學理ナリ。此科學及ヒ學理ヲ傳達スルモノハ言語ノ方便ニ依レリ、是レ言語カ教授上第一最大ノ要件タル所以ナリ。

是ニ由リテ之ヲ觀レバ、悟性ノ發達ハ個人一己ノ業務ニハアラズシテ、社會及ヒ民族ノ共同事業ナリ。教育ノ歴史ハ即チ人類悟性ノ迷走及ヒ進歩ヲ記シタル歴史ナリ。教育ノ目的トスル所ハ、悟性ニヨリテ經驗材料ヲ多様ニ且ツ巧妙ニ一貫精成スルコト是ナリ。

(備考一) 機智、伶俐及ヒ明智ハ以テ悟性ノ特殊ノ全備ヲ表出スルニ足ルベシ。思想成果ノ全備ハ其明晰及ヒ彰著ニ基ケリ、而シテ明晰ハ内容ヲ明現セシメ、以テ概念ヲ内方ニ照明センコトヲ求メ、彰著ハ一ノ概念ヲ他ノ概念ヨリ區別シ、以テ概念ヲ外方ニ照明セントス。機智ハ概念ノ明晰ニ關シ、伶俐ハ其彰著ニ關スルモノナリ。機智ハ

新關係ノ特質ヲ發見シテ以テ驚クベキ結合ヲ生シ、伶俐ハ差別ノ特質ヲ明現シテ心象ノ新分解ヲ生ズ、彼ハ概念ノ類似ヲ追ヒ、此ハ其不同ヲ追フモノナリ。機智ハ創造的ニシテ伶俐ハ批判的ナリ、彼ハ總合的ニシテ、此ハ分解的ナリ。伶俐ノ最高度ニ達スルトキハ即チ明智トナルモノニシテ、明智ハ精密ニ特質ヲ差別スルヨリ最モ隱微ノ真理ニ到達スレドモ、又往々、無益煩瑣ノ穿鑿ニ陥イルコトアリ。

(備考二) 若シ教育ニシテ缺陷セバ、人類悟性ノ發達ハ如何様ニ制限セラレベキカ、是ニ就テハ、粗野ナル蠻人及ヒ野鄙ナル無教育人民ノ状態ハ、吾人ニ忌ムベキ實例ヲ供スルモノナリ。斯ノ如キ親シキ實験ニヨリテ見レバ、人類ハ之ヲ一己ニ放任スルトキハ動物ニ勝ルコト僅々ニシテ、且ツ悟性ノ發達ハ單ニ必要ニ迫ラル、限リニ達スルノミナルコトヲ證スルモノト謂フベシ。文明ノ状態ニ於テハ、吾人ヲ教育スルモノトヤ、獨リ學校ノミナランヤ、合理的制度及ヒ生業、慣

習及ヒ法規ヲ有スル社會モ亦是ナリ、故ニ特別ノ師傅及ヒ教師ナキ人モ、絶エズ合理的ニ教化セラル、ナリ。彼ノ社會ニ於テ自教セル人ト唱フルモノモ、其實、嚴密ノ義ニ於テハ決シテ然ルモノニアラザルナリ。

(備考三) 教育史上ニ於クル人類悟性ノ進歩ハ、人間歴史ノ現今ノ程度ニ於テモ既ニ甚々大ナリ。此進歩ノ要情タルモノハ、經驗材料ノ益增加シ、并ニ科學的分業ノ結果トシテ此等ノ材料ヲ一層嚴密ニ精成スルコト、其他交通ノ便増加セシ爲メ、精神間ノ交渉ヲ更ニ活潑ナラシメシコト、及ヒ新科學的方法ノ發見ニヨリテ科學的精神ノ爲メニ新路ヲ開拓セシコト是ナリ。此進歩ハ歸納法ノ發見後、自然科學ニ於テ最モ著大ナリトス。自然界ハ絶エズ益々悟性ニ對シテ明瞭トナリ、其最モ畏ルベキ元素的現象所謂地水火風等ノ元素、モ、自然理法(即チ天則)ノ形狀ヲ以テセル悟性ニヨリテ追放セラレシ以後ハ、全ク

其奇怪ノ性ヲ失スルニ至レリ。

第五十七節 空想

空想ハ悟性ト想像力トノ結合ヨリ起ルモノナリ。(第三十九節)

想像力ハ心象群ヲシテ運動ヲ起サシメ、其秩序ヲ壞リテ渾沌タラシメント威嚇ス、此ニ於テカ悟性來リテ、此等ノ運動作用ヲシテ其規律ニ服セシメ、以テ經歷上ヨリ成レル連絡ニ代フルニ、論理上ノ要求ヲ以テスルモノナリ。是ニ由リテ、心象群及ヒ心象系列ハ進ミテ新結合、即チ心象ノ内容ニ相應セル結合ヲナスナリ。

然レドモ、心象上ニ加フル論理的要求ハ決シテ想像力ニ幾分ノ自由ヲ與ヘザルカ如ク甚シキモノニアラズ。悟性ハ單ニ普通觀念ヲ與フルノミニシテ、其他ノ近小限定(副)元素ハ之ヲ空想ニ一任スルモノナレバナリ。サレバ如何ナル一個躰モ、動物或ハ植物種ノ模型ニヨリテ限定セラル、モノニアラズ、之ヲシテ一定ノ個躰例ハ、此薔薇タラシメン

ニハ、更ニ右ノ模型ニ多數ノ小限定ヲ添加セザルベカラズ。此等ノ小限定ヲ添加スルハ、當ニ畫工ノ空想ニ一任スベキ所ニシテ、畫工ハ即チ蓄薇ノ普通模型ヲハ其特個ノ例標トナシ、以テ一見把住シ易キ表象ヲ吾人ニ示スモノナリ。

空想ノ力ヲ用フベキ正當ノ範圍ハ技術特ニ自由技術ナリ、否、之ナラザルベカラズ、而シテ此技術カ觀念ヲ形化(個體ニ化シ)寫象スルヤ、唯、觀念ヲ寫象スルヲ以テ其本務トシ、決シテ之ヲ誘フベキ他ノ目的アリテ然ルニアラザルナリ。

技術ノ作爲ニ於テ二ノ程度ノ區別スベキモノアリ、第一ハ觀念ノ創造、第二ハ其表象ナリ。人ハ觀念ニ達セシニハ特殊ヨリ普遍ニ、直覺ヨリ概念ニ進ムヤウ行路ヲ取ラザルベカラズ(奈何トナレバ、吾人ノ目前ニ現ハル、モノハ皆直覺ノミナレバナリ)、次ニ觀念ヲ個物ニ形成セシニハ、觀念ヲ復ヒ直覺ニ歸セシメザルベカラズ。第一程度ニテハ抽象的

空想、第二程度ニテハ限定的空想ノ特ニ活動スルモノトス。

自然及ヒ人生ハ一切ノ技術的創作ヲ發スル豐富ノ淵源ナリ。諸種ノ技術的創作中ニテ尤モ自由ナルモノ、即チ詩賦及ヒ稗史ニ於テモ、之ヲ組成スル諸要素ヲ人生ヨリ收得スルモノニシテ、斯カル要素ノ多々ナルニ從ヒ其効驗益著シカルベシ。然リト雖モ、之ヲ以テ人生ノ模寫或ハ寫影ナリトナスベカラズ、其故ハ、此ノ如ク借り來レル形相ハ意識内ニテ化成ヲ經由シ、以テ其個體の表象ニ於テモ尙ホ理想ヲ認知スルコトヲ得シメ、且ツ現實ノ嚴厲ヲ去リテ、詩美ノ瀟氣的鼓吹ヲ美術品ニ付與スルニ至ラザルベカラザレバナリ。

創造ノ賦性ハ、一方ニハ理想ヲ特殊ヨリ抽出シ、又地方ニハ此理想ヲ個體ニ形成スル所ニ於テ表ハル、モノニシテ、正シク天才ノ特質タリ。天才ノ器能ノ其力ヲ示ス所ハ、趣味ノ境ナルト將タ社會上及ヒ政治的生活ノ域ナルトヲ問ハズ、總テ舊時ノ直覺ヲハ新形式ヲ以テ把住シ、且

ツ此形式ヲバ抽象概念ノ形態ヲ以テセズシテ、個體ノ情況ニ適應セル成形ニ於テ直覺セシムルニ在リ。

機智(第五十六節備考一)ハ全ク龐雜ナル諸心象ヲシテ相互ニ關係セシメ、其間ニ類似ヲ索ムルモノナレバ、又空想ノ作用ニ基クモノナリ。

(備考一) 空想ハ獨リ真正ノ技術的作爲ニ於テ發表スルノミニアラズ、又規律ニヨリテ全ク奴隸的ニ束縛セラレズシテ、一ノ意匠ヲ或物體ニ外表スルカ、或ハ之ヲ外部ニ執行セントスル、一切ノ場合ニ於テ明現スルモノナリ。空想ハ成人ノ熟練ナル遊戯及ヒ技藝ノ作業ニ於ケルト等シク、又兒童ノ種々ナル遊戯ニ於テモ發表スルモノナリ。(備考二) へーげる氏ハ技術ヲ比喩的ニ釋義シテ、覺官ノ媒介ヲ通シテ觀念ノ光ヲ照明スルモノナリト曰へリ、此定義ハ技術的創作ノ直接的ナルユトヲ善ク表示シ得タリト謂フベシ。此場合ニハ二ノ要素ノ區別セラレベキモノアリ、即チ一ハ主觀的思想、一ハ覺官ニ屬ス

ル客觀的媒介ナリ、而シテ此媒介ハ以テ思想ヲ開現スベキモノニシテ、其種類太ダ多シ。(即チ色彩、音調、石材、言辭等是ナリ。)

第四章 自識

第五十八節 自己身體ノ心象タル「我」

自識ハ「己」カ「我」即チ「自己」ハ心象ナリ。

兒童并ニ自然的人類ノ段階ニアリテハ身體ハ「我」テフ心象ノ内容タルモノ、如シ。兒童カ自身ニ就キテ云々スルトキハ「我」トハ即チ自己ノ身體ノ義ナリ。

サレドモ、身體ニテモ最初ハ外物ナリト認知セラル、ナリ、故ニ兒童ハニ第三人稱ヲ以テス、例ヘバ「太郎」而シテ斯ク思惟スルハ身體ニ關スル夥多ノ諸心象群ニ由ルモノナリ。此等ノ心象中ニハ管ニ身體ノ諸部ヲ視觸スルヨリ生ゼシ覺官知覺ノミナラズ、又自己ノ身體上ニ歸外シテ夫々ノ部分ニ定置セシ所ノ體感モ、皆之ニ屬スルナリ。サレドモ幾バクナラズシテ、自己ノ身體ハ其他ノ外物ノ間ニ在ル人類

藤氏實験心理學

第一

ノ心象中ニ優等ノ地位ヲ占ムルニ至ラザルベカラズ。其理奈何トナレバ、第一ニ身體ハ特ニ感受性ノ鋭キカ爲メニ、身狀ノ變動ハ體感トナリテ直接ニ吾人ニ報道セラルレドモ、之ニ反シテ外物ニ至リテハ、其吾カ身體上ニ影響スル點ヨリスレバ、吾人ハ此ニ就テ唯間接ノ智識ヲ有スルニ過キザルナリ。是カ故ニ身體ハ内物トシテ、外物ト對立スルニ至レリ。

一

其他、身體ハ吾人カ徐々ニ學習スル空間經驗ノ中心點タルモノナリ。空間系列ハ、吾人カ由リテ以テ空間ニ於ケル事物ノ位地ヲ定ムル所ノモノナルガ、其方向ハ總テ吾人ノ身體ヨリ起リテ外方ニ進行セリ、サレバ身體ノ立脚地ニシテ變動センカ、又吾人ヨリ外物ニ至ル一切ノ距離モ盡ク移動スベシ、之ニ反シテ身外ノ一物躰ノ位地ヲ變動スルトキハ單ニ一ノ距離線ヲ變スルニ止マリ、其他ハ寸毫モ變更スルコトナシ。更ニ又、自己ノ身體ヲ外物ヨリ區別スベキ點ハ、吾人カ身體ニ直接ノ制

編

裁ヲ加フルニ在リ、是レ身體ハ運動機關ニヨリ、意志ノ配下ニ服従スルモノナレバナリ(第二十五節)。身體ノ運動ハ直接ニ内部ノ衝動ニ伴生スレドモ、之ニ反シテ故意ニ外物ヲ變化スル場合ニハ、唯、間接ニ、即チ四肢ノ運動ニヨリテ遂行セラル、ノミナリ。

終リニ、自己ノ身體ハ一切ノ運動及ヒ動作ノ起點ニシテ、其特殊ノ性質及ヒ方向ハ、筋感ニヨリ吾ガ意識ニ報知セラル、モノナリ(第十八節)。自己ノ身體ヲ以テ感性鋭敏ニシテ、有意的ニ運動スベク、且ツ同時ニ運動及ヒ動作、并ニ空間學習ノ起點タル内物トナスノ心象ハ、是レ即チ第一原始ノ段階ニ於ケル自識ノ内容ヲ組成スルモノナリ。

(備考)「我」テフ心象ノ第一、未熟ノ根底タル身體ハ、漸次ニ一定ノ外物ヲ添加セラレ、モノナリ、其故ハ、此等ノ外物ハ、一方ニハ衣服、裝飾、乘馬、扈從等ノ如ク、親密ニ身體ト联接シ、又一方ニハ武器及ヒ其他ノ器具ノ如ク、恰モ四肢ト等シク、我ノ外界ニ對スル統御ヲ媒助スルモノ

ナレバナリ。兵卒ハ其銃砲ヲ以テ、騎兵ハ其乘馬ヲ以テ、國王ハ其笏及ヒ王位ヲ以テ、人格ノ屬性中ニ算入ス、何トナレバ馬ノ筋力カ騎者ニ服事スルハ、猶ホ自己ノ筋力ニ於ケルカ如ク、又良武器ハ最強ノ拳頭ヨリモ更ニ有力ナレバナリ。是カ故ニ何レノ時代ヲ問ハズ、甲兵及ヒ騎兵(騎士)ナル語ハ Cavallo 即チ「馬」ナル辭ヨリ來ルニ於テハ、其我情ノ昂進セルヲ見、從ヒテ衣服、裝飾、勳章等ニヨリテ益、身體ニ外面ノ威儀ヲ飾リ、否、シカノミナラズ、其尊大ヲモ裝ハントスル欲望アリ。古代ノ悲劇ニ於テ長靴ヲ使用シ、又近代ニ於テ高踵ノ靴流行シ、或ハ撒開セル有髒ノ衣服ヲ偏愛シ(貴女ノ開袴及ヒ長裾衣)或ハ高貴ノ符トシテ高直ノ冠帽ヲ使用シ、或ハ節杖ヲ以テ、己カ欲スル方向ニ身體ノ連續セルヲ示ス者ト看做スカ如キ(笏、將帥ノ節、樂師ノ鞭)其他男女ノ用フル幾多ノ珍奇ナル扮粧品等ハ、皆一分ハ高サニ於テ、一分ハ廣サニ於テ、一層濶大ノ量ヲ自己ノ身體ニ與ヘ、以テ人格ニ對スル威

望ヲ加ヘントスル苦心盡力ヲ表スルモノニアラザルハナシ。
 更ニ一步ヲ進ムルトキハ、吾人ハ自由ノ處分權アル所有物ノ形狀ニ
 於ケル、一切ノ外物ヲモ吾身體ト共ニ計算スルコトヲ得ベシ。獨リ
 物理的強力ノミナラズ、又財産モ其名ノ示スガ如ク、人格ノ屬性ナリ、
 吾人ニ高キ我情ヲ貸スモノハ單ニ武器ノミナラズシテ、又完備セル
 袖珍書ハ其功更ニ大ナルベシ、而シテ貧窮者ハ奈何ニ剛壯ナリトモ、
 若シ富人ニ對スルトキハ尙ホ虛弱ノ觀アリ。サレドモ、更ニ人格ノ
 擴充上、數層緊切ナリトシテ注目スベキモノハ精神的の所有コレナリ、
 奈何トナレバ、之ヲ人身ヨリ分離スルハ彼ノ有形的物品ノ如クニ輕
 易ナルベシトハ、到底思惟スベカラザルコトナレバナリ。詩人ハ其
 詩ヲ以テ己カ人格中ノ最良部ナリト考へ、畫工ハ其繪畫ノ既ニ商人
 或ハ保護者ノ所有ニ歸セシ後ニテモ、尙ホ常ニ之ヲ呼ブニ「我カ……」
 ノ名ヲ以テスベシ。

第五十九節 心象ノ叢會境タル「我」

體感ハ身體上ニ定置セラレ、覺官知覺ハ外部ノ空間ニ歸外セララル、モ
 ノナリ。サレバ吾人ハ色彩及ヒ音調ヲ以テ精神ノ心象ト見做サズシ
 テ、事物ノ特性ナリトシ、意識ニ歸セズシテ、空間ニ於ケル一定ノ物躰ニ
 歸着ス、是レ正ニ吾人カ苦痛ノ感覺ヲ精神内ニ認メズシテ、足或ハ手ニ
 於テ覺ユルモノニ同シキナリ。

然レドモ吾人カ直覺感覺ト判然辨別スルヲ知リテ過ツコトナキ再現、
 即チ狹義ノ心象ニ至テハ、右トハ異ナリタル所アリ。此場合ニ於テ吾
 人ハ心象ノ起因ハ外部ヨリ來ルモノニアラズ、從ヒテ之ヲ歸外スルノ
 必要ナキコトヲ十分ニ熟知セリ。
 サレドモ吾人ハ又、斯ノ如ク單ニ心内ニ現ハレタル事物ヲ或場處ニ歸
 センコトヲ迫ララル、ナリ。然ラバ吾人カ其思想ヲシテ自由ニ運用セ
 シムルニ當リ、我カ心前ニ現存スル事物ハ何處ニ在ルモノナルカ、……

其外界ニ存セザルハ疑フベカラズ。此ノ如ク觀想セラレシ事物ハ吾人ノ頭腦中ニ存スルモノナリ。吾人ハ夢中ノ想像ヲ感覺ト同ト區別ナス現外部ノ空間ニ此外界ハ實存ストルハ、人ノ知アラザレバ、醒時ニ吾人ニ然タル内知界ストルナリ。

吾人ハ諸心象ヲ同起及ヒ繼起ノ理法ニ從ヒテ相互ニ關係セシムルヨリ、之ヲ結合シテ心象群及ヒ心象系列ヲ生スルニ至ルナリ。此系列ハ心象ノ一群ト他群トノ連絡ヲ通シ、諸系列ハ相交又シテ、蛛網組織ヲ構成スルモノナリ。此系列組織ノ交叉點ハ即チ諸心象ノ中樞及ヒ叢會境ヲ組成シ、心象ハ其間ヲ彼此ニ往返スルモノナリ。此等ノ交叉點ヨリ進行スル主系列ハ、右ヨリ更ニ高等ナル中樞ニ輻合シ、此等ノ中樞ハ復ヒ其上ニ位スル中心點即チ最高中樞ニ於テ會合ス。(第三十三節備考三ヲ參看スベシ。)此方法ヲ以テ、一切ノ心象ハ相互ノ間ニ普遍的關係及ヒ中樞組織ヲ成シ、以テ最モ嚴密ノ統一ヲ定立スルニ至ルモノナリ。

麟氏實験心理學

第一編

一

リ、之ヲ譬フレバ、宛モ秩序整ヘル國家ニ於テ、上ニ朝廷アリ、下ニ諸官廳アリテ命ヲ奉シ、以テ政治機關ヲ成スニ同シ。右ノ如ク明ニ外界ニ投歸セラレザル一切諸心象ノ統一點ハ、決シテ一ノ實在、即チ物理的ニ指示セラルベキモノニアラスシテ、一ノ理想ナリ、是レ宛モ一切ノ空間觀察ニ於テ、歸外ノ方向線及ヒ距離線ノ發出スル中點ト正ニ同シキモノナリ。總テ吾人ノ諸心象ハ此點ノ周邊ニ密聚シ、一切ノ心象系列ハ此點ヨリ進行シ、又之ニ復歸スルモノナリ。此等ノ理想點トハ、實ハ一切ノ心象カ嚴密ニ相互關聯スト、事實ヲ表白スルニ外ナラザルモノニシテ、是レ即チ人類ノ純粹ナル「我」ナリトス。此「我」ニ就テハ眞ノ定義、即チ一定ノ心象内容ヲ與ヘザルベク、又シカスルコト能ハズ、其故ハ空虚ノ位置、即チ諸心象ノ單純ナル活劇場ハ、如何ナル特殊限定ヲモ加フルコト能ハザレバナリ。故ニ、汝ハ誰ナリヤトノ疑問ニ對シテハ、唯「我」ハ我ノ如キモノナリト答フルヨリ外ナシ、而シ

テ又此應答ニ「縱シ我ハ變動アリシトスルモ、我ハ矢張り同一ノ我ナルベシト」ノ逆説ヲ附加スルコトヲ得シ。

然リト雖モ、若シ人ニシテ實ニ自識ヲ有シ、又自己ノ「我」ヲ認識センニハ或一定ノ者ナリト考察セザルベカラザルガ故ニ、吾人ハ此不定空虛ナル中心點ヲバ、一定ノ心象、及ヒ又實ニ瞬時ノ間最モ之ニ接近シテ存シ、且ツ其「我」ヲ表出スルニ最モ適切ナルモノヲ以テ填塞セザルベカラザルヤ明白ナリ。此ノ如キハ即チ最強、最要ニシテ且ツ最多ノ幫助ヲ有スル心象是ナリ。身體ノ心象並ニ能自覺的及ヒ愛好心象ユレニ屬ス。サレバ薄命ノ辛苦ヲ嘗メシ人ハ「余ヤ慘ナル哉」ト叫ビ、守錢奴ハ「余ハ富メル哉」ト呼ビ、殺害ノ重罪ヲ犯シ、人ハ「余ハ兇人ナル哉」テフ表言ノ外ニハ、其「我」ノ何タルヲ考フルコト能ハザルベシ。

(備考一) 「我」カ吾人ノ全心象生活ノ不易ナル中心點タル事實ハ、精神ハ單純唯一ナリトノ智識ノ基礎タルモノナリ(第一節ヲ比較スベシ)。

ぶらと一氏ハ、氏ノ理想ハ客觀的實在ナリトノ原理ニ從ヒテ、一切ノ心意作用中ニテ最高ナル三種ノ概念ニ對合セル三個ノ殊別ナル精神ヲ假定セリ、其三種概念トハ即チ智情及ヒ欲ニシテ、第一ヲ頭部ニ、第二ヲ胸部ニ、第三ヲ腹部ニ存スルモノトナセリ。

(備考二) 「我」ノ心象ト同時ニ他人ノ諸心象ノ叢會境タル「汝」ノ心象ヲ形成ス。即チ吾人ハ他ノ實在者モ亦感覺シ思考スルモノナルコトニ注目シ、而シテ彼ガ其環象ノ心象ニ應ツテ指導スル舉動ヲ見テ、其果シテ眞ナルコトヲ曉ルモノナリ。若シ實在者カ環象ニ於ケル偶然ノ變化ニ應ツテ自ラ其動作ヲ規制スルトキハ、其智性アルモノナルコト知ルベシ。是ニ於テカ己カ「我」ノ圖式ヲ此他實在者ニ移スヨリ、吾人ハ之ヲ以テ他ノ「我」即チ「汝」トシテ認ムルニ至ルナリ。

(備考三) 個人ノ世界ハ如何ニ數多ニ小分シ又廣濶ナリトモ、彼ノ「我」ハ常ニ其中心點ニ存シ、以テ固ヨリ唯、彼ノ「我」ノ全世界ノ回轉スル樞

軸タルベシ。各人ハ固ヨリ、乞丐ニテモ其世界ニテハ國王ナリ。彼ノ有スル知覺ハ即チ彼ノ知覺ナリ、彼ノ思考、感應シ、欲求、志望スル所ノモノハ、悉ク其精神上ノ所有物ニアラザルハナシ。スベテ如何ナル事物ヲ問ハズ、彼ニ對シテ或要アルモノハ其「我」ノ一部ト爲ラズンハアラザルナリ。「我」ノ第一確立者タル利己心ハ該世界ノ中心點ニ興起スルコトヲ得レドモ、之カ對敵トノ衝突絶エザルヨリ、漸次ニ破壊セラル、モノトス。人ハ已ト同權ノ人格ヨリ成リシ社會中ニ住スルヲ以テ、此等ノ人格ニ對シテハ、彼ハ彼一己ニテ當ニ有ルベカリシ者トナラズシテ、唯、常ニ見ル彼ノ如キ者タルニ外ナラザルナリ。

第六十節 經歷上ノ「我」

「我」ノ心象ニハ自ラ二三ノ逆説的現象ヲ保有セリ。一切ノ精神状態ハ「我」ノ内容ニ屬スレドモ、而カモ此内容ハ特ニ此等ノ中ノ一状態ニ基クモノニアラザルナリ。此理ニ由リテ「我」ハ一方ヨリハ變易スルモノト

見ユ、他方ヨリハ不易ナルモノトシテ表ハル、即チ「我」ハ最モ豊富ナルト同時ニ、最モ窮乏ナル心象群タリ。

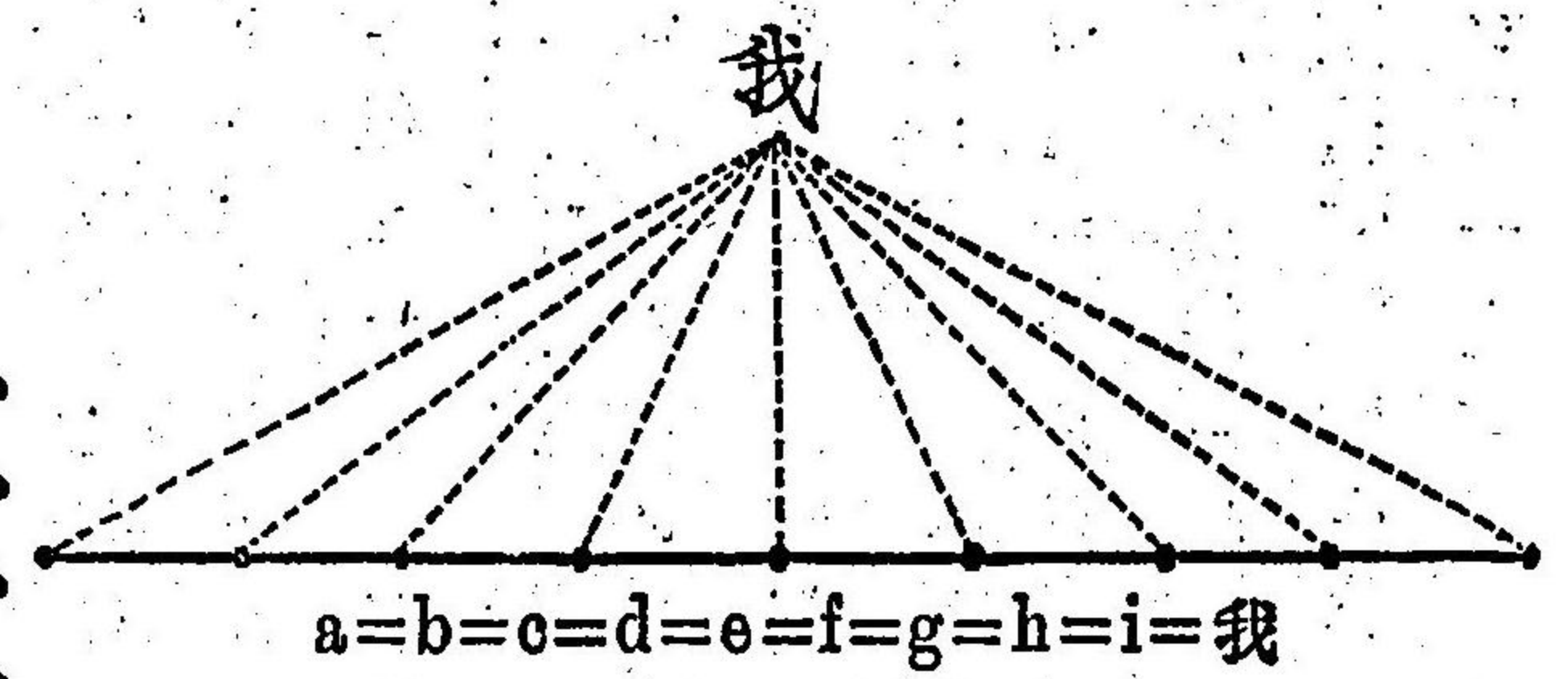
人ノ「我」ハ其覺官變動スルカ、重大ナル命運、病症等ノ之ヲ襲フカ、或ハ其主義、地位、姓名ヲ變更スルトキハ、他ノ「我」ト爲ルベシ。例ヘバ「ソール」ガ「ぼー」トナリ、市民進ミテ貴族トナリ、世俗人變シテ出世間ノ人トナリ、或ハ婦女ノ他ニ嫁シテ其夫ノ姓ヲ帶フル場合ノ如シ。サレドモ姓名ハ終始同一ノ人格ヲ外ニ代表スルモノナルガ故ニ、姓名ノ變更ハ吾人ノ遭遇スル變事中ノ尤モ重大ナルモノナレドモ、尙ホ變化ノ前後ニ於テ「我」ノ同一ヲ破壊スルコト能ハズ。人格ハ如何ニ變革ノ大ナルニ拘ラズ、常ニ同一ナルモノナリ。

精神生活ノ有ラユル命運ニ左右セラレ、之ト共ニ絶エズ變易スル「我」ヲ名クテ、人類ノ經歷上或ハ經驗的「我」ト稱ス。此「我」ハ生涯ノ歴史ヲ包括スルモノナリ。サレバ一ノ事變、一ノ精神状態ニテモ此「我」ニ屬セザル

モノナシ。此「我」トハ正シク、人間ノ經歷ニ於ケル個々ノ時代ニ對合シテ、次第ニ經過セラレシ數多ノ「我」ノ不易ナル繼起ヲ謂フナリ。嚴密ニ別ナル「我」ハ、年々、日々、秒々、秒々ニ變易スルモノナリ。各瞬間ハ皆夫々ニ特切言セバ、各瞬間ニ於テハ同一ノ人格ニ結合シテ、其附屬トナルナリ。更ニ此等ノ「我」ヲ保存スルモノハ、記憶カニシテ、此等ナシテ相互ニ關聯セシムルハ、悟性ナリ。若シ此ノ如クナラザラ、自ラ他ノ「我」ナリト思考スルニ至ルベシ。一時ノ人格、例ヘバ俳優ハ自ラ他ノ「我」ナリト思考スルヲ得、或ハあれき王人ニ假スルモ、某々府ノ市民タル親ヨリ得ベシ、サレドモ、今ヤ國王ニ假スルモ、某々府ノ市民タル親ヨリ得ベシ、新々ノ生活ヲ歴ルナシニ至ラズトモ、若シコトナシテ精神ニ健全ハノ擾亂ヲシ、前一切ノ諸「我」ヲ業ニ已ニ記憶スルコトニ經過シ來リシ、前一切ノ諸「我」ヲ業ニ已ニ記憶スルコト能ハザランカ、乃チ俳優ハ一變シテ妄想狂トナルベシ。

之ニ反シテ、人ノ純粹ノ「我」ハ、總テ此等ノ經歷上ノ命運ヨリ獨立シ、奈何ナル變事ノ發起ストモ常ニ同一不變ナルモノナリ。サレバ一方ヨリ見レバ、我ハ個々ノ精神状態ニ基クカ如ク、又他方ヨリ見ルトキハ之ニ基カズ、ト云ヘル逆説ハ下ノ説ニヨリテ解明スベシ、曰ハク、此等多數ノ變易常ナキ命運ハ、スベテ「我」ノ内容ニ屬スト雖モ、而カモ此等ハ相反ノ

第十圖



(備考一) 身體ノ全直覺ト雖モ、決シテ生活ノ行程中始終同一ニ存シ、以テ「我心象」ノ不易ノ根底タルコト能ハザルナリ。解剖學ノ示ス所

性ヲ有スルカタメ、之ヲ心象ノ統一中ニ合括スルトキハ相互ニ(個々ノ痕跡マデモ)蒙蔽トナリテ、彰著意識中ニハ唯「空虚」ノ交又點ヲ留ムルモノトス。

是ガ故ニ純粹ノ「我」ハ正ニ普通概念、普通心像及ヒ實ニ最高ノ抽象ニ同ジキモノトス。普通概念ハ唯、其外延ニヨリテ思考セラレベキカ如ク

自(第五十三節ノ圖表參看)又純粹ノ「我」モ特殊人格ノ生涯ノ經歷ヲ組成セル、變易常ナキ經驗的諸「我」a, b, c, d, e, ……等ニヨリテ思考セラレベキノミナリ。

ニ據レバ、吾人ノ身體ハ大凡ソ、七年ヲ一期トシテ全ク其體質ヲ一新
スルモノナリト云ヒ、又解剖學ニヨラザルモ、老人ノ生活感覺ハ其身
體カ幼年ノ如キ感受性、或ハ成人ノ如キ氣力ヲ有セザルモノナルコ
トヲ極メテ明ニ教示セリ。身體上ノ興奮性カ年ト共ニ益々減小スル
ニ從ヒ、老人ノ自識ハ愈々精神的心象上ニ退入シ、生滅的ノ「我」ハ益々ソノ
不滅的靈化ニ近接スベシ。然レドモ「我」ノ心象ハ常ニ身體上ニ繫聯
セルモノニシテ、遂ニ不死ノ信仰ニ於テ、塵世ノ肉身ヲ解脱セシ「我」ノ
心象カ、其最純無垢ノ狀態ニ達スル時マデハ全ク之ヲ去ルコトナシ。
(備考二) 獨リ時順ノ繼續上ニ於テノミナラス、又同一ノ瞬時ニ於テ
モ、人ニ於テ多ノ經歷的心象境ヲ形成シテ、各々接近セント努ムル中心
點ノ周邊ニ集簇スルヲ見レバ、其「我」ハ多種ナルモノノ如シ。サレバ
政治家、著述家、及ヒ一家ノ父タル人々モ、殊別ノ「我」ヲ有スルナリ。若
シ同一人格ニ屬スル此等ノ諸「我」ニシテ普遍ノ人「我」ニヨリテ媒介、連

結セラレズニ、個々別存スルトキハ、例ヘバ人ニシテ官吏、代議士及ヒ
私人トシテ、夫々各別ノ「我」ヲ示ス場合ニハ、毎ニ之ヲ以テ危險ノ情狀
ト見做サル、ナリ。

(備考三) 若シ「我」ノ分裂ニシテ、既ニ一ノ「我」ハ他「我」ト相關セザルカ如
ク甚シキニ至ルトキハ、妄想、狂ノ特質ヲ呈セル精神攪亂ヲ生ズルナ
リ。各人身體ノ心象ハ「我」ノ中心點ヲ成スモノナルカ故ニ、激烈永存
ノ狂亂ニヨリテ「我」心象ノ身體的根底ヲ廢セザル限りハ、異常ノ分裂
ヲ呈シテ、或ハ經歷的「我」ヲ人爲的「我」ニ變更スルカ如キコトアラザル
ベシ。然レドモ若シ肉體上ノ原因ヨリ全ク生活感覺ヲ一變セシカ、
自識同一ノ最終根底ヲ失スルカ爲メ、經歷的「我」ハ立トコロニ變ジテ、
異常ナルモノト爲ルベシ。(酒客妄想狂、睡遊及ヒ全視力コレナリ)。
此場合ニハ經歷上ノ「我」ハ終始蒙蔽ノ狀ニ在リ。故ニ若シ身體ノ調
ヲ變スルカ、或ハ直接ノ物理的影響ニヨリテ右ノ「我」ヲ再現セシムル

トキハ以テ該患者ヲ平癒セシムベキナリ。

第六十一章 社會上ノ「我」タル「我等」

個人的意識ヨリシテ其統一ノ表象タル「我」ヲ發達シタルガ如ク、「我等」「我輩」「吾人」ハ社會的意識ヨリ構成セラレシモノナリ。

社會的意識ノ構成セラル、ハ、複多ノ物理的人格ニ於テ心象ノ共通圈及ヒ一系ノ事情ヲ形成シ、由テ以テ一人格ノ心象ハ他人格ノ心象ト相互作用ニ入ルコトヲ得ベキ場合ニ在ルナリ。

社會ヲ形成スル種々ノ個人ハ、又物理上ニ於テ相互作用ノ關係ヲナシ、且ツ又共通ノ基地上ニ相會同セザルベカラズ。此基地トハ家族ノ聯合ニ對シテハ家屋ナリ、邦人ニ對シテハ本國ナリ、國民聯合ニ對シテハ其言語ノ人種的區域ナリ、一般人類ニ對シテハ地球ナリ。社會各員ノ相互作用ヲ現スル物理的區域ハ、社會ノ統一ヲ外ニ表出スル一切ノ覺官的特質(即チ言語、慣習、服制、儀式)ト共ニ、所謂社會ノ身體ヲ形成スルモ

ノニシテ、以テ「我」心象ノ根底タル物理的的身體ト對比セリ。

右ノ如キ社會上ノ「我」即チ「我等」ニ對スル物理的區域ノ心象ハ、其各員間ニ存スル純粹ノ精神的關係ニ對シテ益、退縮スベシト雖モ、而カモ曾テ

第

此等ノ覺官的機關ノ媒介ハ全ク其跡ヲ絶ツニ至ルコトナシ。サレバ家族ノ各員ハ其間ニ同一ノ血液ノ流通セル故ヲ以テ皆眞ニ一體ナリト思惟シ、同國人ハ同一ノ邦國ニ住シ、從ヒテ同一ナル直接ノ覺官知覺

一

圈ヲ有スルカ故ヲ以テ、同國の「我等」ニヨリテ相團結シ、同國民ノ各員ハ言語ニ於テ、又一分ハ同一ノ服制、風俗、習慣ニ於テ其統合ノ覺官的物牀ヲ見、各種ノ國牀民情中ニ流布セル羅馬教會ハ共通ノ禮拜、同一ノ祈禱

編

同一ノ教會語ヲ以テ、其教徒ノ社會的「我等」ノ表號トナセリ。人間社會ノ社會的「我」即チ「我等」ノ益、發達スルニ應ツテ、共同ノ心象及ヒ利害ハ益、大トナリ、且ツ交際、交通及ヒ社會的豫備ニ由リテ各社會員ノ心象圈ハ益、密接ノ相互作用ヲナスコト、猶ホ一個人ノ意識内ニ於ケル

諸心象ノ場合ト同一ナルベシ。人員ノ數増加スルト共ニ社會ノ區域モ益々廣大トナリ、從ヒテ各員ノ相互作用ノ愈々薄弱トナルトキハ、該社會ノ「我等」ノ發達モ益々微々タルベシ。

最強ノ「我等」ハ、僅々タル人員ヨリ成レドモ、而カモ尤モ密接ノ相互作用ニヨリテ團結セル家族ニ於テ之ヲ見ルナリ。印刷ノ發明ニヨリ精神ノ成果ヲシテ最モ廣大ナル區域ニ流布セシメシ以來、就中近代交通方便ノ普及ニヨリテ、最大距離ノ處ニモ益々交際ヲ親密ナラシメシ以來、國民的「我等」ハ非常長足ノ發達ヲナセリ。

此點ニ就テ最モ特絶セルモノナル地理上ニ散在セル中ニ於テ、能ク古今ヲ通シテ其國粹ヲ保存セシメタルは猶太人カ其人民ノ最モ潤大ニシテ、且ハ猶太人ノ其國ニ於ケル覺官的特質ノ數ハ太

個人的自識ノ擴大シテ社會的自識トナレルコトハ、人類ニトリテ心理上大ニ緊要ナルモノトス。人ノ「我」ハ、外界ノ情狀ト内部ノ志向トヲ調和セシメン目的ヲ以テ、外ニ向テ活潑ニ盡力スル點ヨリ觀レバ、即チ勢

カトシテ外ニ表ハル、モノナリ。故ニ社會的力量ガ一個人ノ力量ヨリモ大ナルニ準シテ、社會的「我情」ハ益々高等ニ進ミ、人ハ愈々高尚ノ行爲ヲ舉クベキヤウ刺衝セラレベシ。從來成就セラレシ殆ト一切ノ偉業大功ハ、古代ニアリテハ政治上ノ自識ヨリ、中世ニアリテハ宗教上ノ自識ヨリ、近代ニアリテハ國民的自識ヨリ發起セシモノナリ。

自識ノ最高擴充ハ純粹ナル人間ノ「我等」ヲ發達セシメ、以テ人類テフ心象ニ到達セル所ニ於テ見ルベシ。

(備考一) 家族ノ區域ハ婦人ノ全世界トナス所ナルガ、時代ノ進歩ト共ニ男子ニハ餘リ狭小ニシテ、其努力ヲ竭サシムルニ足ラザルニ至レリ。故ニ男子ハ一層大ナル圈内、即チ國家、教會、國民中ニ入りテ、之ヲ爲メニ思考シ、感應シ、動作セシコトヲ索メタリ。是ニ於テカ、男子ハ普通ノ「我等」ニヨリテ高等無形ノ人格ヲ結成セル意見、命運、黨派及ヒ道德社會ノ廣域中ニ進入セリ。何人ニテモ「我獨逸人」「我亞米利加

人「我すらいぶ人」我埃太利人「我天主教徒」ト言ヒ、又ハシカ思考スルト
 キハ、是レ自身ト我ヨリ大ナル廣域トテ同視セルモノナリ。サレバ
 國民ノ運命ハ又彼ノ運命ナリ、其偉業、ソノ歴史、ソノ未來ハ、皆彼カ「我」
 ノ一部トナサル、ナリ。國民的意識ノ設立セル紀念的結構、即チ教
 會、劇場、産業展覽會、國會議事堂中ニ逍遙スルハ、猶ホ一家ノ遺産ニ於
 ケルカ如シ。此等ノ國民的自識ハ、若シ富贍ナル國民文學ノ智識及
 ヒ研究ニヨリテ助勢セラル、トキハ益、高ク發揚スベキナリ。
 (備考二) 既ニ社會的自識ノ存スル上ハ又社會ノ心理學(即チ社會心
 理學)アリテ起ル、是レ即チ早ク既ニへるばると氏カ基礎ヲ定メシ科
 學ナレドモ、尙ホ之ヲ完成センタメ盡力センコトヲ要スルナリ。著
 者ハ「社會學ノ根基タル社會心理學ノ觀念」(千八百七十一年刊行)ト題スル著
 書中ニテ、斯學ノ大要ヲ開示セリ。

第六十二節 内覺

人ハ一旦、自己ノ意識ニ到着スルヤ、直ニ變化常ナキ内狀ヲ其「我」ニ歸シ、
 且ツ之ニ由リテ同時ニ内面的ニ知覺セントスル傾アリ。是ヲ以テ自
 識ハ内覺内官ノ形狀ヲ呈スルナリ。

精神狀態中ニハ、毫末モ内覺發動ノ形跡ヲ存ゼズシテ表ハル、モノア
 リ。此場合ニハ「我」ハ全ク己ヲ忘却シ、從ヒテ「我」ニ何等ノ關係ナクシテ
 其心象ヲ把住スルカ如キ、客觀性及ヒ排他性他ノ心象ヲ注意セザルモノヲ排テ
 以テ自ラ一意ニ心象ノ目的物ニ從フモノナリ。吾人カ全ク奇異ナル
 事物ニ會スルトキ、科學的問題、事業又ハ遊戯上ニ全ク「我」ヲ忘レテ吸收
 セラルルトキ、戯曲ヲ靜ニ觀見スルトキ、或ハ證人トシテ法廳ニ臨ムト
 キハ、往々純然タル離己ノ狀ヲ以テ外界ノ印象ヲ領受スルモノナリ。
 嬰兒及ヒ動物ハ、右ノ如ク意識内ノ各狀態ニ客觀的服從ヲナスノミニ
 シテ、更ニ其上ニ出ルコト能ハズ。
 サレドモ既ニ自識ニ到達セル人ニアリテハ、或場合ニ當テ我身ヲ想起

シ、且ツ意識ノ状態ヲ「自己」ノ状態トシテ「我」ニ歸スルコト、極メテ容易ナリトス。

此等ノ状態カ精神生活ノ従前ノ經驗ト和合セザルカ如ク新奇異様ナルコトハ甚ダ希有ニシテ、皆多少舊心象圈ヲ追憶セシメザルハナシ、而シテ此等ノ舊心象ハ「我」ノ内容ニ屬スルカ故ニ、從ヒテ此等ノ状態ハ又「我」ノ内容ヲモ再現セシムルモノナリ。サレドモ既ニ「我」ニシテ意識内ニ存センカ、此等ノ新入薄弱ノ心象ハ、必ス最舊、最強ニシテ、到底勝ツベカラザル心象群ト相對立スルヲ見ルベシ。是ニ於テカ自覺作用ノ要情成レリ。而シテ新心象ハ其獨立ヲ失ヒテ「我」心象中ニ同化セラレベシ。斯ノ如キ同化收容ハ斷定ノ形狀ヲ以テ現ハル、モノトス。新入ノ精神状態Aハ主位ニシテ、之ニ付加セラル、賓位ハ、此等ノ精神状態ハ「己カ」「我」ニ屬ス「ト」ノ思想コレナリ。是ニ於テAハ「我カモ」ノナリノ斷定構成セラル、ナリ。自識ノ活潑ナル間ハ、意識ノ一切状態ハ皆右ノ

麟氏實験心理學

第

一

編

賓位「我カモ」ノ「ニ」ヨリテ隨伴セラル、モノトス。

右ノ作用ニ對シテ内覺ノ名目ヲ付セリト雖モ、讀者ハ此言語上ノ比喻ヲ以テ内覺及ヒ外覺間ノ實際ノ對比ナリト做スベカラズ。外覺外官ノ活動ハ原始的ナレドモ、内覺ノ活動ハ多クハ派生的ニシテ、他ノ精神状態ニヨリテ媒介セラレシモノナリ、彼ハ眞實ノ覺官機ヲ有スレドモ、此ニハ斯カル機關一モアラス、彼ニハ知覺アリ、此ニハ斷定アリ、彼ニハ知覺作用アリ、此ニハ自覺作用アリ。

(備考一) 主宰者ヲ異ニスル心象圈ハ常ニ各異ノ「我」ヲ現ハスモノナルカ故ニ「我」ノ分裂ヲ生起セシ場合ニハ、又内覺ノ作用ニヨリテ該分裂ヲ個々心狀ノ自覺上ニ推及ホシ、一ノ「我」ノ承諾スル所ハ他ノ「我」ニ排斥セラル、コト、ナルベシ。例ヘバ將帥タルまんりあすハ、父トシテノまんりあすトハ異ナレル判斷ヲナスベク、而シテ今日マデ、一私人トシテハ赦免スベカリシ場合ニモ、法官トシテハ死刑ヲ宣告セ

三三六
ザルヲ得ザルノ位置ニ來リタル人、擧ナシトセズ。人ハ大醉及ヒ激
情ニヨリテ後日ニ羞耻スベキ行爲ヲ遂クルコトアリ、此羞耻ナルモ
ノハ自識内ニ於ケル衝突ノ結果トシテ生ゼシ、一時ノ悔恨ノ感ニ外
ナラザルナリ。動物ハ毫モ羞耻ノ心ナシ、兒童ニアリテハ自識ノ醒
起ト共ニ初メテ發現スルモノナリ。

(備考二) 自識ト内覺トハ互ニ相並ビテ發達スルモノナリ。内覺ハ
醒起セル「我」ノ心象ナクンバ其何タルヲ考フベカラズ、而シテ又該心
象ハ内覺ノ作用ニヨリテ、分散セル精神生活ノ元素トシテ、共通中心
點ニ歸セシムルニアラザレバ、之ヲ構成スベカラザルナリ。自識ヲ
最モ嚴密ニ表白スルモノハ、或偶然ノ精神狀態ナルモノヲ容レズ、唯「
我」ヲ「我」トシテ其身ニ歸セシムル内覺ノ作用ナリトス。是ニ由リテ、
「我」ハ同時ニ主位及ヒ賓位トナリ、從ヒテ「我」ノ心象ニ於テ將ニ陷ラシ
トスル分裂ヲ避クル所ノ斷定ヲ生スルナリ、即チ「我」ハ「我」トノ同

一斷定是ナリ。

第二編 感情

第六十三節 感情ノ成立

第 二 編

吾人ノ意識ノ状態ハ斷エズ行動スルモノナリ。新心象ハ常ニ其中ニ入リテ舊心象ヲ驅逐セントス、サレドモ舊心象モ抵抗ヲ努メズシテ容易ニ之ニ服従スルモノニアラズ、而シテ其抵抗ノ如何ハ心象其物ノ強度及ヒ之カ「補助」ノ強度ニ依ルモノトス。

編

是カ故ニ吾人ノ意識内ニハ常ニ制[○]遏[○]及ヒ薦[○]進[○]ヲ生ズルナリ。サレドモ若シ其微弱ニシテ暫時ノ間ナルトキハ、別ニ認知セラレズシテ經過ス。例ヘバ姓名ヲ忘却シ、或ハ人物ヲ認識スルガ如キハ、何等ノ事情モナクシテ過キ去ルナリ。

サレドモ心象群或ハ心象系列ニシテ本來、興起或ハ展出ノ状ニ在リシモノハ、不意ニ反對メノ爲メ抑壓セラレ或ハ拘制セラレ、トキハ、該心

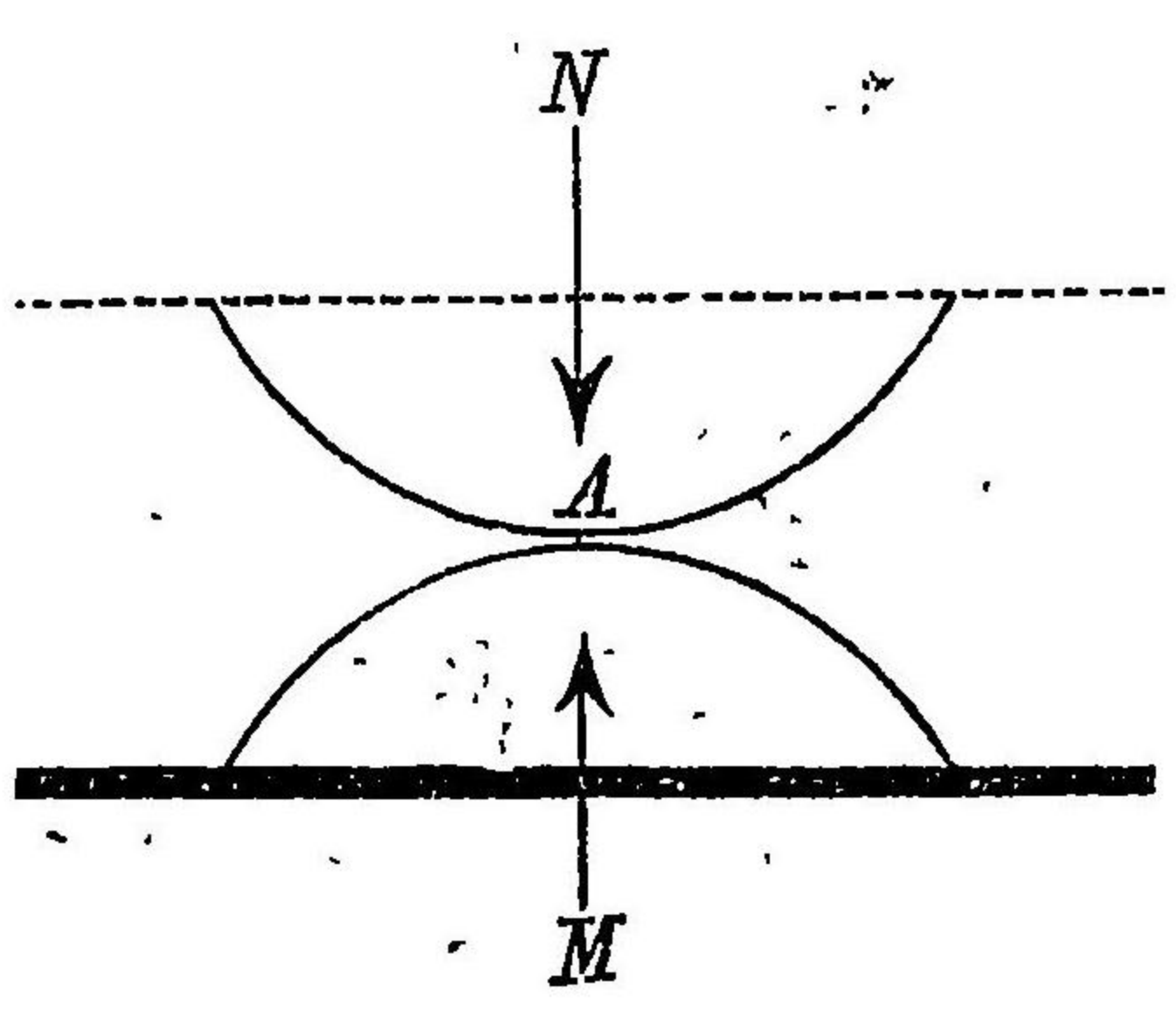
象ハ將ニ受ケントスル制遏ニ抵抗シ、以テ此制遏作用ヲ意識内ニ現示スベシ。此ニ於テ諸心象ハ宛モ二ノ反對力、即チ制遏的、反對ト薦進的、幫助トノ間ニ狹壓セラレ、ヲ見ルナリ。制遏ニ對スル抵抗ハ一ノ感情、即チ苦痛ノ感情ヲ生ズルモノナリ。若シ幫助ニヨリテ反對ヲ克制シタルカ爲メ、制遏ノ全部或ハ一部分ヲ排除スルトキハ、俄ニ心象ノ薦進ヲ生ズルニ至ル、是レ吾人カ快樂ノ感情トシテ認識スル所ノモノナリ。

右ノ作用ハ左ニ掲グル感情狹壓ノ圖表ニヨリ更ニ明瞭ナラシムルコトヲ得ベシ。

故ニ感情ハ心象ノ薦進或ハ制遏ノ認識ニシテ、即チ薦進ナルトキハ快樂ノ感情トナリ、若シ精神ノ意識内ニ制遏ハ現ハル、トキハ苦痛ノ感情トナルナリ。

精神ノ生活ハ即チ心象生活ナリ、各ノ心象ノ薦進ハ又精神ノ生活作用

圖 一 十 第



A=感情ノ座位。
 M=幫助。
 N=反對。
 1. $N > M$: 制遏, 抑壓, 苦痛。
 2. $M > N$: 薦進, 抑壓ノ排除, 快樂。

ヲ進捗スルモノニシテ、各ノ心象ノ制遏ハ又同時ニ精神生活ノ制遏ナリ。故ニ感情ハ又精神特有ノ生活作用ノ興起シ或ハ沈降スルノ意識ナリ、ト釋義スルコトヲ得ベシ。

アサリ、レ、テ、之、ヨリ、起、及、二、沈、降、ス、ル、水、平、得、ル、モ、高、ノ、如、ク、ト、諸、心、象、ノ、強、度、及、此、水、與、平、性、ノ、猶、平、均、數、ニ、或、シ、河、流、心、象、於、用、各、或、時、シ、ノ、間、又、同、一、人、ニ、動、搖、テ、往、返、感、情、ノ、影、響、セ、ラ、ル、數、時、間、及、ヒ、境、遇、

ニ應クシテ顯著ノ變化
ヲ受クルモノナリ。

(備考一) 此ニ例證ヲ舉ゲテ右ノ所説ヲ明白ナラシムベシ。例ハバ
或朋友ノ死シタルトキハ、此事變ト聯合セル心象ハ我ニ苦痛ノ感情
ヲ生起スベシ。生クル朋友ノ心象ハ無數ノ幫助即チ我ヲシテ朋友
ヲ追憶セシムル各事物、及ヒ我ト彼トヲ聯結セル一切ノ經驗、會話、共
同ノ志向及ヒ運命ハ皆之ニ屬ス。ニ由リテ支持セラレ、之ト同時ニ到
底、吾思想中ヨリ排去スルヲ許サザル有力ノ反對、即チ死セル朋友ノ
心象、并ニ拒斥スベカラザル朋友死亡ノ自信ニヨリテ制遏セラレベ
シ。此場合ニハ反對ガ幫助ニ勝ツヲ以テ苦痛ノ感情ヲ生ズルナリ。
若シ此反對ヲ排除スル場合、例ハバ朋友ノ蘇生スルコトヲ得シトキ
ハ、右苦痛ノ感情ハ一變シテ快樂ノ感情トナルベシ。

(備考二) 心象ハ常ニ變化往來シ、爲メニ吾意識内ニ於テ斷ユズ制遏
及ビ薦進ヲ生ズルカ故ニ、吾人ハ常ニ特殊ノ感情ヲ見ルベキ筈ナリ。

サレドモ此等ノ制遏及ビ薦進ノ過半ハ甚タ微弱ニシテ、個別ニ吾人
ノ意識ニ感知セシムベキ力ナシ。然レドモ其總體ニ於テハ之ヲ感
知セシムルコトヲ得ベシ、其故ハ意識内ニテ孤獨ニ起リタル個々ノ
制遏及ビ薦進ノ結果トシテ蒙蔽ナル一躰ノ感情ヲ生起スレバナリ、
而シテ該感情ハ精神生活ノ進行ト不離ニ關聯セルモノナレバ、之ヲ
生活感情ト稱ス。通常ノ境遇ニアリテハ薦進ハ制遏ヲ克制セルヨ
リ、一般ノ生活感情ハ皆快感ナリ、故ニ如何ナル厭世觀アルニモ拘ラ
ズ、生活ヲ以テ積極的ニ善長ナルモノトナサザルベカラズ。就テ點ニ
存ノ快樂ヲ参照スベシ。

(備考三) 感情ハ往々感覺ト混同セラレ、コトアリ。サレドモ二者
ハ左ノ如ク相異ナレリ、第一、感覺ハ精神ノ本原的状態ニシテ、感情ハ
派生的状態ナリ、第二ニ感覺ハ身體ノ状態ヲ意識ニ致スモノナレド
モ、感情ハ精神ノ状態ヲ意識ニ示スモノナリ。是ノ故ニ生活感情ト

生活感覺トハ密接ニ相關スルモノナレドモ、決シテ混同スベカラズ、
奈何トナレバ、生活感覺ハ單ニ有機的體感ノ相關スル心象作用ノ興
起或ハ沈降スル結果ニ過キザレドモ、之ニ反シテ、生活感情ハ意識内
ニ表現セル諸心象全軀ノ結果ナレバナリ。

第六十四節 感情ノ内容、調節、強度 及ヒ連續

吾人ハ感情ニ於テ内容、調節、強度及ヒ連續ヲ區別スルコトヲ得ベシ。
感情ハ其物ニ於テハ蒙蔽ナル主觀的狀態ナレバ、感情ノ座位タル本據
ル心象ヨリ之ヲ借り來ラザル限リハ、其特有ニシテ形質ノ限定セル内
容ヲ以テ之ニ歸スルコト能ハズ。サレドモ猶ホ是レダニモ常ニ行ハ
ルベキコトニアラズ、奈何トナレバ、感情中ニハ二三ノ彰著心象ヨリ生
ゼズシテ、不定ナル數多ノ蒙蔽心象ヨリ生ズルモルアレバナリ(第六十
六節)。サレバ其心象内容ニ關シテ精密ノ分解ヲナスヲ得ルハ單ニ僅

第

二

編

僅ノ感情アルノミナリ。

感情ノ特質タルモノハ即チ其調節ニシテ、吾人ノ意識ニ快樂又ハ苦痛
ノ感情トナリテ覺知セラル、ハ全ク是ニ由レリ。

快樂ノ感情ハ、吾意識ノ各變化ニ由リテ諸心象間ニ行ハル、緊張(相互
ノ制遏)ノ度ヲ減小シ、以テ縱ヒ一部分ナリトモ、一時心象ノ發動ヲ興起
セシムルヨリ生ズ、之ニ反シテ苦痛ノ感情ハ、心象ノ各運動ニ由リテ緊
張ノ度ヲ増加シ、以テ心象ノ量ヲ減小スルヨリ起ルモノナリ。

精神ノ心象發動ハ其量ニ限リアルモノナレバ、其増加ニ至リテモ單ニ
一定ノ點ニ達スルコトヲ得ベキノミ。若シ一旦此點ニ達セシトキハ

此ニ其減少ヲ生セザルヘカラズ、而シテ此減少カ俄ニ起ルトキハ、苦痛
ノ感情トナリテ主觀上ニ覺知セラル、ナリ。此生理ニ由リテ吾人ノ心
象生活ニ於テハ、吾人ノ心
驗上ヨリモ十分ニ正確ニ交遊セザル是ヲ以テ、心象ノ發動ノ不意ニ興起スル
見ル所ハ又之ニ或ハ過度ノ心象發動ノ徐々タル例ハ、洗滌及ヒ無益ノ動搖ノ場合ニ

次テ漸次ノ興起ヲ伴生スベシ、例ヘバ靜息ニ代リテ活動ヲ生
 感情ノ強度ハ心象ノ薦進及ヒ制遏ノ活潑從ヒテ又反對及ヒ幫助ノ強
 度ニ基クモノナリ。(前節ノ圖表ノM及ヒNナリ。)最強ノ感情ハ最多
 ニシテ且ツ最強ナル幫助カ最多最強ナル反對ニ會遭セシ時、即チ感情
 ノ緊壓ノ最強ナル時ニ生ズルナリ。詳言セバ、此等ノ感情ハ覺官的感
 覺、或ハ廣大ニシテ多様ノ組織ヲナセル心象群ヨリ發起シタル、心象ノ
 薦進及ヒ制遏ヨリ生ズルナリ。薦進ノ活潑ハ之ニ先行スル制遏ノ強
 度ニ依レリ、故ニ塵世ノ心象生活内ニテハ未ダ曾テ永久、無瑕ノ(清淨ノ)
 歡樂アルコトナシ。
 感情ノ連續ハ心象カ他ヨリ侵害セラレズシテ、持續スルニ基ケリ。覺
 官ノ感覺ハ實ニ甚タ強勁ナリ、サレドモ其力ハ覺官ノ印象ト共ニ休止
 スルガ故ニ、之ニ基ケル覺官的歡樂及ヒ苦惱ハ暫時ニシテ轉變不定ナ
 ル性ヲ有ス。之ニ比シテ更ニ永續スル感情ハ、其座位ヲ直接ノ覺官的

印象ニ有セズシテ、廣ク蔓延シ且ツ多種ニ組織セラレシ心象群ニ存ス
 ルモノナリ。斯カル感情ハ此等ノ心象群カ時順ノ經過ト共ニ其力ヲ
 失ヒシ時ニ、始メテ衰滅ニ就クコトアルノミ。

(備考) 快樂及ヒ苦痛ハ相對ナリ。快樂ノ減小セルモノハ苦痛トナ
 リ、苦痛ノ減小セルモノハ快樂トナリテ感スベシ。今日吾人ニ歡樂
 ナ與フル事變ハ明日ニハ吾人ヲシテ全ク不偏ノ地ニアラシムベシ。
 サレバ感情ノ強度ヲ限定スルモノハ絶對的ノ興起及ヒ沮喪ニアラ
 ズシテ、寧ロ相對的ノ浮沈昂低ナリ。此方法ニヨリテ、一定ノ快感ノ
 導子タル點ヨリ外物ヲ觀タルトキニ、其物ノ價值ニ關シテ生ズル所
 ノ幻影ヲ説明スベシ。例ヘバ百金ノ贈與ハ之ヲ受クル人ノ貧富ニ
 應シテ各異ノ結果ヲ生ズルカ如シ(第十六節備考三)。

第六十五節 感情及ヒ心象

感情ハ決シテ孤立セル精神ノ發動ニアラズ、感情ハ心象ノ中ニ、又之ト

共ニ存立スルモノニシテ、之ヲ離レテ存スルニハアラズ。各ノ感情ハ或心象群ニ於テ其座位ヲ有ス、故ニ該心象群ノ元素ニシテ吾人ノ意識内ニ會遭スルトキハ、毎ニ感情ヲ生ズルモノナリ。是ヲ以テ亡友ニ關スル哀悼ハ、吾人カ朋友ヲ追憶スル毎ニ回歸スルモノナリ。感情ハ既ニ心象ニ依從スルモノナルガ故ニ、又ソノ有ラユル運命ヲモ分受ス。心象ノ再現スルトキハ之ト共ニ感情ノ再現アリ、加之吾人ハ感情ノ記憶力及ヒ想像力ヲモ説クコトヲ得ベシ。サレドモ此場合ニ於テ、再現セル感情ハ其強度ニ於テ本原ノ感情ヨリ遙ニ劣レリトノ特殊事實アルコトヲ知ルベシ。奈何トナレバ、感情ノ強度ハ實ニ心象ノ發表スル勢力ニ依ルモノナルニ、其勢力ハ再現ニ於テハ本原ノ心象ヨリ比較上微弱ナレバナリ。吾人ハ感情ニ於テハタゞ短且ツ微ナル記憶力ヲ有スルノミ。精神上ノ苦痛ハ猶ホ身體上ノ苦痛ト同シク、第一ノ印象ハ既ニ消去シテ、先ニ精神ニ緊張ヲ生セシ心象カ只、再現トナリ

テ復歸スル場合ニハ、其刺痛性ヲ失スルモノナリ。スベテ意識ノ緊張ハ其徐々タル變化ニヨリテ漸次ニ消失スルモノナレバ、時順ハ一切ノ痛傷ヲ療癒スルモノト謂フベシ。想像力ハ感情ノ富源ナリ。想像力ハ事物ト關聯セル小心象ニ藉リテ、特殊ノ情色ヲ事物ニ纏付ス、故ニ同一ノ事物ニシテ或ハ適意及ヒ鼓舞トナリ、或ハ嫌忌及ヒ沮喪トナリテ吾人ヲ感動スルモノナリ。例ヘバ林中ノ草原、寂タル林間幽境ノ一十字架墓地、刑場、墟址ノ如キハ、皆特殊ノ情ヲ激興スベシ。悟性ハ吾人ノ心象ヲシテ靜謐ナラシム、是レ悟性ハ往々激越セル心象ノ結合ヲシテ思想ノ内容ニ相應セル關係ヲナサシメ、以テ其不合理ノ緊張ヲ解キテ、本然ノ自由ヲ生ゼシメント索ムルモノナレバナリ。悟性ハ恰ク感情ヲ滅熄スルモノナリ、情火ノ激烈ナルトキハ殊ニ然リトス、悟性ハ其論理ヲ以テ吾人ノ苦痛ノ無益ナルコト、或ハ其必然ナル所

以テ彰ハシテ之ヲ緩和セントシ、各ノ苦痛ハ直ニ其刺痛上ヨリ分解セラレ、
或シタル後ニ忍耐スラケ、余ハ奈何ナル如キ憂患ニテモ、半時間ノ反省靜慮ナリ
ト。ニ堪フルコトノ若一層容易ナルヤ、疑フ解スルヲ得ズ。又他方ニ於テハ、其
論理ニヨリテ感情ノ激揚并ニ靈化及ヒ狂喜ノ大悅ヲ鎮壓スルモノナ
リ。

悟性ハ右ノ如クシテ心情ノ激越ヲ矯正スルモノナルガ、又他方ニ於テ
ハ、思想界ノ調和及ヒ秩序ヲ洞察スルヨリ淵源セル一層靜和高尙ノ歡
樂ヲ開現造出スルモノナリ。美妙及ヒ美術ノ境域ニ於ケル空想ノ創
造ハ、悟性ノ作用ニヨリテ媒助セラル、カ、或ハ少ナクトモ其規律ニ服
スルモノナリ。藝術品ノ創造ニ於テハ、天才ハ此規律ヲ明カニ認識セ
ルニ基キ、而シテ藝術ノ評家ニ至リテハ、藝術品ニ判定ナリ。
ニ當リ、如何ナル適合ノ間ハズ、常ニ之ヲ應用スルモノナリ。
(備考) 感情生活ノ現象ハ、即チ心象カ意識内ニ來去スルニ當リテ呈
スル所ノ心象ノ節律ニ基ケリ。敏速ノ節律ハ多血性、少年、女性并ニ

彼ノ舒暢快活ノ心調ニ於テ觀ルガ如ク、自由ハ緊張ニ勝リ、從ヒテ快
感ハ苦感ニ勝ツ所ノ、感情ノ輕快ナル波動ニ伴フモノナリ。右ノ反
對ハ、更ニ遲緩ノ節律ニ於テ存ス、即チ憂鬱性、成年并ニ落膽及ヒ悲哀
ノ心調ニ於テ示ス所ノ如シ。スバテ吾人ノ心象行動ノ速度ヲ催進
スル事物、例ヘバ爽快ノ音樂、親友トノ快談、外界活劇ノ諸光景ニ注目
スル等ノ如キハ、吾心情ヲシテ快活ナラシム、之ニ反シテ外來ノ諸勝
因ヲ絶チテ、固ク己カ心象群ニ吸收セラル、ハ是レ悲哀ノ特標ナリ。
悲哀ニ沈ミシニ、ハ其苦痛ニ由リテ化石シタリ。

第六十六節 感情ノ分類

諸心象ノ各運動ハ皆感情ノ興奮ヲ伴ヘルガ故ニ、感情ハ非常ニ種々雜
多ナリ。各種ノ感情ハ更ニ小區分トシテ快樂及ヒ苦痛ノ二ツニ分類
スルコトヲ得レドモ、其他一般ニ感情ノ座位ヲ占ムル心象ニ隨ヒテ之
ヲ分類スルコトヲ得ベシ。

感情ハ其基礎ヲ意識ノ一般ノ状態或ハ個々ハ一定セル及ヒ一定セラ
 ルベキ心象ニ於テ有スルコトヲ得ベシ。第一ノ場合ハ普通或ハ散漫
 ノ感情ト稱シ、第二ノ場合ハ特殊或ハ一定ノ感情ト稱ス。普通感情ハ
 廣大ニシテ且ツ多クハ不定ナル心象境ニ蔓延セリ、之ニ反シテ特殊感
 情ハ意識ノ普通境ヨリ獨リ興起セル嚴密、明確ノ心象群ヨリ生ズルモ
 ノナリ。普通感情ハ形式、主觀、蒙蔽ノ性質ヲ有シ、特殊感情ハ形質、客觀、
 彰著ノ特標ヲ帶ブルモノナリ。

感情中ニテ最モ普通散漫ナルハ生活感情ナリ、奈何トナレバ、此感情ハ
 意識内ニ行動スル全躰ノ諸心象ヨリ生ゼシ結果ナレバナリ。諸種ノ
 心調ハ右ノ感情ニ付着セルモノニシテ、是レ即チ普通ナル生活感情ノ
 變形セシモノト看做スコトヲ得ベシ。

且ツ又其界線ハ決シテ判然タルモノニアラザルナリ。之ヲ現實ノ精
 神生活ニ見ルニ、普通感情ハ、若シ諸心象ノ行動ニ際シ或心象ガ一定ノ

彰著ノ度ニ達シ、是ニ由リテ全躰ノ中點トナルトキハ、直ニ特殊感情ニ
 變スベシ。憂悶ノ感情ハ正シク普通感情ナリ、サレドモ、我不安ノ眞原
 因ヲ明ニ認識スルトキハ此ニ特殊ノ性質ヲ得ベシ。之ト同シク、端然
 靜肅ナル家屋ニ入りシトキ吾人ヲシテ愉快ヲ覺エシムル秩序ノ快樂
 テフ普通ノ感情ハ、若シ室内ニ於ケル個々ノ物品ニ我注意ヲ向クルト
 キハ直ニ變シテ特殊ノ感情トナリ、又希望ト云ヘル散漫ノ感情ハ事情
 ニ應シテ或一定ノ事件ノ豫期ト爲ルナリ。

右ト異ナル感情ノ區分ハ劣等感情及ヒ高等感情トナスモノニシテ、此
 二者ハ感情ノ基因タル心象發動カ或ハ智力ノ媒介ヲ缺キ、或ハ其媒介
 ト共ニ行ハル、ニヨリテ生ズルナリ。

普通即チ散漫ノ感情ハ殆ト全ク劣等ノ種類ニ屬セリ、其故ハ此等ノ感
 情ハ多數不定ノ心象ヨリ發起スルカタメ、之ニ概念上ノ分解ヲ加フル
 コト能ハズ、且ツ多クハ吾人ノ指導ヲ須クズシテ現出スルモノナレバ

ナリ。
高等感情ハ特殊感情ト共ニ劣等感情ヨリ明々ニ區別セザルベカラズ。前者ハ悟性及ヒ理性ニ揀擇セラレシ心象ニ基キ、後者ハ多ク感覺及ヒ再現ニ於テ其座位ヲ占ムルモノナリ。

高等感情ニ屬スルモノハ第一ニ眞、美及ヒ善ノ心象、次ニ天神、我並ニ彼我ノ關係ニツイテノ心象ニ於テ其座位ヲ有スルモノナリ。

第六十七節 普通即チ形式的感情

感情ノ最モ普遍ナル形式ハ心象ノ制遏及ヒ薦進ニシテ、此形式ハ又心象發動ノ緊張ト自由、減小ト増加、沈降ト興起等ノ視點ヨリモ觀察セラレベキ一ノ作用ナリ。

普通感情ハ一層親近ノ事情ニ會シテ、右ノ作用ニ一定ノ變化ヲ與ヘシモノナリ。此等ノ變化ハ即チ各種ノ普通感情ニ對合スルモノニシテ、左ノ如シ。

緩慢及ヒ催進ハ心象ニ節律的運動ノ變化ヲ與ヘシモノナリ。音樂舞蹈、會話、遊戯ハ催進ヲ生ズルヲ得、ベク、單調、朦朧、沈靜、遊惰ハ緩慢ヲ生ズベシ。前者ハ快樂ト關聯シ、後者ハ苦痛ト聯合セリ。此等ノ作用ハ又強壓及ヒ救助トナリテ現ハル、ヲ得、此場合ニハ強壓ハ意識内ニ會遭セシ多數心象ノ壓迫及ヒ壅塞ヨリ生シ、救助ハ斷然タル能自覺心象ノ俄ニ入り來リテ、先キノ緊張ヲ解キ、以テ強壓ヲ除去スルヨリ生ズルモノナリ。此ト同類ナルハ

努力及ヒ克服ニシテ、是レ即チ救助ヲ來スコトノ難易ナリ。若シ問題、講義、演説等ニヨリテ、少クトモ其當時ニ、吾力ニ及バザルコトヲ指示セラレ、トキハ努力ノ苦感ヲ生ズベシ、サレドモ、新物ヲ舊物ニ歸シテ、自覺作用之ヲ解釋シ、以テ吾カ心象ノ進行ヲシテ習熟セル徑路ニ入ラシムルトキハ、此ニ平易ノ快感ヲ發ス。總テ吾人ノ習熟セル動作及ヒ技藝ハ平易ノ感情ヲ以テ遂行セラル、モノナリ。右ノ作用ヨリ生ズル

モノハ
力情及ヒ無カニシテ、是レ即チ己カ指定セラレシ問題ヲ容易ニ、或ハ辛
ウシテ解釋スルニ隨ヒ、吾ガ才力ノ多少ニ就キテ生ズル所ノ感情ナリ。
此感情ニアリテハ生活感覺ハ尤モ有要ノ地位ニアリ、是レ勢力ハ本來
タゞ體力ヲ謂フモノニシシ、且ツ其感情ハ一定度ノ身體健全ノ現存ヲ
以テ要件トナセバナリ。ル所ノ快樂ハ、力情ノ興起ニヨリテ説明スベ
シ。此ト關聯セルハ
勤勞、鬱散及ヒ遊戯ノ感情ナリ。勤勞ノ感情ハ同一ノ心象群、即チ勤勞
ノ心象群ヲ絶エズ抑壓スルヨリ生ズル苦感ニシテ、該勤勞カ吾人ノ嫌
惡スルモノナルニ應テ、換言スレバ、勤勞ノ心象群カ吾人ノ主心象ト反
對ニアルニ應テ、其苦痛益大ナリ。勤勞ヲ拋棄スルトキハ、勤勞心象
群ノ勢ヲ殺ギテ、鬱散ノ快感ヲ生ズルモノナリ。遊戯ハ快感ト連結セ
リ、奈何トナレバ、人ハ己カ意ニ適スル間タケ遊戯ヲ行フノミニシテ、更

ニ勤勞ノ強壓ナケレバナリ。
和合及ヒ争鬪、混亂及ヒ秩序、沈思及ヒ究察ハ皆同種ノ普通感情ニシテ、
或意義ニ於テ、高等即チ智力的感情ニ到ルノ過渡ヲナシ、且ツ實ニ吾人
ノ意識ノ論理的性質ニ基ケルモノナリ、是レ秩序ハ混亂ヨリ、和合ハ争
鬪ヨリ一層吾人ニ愉快ナル所以ナリ。
右ニ指名セル感情カ當ニ普通ト名ケラル、所以ハ、其性質カ心象ノ特
殊内容ヲ離レタルモノナルガ故ナリ。
(備考) 勤勞及ヒ鬱散ノ感情ハ特ニ須要ナリ、ソハ吾人ノ全生活ハ兩
情間ノ節律中ニ繫ガレタルモノナレバナリ。勤勞ニ服スルニ當リ、
勤勞者ノ精神内ニハ或主心象群アリテ、其中ニ人々ノ違セントスル
目的及ヒ之ニ要スル手段ノ心象ヲ包有セリ。此勤勞ノ心象群ハ、勞
働ノ際ニハ多少意識ヲ支配シ、由テ以テ、勤勞者ノ意識ニ催迫シ來リ
且ツ他種ノ欲望、興味及ヒ心象圈ヲ有スル他ノ心象上ニ、絶エズ増進

スル所ノ抑壓ヲ加フルモノナリ。若シ勤勞ヲ拋棄スルトキハ之ニ
 隨伴セル勤勞ノ心象群ハ退却シテ他ノ心象コレニ代ルベシ、是レ即
 チ鬱散(休息)ナリ。此鬱散ハ勤勞ノ抑壓ヲ脱スルヨリ成ルモノニシ
 テ、單純ノ消極的即チ解放的弛緩ナリ、若シ此鬱散ニシテ永續センカ、
 其中ニ存スル空虚ハ猶ホ前ノ勤勞ト同ク抑壓ヲ加フル所ノ心象
 行動ノ緩慢ヲ招致スベシ。此理ニ由リテ積極的即チ興奮的鬱散ヲ
 用ヒテ意識内ニ新心象群ヲ來タシ、而カモ其變化アルガタメニ毫モ
 意識ニ抑壓ヲ加フルコトナキ方法ヲ索メザルベカラズ。就中尤モ
 之ニ適スルハ百般ノ光景ヲ變化シテ人意ヲ惹ク所ノ遊戯ナリ。正
 ニ謂ハユル遊戯ニテハ自由快活ノ對話ニヨリ、遊戯ニヨリ又趣味ア
 ル外界ノ事變、自然現象、祭式等ニ與カリ、或ハ恍トシテ技術ノ快樂ヲ
 享ク、以テ吾人ヲシテ困倦ノ單調ヲ脱セシメントス。斯ノ如ク遊興
 ハ自由ニ身ヲ用フルコトナレバ、到底若干ノ牽制ヲ脱スルコト能ハ

ザル勤勞トハ正シク反對ニアルモノナリ。

第六十八節 覺官的感情

劣等種類中ニテ特殊感情ニ屬スルモノハ第一ニ個々ノ覺官感覺ト連
 結セル感情ナリ、之ヲ覺官的感情ト名クルコトヲ得ベシ。

劣等覺官ノ調節アル感覺并ニ體感ハ、蒙蔽ノ覺官的感情トナリテ吾人
 ノ意識内ニ反射スルモノナリ。覺官的感情ハ「感覺ノ調節」ト同一ナリ、
 且ニハ之ヲ主張スルニアラズ。覺官的感情ハ亦同一ノ調節アル感覺ヨリ來リ、
 且ニハ同時ニ該感情ハ感覺ト分離スルコトヲ得ベク、且少或反對ノ調
 節ヲモ有スルコトアルベシ。或ハ創傷ヲ負フモ苦痛ヲ覺エズ、或ハ又
 覺ハ存スレドモ、感情ハ存セザル是レ即チ感食者ノ快樂ハ獨リ味感ニ
 基クノミニアラズシテ、又味覺ノ印象ニ先チ、之ニ伴ヒ、且ツ之ヨリ生ズ
 ル所ノ感情ニ由ルナリ。生活感覺ノ變動ハ吾人ノ情趣上ニ強大ノ影
 響ヲ及ボスモノナリ。
 色及ヒ音調ノ如ク、最モ調節ヲ有セザル高等覺官ノ感覺ハ、其物ニ於テ

又其物ノタメニ覺官的感情ヲ伴生スルモノナリ。サレド個々ノ色及
 ヒ個々ノ音調カ吾人ノ心内ニ生ズル右ノ感情ニ就テ其特殊ノ結果ヲ
 正當ニ評定セシニハ、色及ヒ音調ノ負帶セル所ニシテ而カモ高等ノ感
 情境ニ屬スル各ノ審美的印象、及ヒ其他、再現ニヨリテ生起スル一切ノ
 副從感情ヲ除去セザルベカラザルナリ。
 視覺ノ快感ハ光及ヒ色ノ快樂トナリテ發現ス、之ニ反シ、總テ色印象ノ
 微光、不十分ニシテ錯亂セルコトヲ示セル、朦朧及ヒ不全色ハ皆不快ノ
 感情ヲ伴ヘリ。中和ノ日光、温然タル月光、天上ノ和光、丘上ノ祝火(よは
 んノ祭火)、光躰ノ輝々タル、烟花ノ燦爛タルハ光ノ快感ヲ惹起シ、闇夜及
 ヒ牢獄ノ暗黒ナルハ精神ヲシテ悲惨ヲラジムルモノナリ。
 吾人ハ一般ノ光、快ト個々ノ十全ナル色カ吾人ノ心上ニ生スル特殊ノ
 印象トテ區別セザルベカラズ、此事ハ「ゲ」て氏カ其色説ニ於テ正當ニ
 考定シタル所ナリ。此印象ハ物理上ノ視點ヨリスレバ、其中ニ行ハル

ル純一ノ光ノ波長及ヒ強度ニ基キ、生理上ニ關シテハ、視神經ニ於ケル
 個々、暫時ノ状態、及ヒ此状態ト分量上及ヒ形質上ノ光刺激トノ關係ニ
 依リ、心理上ニ關シテハ、經驗ニ隨テ個々ノ色ト聯合シタル、無數蒙蔽ノ
 小心象ニ基ケリ。人々カ黃色ニ與ヘタル「明瞭、晴朗、快活、溫柔等ノ性質」
 ハ其媒介タル波長及ヒ強キ光力ト明カニ聯結セルモノナリ。人々カ
 赤色ニ付セシ特殊ノ勢力及ヒ興奮性(又吐綬鷄ヲモ刺激スルモノナリ)
 ハ、若シ赤色ハ火光及ヒ血液ノ色ナリトノ事實ヲ除クトキハ、正ニ此色
 ノ有スル最大ノ波長ト對合セリ。「す」べくとらむ」ノ他端ニ存スル青色
 ハ又反對ノ性質ヲ示スモノナリ。然レドモ特殊ノ色作用ニ就テ想像
 カテ用フル境域ハ廣大ニシテ、隨ヒテ是等ハ詩賦及ヒ音樂ニ於テ偏ニ
 探究スル所ナリ。其他、慣習、追憶、人及ヒ鈍的、心調ニ對合スル時、
 裝ニ於テ、十全ノ色ヨリ不全色、就中、褐色、黒色、及ヒ雜色ニ向フモノナリ。
 之ニ反シテ、生來ノ盲目ニシテ、手術ニ據リ、始メテ明クナル人ハ、黒色ヲ
 嫌惡セリ、是レ黒色ハ、手術ヲ施シ、此種ノ患者ハ、薔薇色(赤色)ヲ認メテ最大
 ン、げ、う、え、る、兵、ノ、手、術、ヲ、施、シ、此、種、ノ、患、者、ハ、薔、薇、色、(、赤、色、)ヲ、認、メ、テ、最、大

薇ノ娛樂ヲ得タリ。即チ患者カ始メテ其綑帶ヲ去リシ時、怡モ庭園ノ蒼
 ナリシヲ感シ云フ。此等ノ事項アル就テハ、（此等ノ事項アル就テハ、怡モ庭園ノ蒼
 氏ノ著、感情ノ生活）音調モ亦色ト等シク吾人ノ心情ヲ感動スルモノナリ。音聲及ヒ音響
 ノ快樂ハ光及ヒ色ノ快樂ニ對比スベシ。沈靜ハ心象ノ行動ヲ緩慢ナ
 ラシムルガ故ニ、暗黒ト同シク沈鬱ナラシム、又十分純粹ニシテ長時ニ
 亘レル音調ハ十全ノ色ト等シク吾人ヲ感動スルモノナリ。音響ノ特
 殊作用ニ關シテハ、高音ハ輝色ニ、又低音ハ暗色ニ對比スベキモノナル
 ガ如シ。音聲ノ心情ニ及ボス作用カ實ニ一種特別ニシテ、到底之ヲ名
 狀スベカラザルコトハ、人聲カ他ノ審美上及ヒ精神上ノ關係ヲ離レ、純
 然タル音調抑揚ニ由リテ、一定ノ事情ノ下ニ吾人ニ及ボス所ノ印象ヲ
 以テ之ヲ證スベシ。

(備考一) 色ノ主觀ニ及ボス作用ニ就キテハ、ハグーて氏ノ色説ハ未ダ
 決シテ陳腐ナリト謂フベカラズ。此等ノ作用ヲ研究セシニハ吾人

ハグーて氏ニ倣ヒテ、全ク一ノ色ヲ以テ我眼ヲ圍繞セシメ、我身ヲ單
 一ノ色ヲ有スル室内ニ置クカ、或ハ一ノ色鏡ニヨリテ觀ザルベカラ
 ズ。此ノ如クナストキハ、吾人ハ其色ト全ク同躰トナリ、爲ニ眼ト精
 神トハ相結合スルニ至ルベシ。斯クシテ成レルハグーて氏ノ色階ニ
 ハ加及ヒ減ノ兩側アリ。積極ノ色タル黄色、赤黄色(橙色)及ヒ黃赤色
 (赤色)ハ吾人ヲ活動、快裕、勵精ニ向ハシメ、消極ノ色即チ青色、赤青色(紫
 色)及ヒ青赤色(濃紅、紫赫色)ハ吾人ヲシテ靜謐、柔和、思慕ノ狀ニ向ハシ
 ムルモノナリ。其中間ニ位スルハ即チ中性ノ綠色ナリ。
 (備考二) 教授ナラウキハ、或樂器ノ響色ヲ以テ光ノ色ト相
 並行セシメ、ソトヲ索メタリ。氏ノ説ニ從ヘバ、收笛ノ朗音ハ黄色
 ニ、遠處ヨリ遙ニ響クル笛聲ハ空青ニ、更ニ銳クシテ耳ニ徹スル小笛
 ノ調ハ橙色ニ、尤モヨク思慕ノ情ヲ表白スルニ適セル尺八ハ紫色ニ、
 鼓舞ノ力アル喇叭ハ鮮紅色ニ、嚴然タル號筒ノ音ハ紫赫色ニ、沈々々

ル獵笛ノ音ハ中性ノ綠色ニ當ルト云フ。なゝらうすき一氏ノ著「感情ノ生活」百四十七頁ヲ參看スベシ。

第六十九節 其他ノ劣等感情

劣等ノ部ニ屬スル第二類特殊感情ハ感覺及ヒ再現ハ交渉作用ヨリ起ルモノナリ。

此情ノ最簡ナル例ハ一物躰ヲ認識スル際ニ生ズル快感是ナリ。覺官ノ知覺ハ此際ニ再現シタル該物躰ノ同一心象ニヨリテ助勢セラル、モノニシテ此等ノ作爲ハ認識作用ノ快樂トナリテ現ハル、ナリ。例ヘバ見慣レザル衆人中ニテ舊識ノ面ヲ認ムルカ、或ハ他國ニテ踏迷ヘル時ニ偶、熟知セシ通路ニ出ツル場合ニハ此感情ヲ發スルナリ。此感動物ニ於テ其主人ヲ認メテ歡喜スルガ若シ。右ト同類ナレハ期待及ヒ期待セル事件ノ現出セシ時ノ感情ナリ。期待トハ現在ニ先チ進メル想像力ニヨリテ、或未來ノ結果ヲ豫期スルコ

第

二

編

トテ謂フ。此未來ノ結果ニ關スル再現心象ハ多數ノ幫助ニ助勢セラ
ルレドモ、又該結果ハ未ダ現出セザルガ故ニ、右ノ幫助ト相反セル現實
ノ知覺ヨリ制遏セラル、ナリ。此等ノ幫助ハ制遏ト相對抗スルガ故
ニ、期待ハ苦感ト聯結セリ。期待セル事件ノ心象ハ絶エズ幫助ニヨリ
テ興起セラレドモ、是レ唯、反對ヨリ再ヒ抑壓セラル、ニ了ルノミ。
サレバ期待スル人ハ猶ホ、絶エズ轉進スレドモ又復ヒ退轉スル志トス
テ、石ニ於ケルガ若シ。劇場ノ幕ハ開ケントスレドモ尙ホ未ダシナ
リ、列車ハ停車場ニ達スベキナレドモ尙ホ未ダ其到着ヲ聞カズ、日蝕ハ
始マルベクシテ、尙ホ太陽面ハ未ダ暗黒ニ變セザルナリ。遂ニ期待セ
ル事件ノ現出スルヤ、此ニ現實ト期待トハ相一致シ、而シテ此二者ノ一
致ヨリ快感ヲ發生スルモノナリ。
大ニ右ト類スルハ探[○]究[○]及ヒ發[○]見[○]ノ感情コレナリ、但、此場合ニハ物躰ヲ
所動的ニ待[○]ズ[○]シテ、有[○]ラ[○]ユ[○]ル試驗及ヒ動作ヲ悉シテ能動的ニ之ヲ求

ムル別アリ、故ニ往々期待ニ随伴スル困倦ノ苦感ヲ免ル、コトヲ得ベシ。
 期望セル結果カ或動作ナル場合ニハ成功及ヒ失敗ノ情ヲ來スモノナリ。此場合ニハ其動作ハ或心象系列ニヨリテ媒介セラル、モノニシテ、其諸心象ハ右動作ノ諸段階ヲ表シ、其終節ハ即チ期望セル結果ノ心象ナリ。今若シ現ニ進行シツ、アル動作ノ諸段階、就中最終ノ結果カ心象系列ノ諸節ト相一致スルトキハ成功ノ快樂ヲ生ズ、此情ハ熟練ノ労働者并ニ達藝ノ俳優ノ動作ニ於テ見ル所ナリ。之ニ反シテ、心象及ヒ結果ノ相離レテ努力スル場合ニハ失敗ノ落膽的感情ヲ生スベキナリ。是レ熟練ナル遊戯球突、射術、獵業ノ興味アリ、又労働ハ其如何ナルモノナルニ關セズ、常ニ増殖スル産物ト共ニ、道德上ノ報酬ヲ活潑ノ勞作者ニ與フル所以ナリトス。
 右ニ説明シタル場合ハ但、吾人ノ極メテ錯雜ナル心象生活ノ行程ニ於

テ、感覺ト再現トノ交渉作用ヨリ生起スベキ無數ノ特殊感情ノ一例タルニ過キザルナリ。此等ノ感情ヲ悉ク網羅彙類センコトハ容易ニ遂グルコト能ハザルベシ。奈何トナレバ、同起諸心象ノ結合ハ孰レモ感情ト相聯結スルコトヲ得レバナリ。

第七十節 高等感情

高等感情ノ特性ハ、感動者ノ主觀的情狀ニ依ルコト僅少ニシテ、寧ロ感受物ノ客觀的性質ニ基クコト多キニアリ。是カ故ニ此場合ニハ其關スル物躰ヲ指示スルコトヲ得ベク、又其特殊内容ヲモ辨知スルコトヲ得ベシ。斯ノ如キ物躰トハ就中眞善及ヒ美并ニ又自己及ヒ他人ノ「我」コレナリ。

此ノ如キ客觀的感情ノ成ル所以ハ、茲ニ複合連結セル物躰アリテ、其各部ハ互ニ調和或ハ不調和ノ關係ヲ有スルモノナルヨリ、吾人ハ之ニ就テ心象ノ薦進又ハ制遏ヲ經由センニハ、唯、吾身ヲシテ公平ニ之ヲ認識

セシムルヲ以テ足レリトスルノ事實アルニ因レリ。サレド此際、又吾人ノ意識ハ此等ノ感情ノ活動場裡タルハ固ヨリナリ、而カモ薦進心象及ヒ制遏心象ハ共ニ偶然ニ來ルニアラズ、物躰ニ於テ既存セル調和或ハ不調和ノ關係ニ從ヒテ與ヘラル、ガ故ニ、毫モ主觀上ノ協助ヲ要スルコトナキナリ。

吾人ハ此ノ如キ物躰ヲ眞及ヒ其反對タル虛偽、疑惑ニ於テ見ルナリ、是レ即チ智力上ノ快樂或ハ苦痛ノ物躰タルモノナリ。眞トハ吾人ノ一切智識カ互ニ撞着セズ、以テ部分ト全躰ト、又主位ト賓位ト相調和スルコトヲ謂フ。此調和ハ獨リ悟性ノ知ル所タルノミナラズ、又眞ノ快樂トナリテ感ゼラル、モノナリ。吾人ハ益、眞ノ圈内ニ進入スルニ從ヒ愈、ユノ感情ハ研究ノ快樂トナリテ現ハルベシ。之ニ反シテ、吾人カ我概念ト或撞着ニ陥リ之ヲ脱スベキ途ヲ知ラザルカ、或ハ目前ニ難解ノ問題ヲ視ルカ、故ハ吾人ノ第一ニ確守セル自信ニシテ疑惑或ハ拒否セ

ラル、トキハ、必ス不快ノ智情ヲ感ズベシ。

眞ノ相互間ニ於ケル調和ハ智力上ノ快情ノ源泉ナリ、サレドモ此調和ノ知覺及ヒ享樂ハ、彼ノ多クハ抽象的ナル物躰ノ範圍内ニ於テ究察ヲ取ルノ勞ヲ各マザル人々ニ容サル、ノミナリ。然ルニ此ニ抽象ニアラズシテ、覺官的ナル一類ノ物躰アリ、此物躰各部ノ調和ハ、若シ不偏ノ觀察者アリテ別ニ勞苦ヲ費サズ、只、此調和ヲ其覺官ニ露スヤウ之ヲ認識スルトキハ、善ク快感ヲ感ゼシムルモノナリ。此ノ如キ物躰ヲ美ト稱シ、而シテ其生ズル感情ハ美情即チ審美的感情ナリ。

美ヲ眞ト區別スル點ハ其覺官的ナル所、及ヒ各不偏ノ觀察者ハ悉ク其複合中ニ現表セル調和ヲ認識スルコトヲ得ベキ、輕易ノ點ニアリ。直角三角形ノ三邊間ニ存スル相關ハ、彼ノびたごらす氏ノ學說ノ表示セシ、如ク、實ニ驚クベキ調和ノ關係ヲ存セリト雖モ、該關係ハ美ニアラズ、其故ハ直角三角形ヲ一見スルモ之ヲ覺知スルコト能ハズ、獨リ煩雜ノ

推考ニヨリ初メテ智識ニ達セシムベキモノナレバナリ。之ニ反シテ「あぐた」ト「う」ト原音トノ調和及ビ完備セル人體諸部ノ調和ノ如キハ皆美ナリ、是レ吾人ノ容易ニ之ヲ聽キ、之ヲ視ルコトヲ得ル者ナレバナリ。醜ハ美ノ反對ニ立ツモノナリ。醜ト稱セラル、物躰ハ其各部ノ複合中ニ調和ヲ見ズシテ、却テ反對ノ各部ヲ示シ、且ツ其不調和ノ容易ニ覺官ニ現ハル、ヤウニ存スルモノナリ。物躰ハ美ナラズトモ之カ爲ニ醜ナリト云フベカラズ、是レ物躰ハ審美上不偏中、性ナルコトアレバナリ。一塊ノ石ハ美ニモアラズ、醜ニモアラズ、サレドモ彫刻者ニ造形セラル、トキハ、此ニ美或ハ醜トナルベシ。一手ヲ毀損セル肖像ノ醜ナルコトハ如何ナル兒童モ容易ニ知覺スベシ、是レ各部ノ調和ヲ破レルモノナレハナリ。醜ノ美ニ對スル關係ハ、宛モ偽ノ眞ニ於ケルガコトシ。

第七十一節 智力的感情

最モ單純ナル智力的感情ハ斷定(第四十九節)ノ作用ニ隨伴スルモノニシテ、反省ノ段階ハ苦感ヲ以テ、決定ノ段階ハ快感ヲ以テ特標トナスナリ。

反省ハ反對ニ立チテ相排拒セル實位諸心象カ、一定ニシテ而カモ不明晰ナル主位心象ノ周邊ニ動搖スルヨリ成立セリ。此均等ナル動搖ハ單ニ、多クノ實位心象ニ幫助(即チ理由)ノ平分セラレ、從ヒテ諸心象ハ主位ト連結センタメ争鬭ノ狀ニアル間連續スベシ。諸心象ハ孰レモ主位ノ最終限定ニ必須ナル彰著ノ度ニ達セズシテ、徒ニ緊張及ヒ壓迫ノ狀ニアルトキハ、過大ノ制遏ノ爲メ、不定ノ感情トナリテ現ハル、モノナリ。モシ反省ノ結果ガ緊要ナル學說上及ヒ實際上ノ利害ニ關係スルモノナルヨリ、隨ヒテ又心象ノ全理由及ヒ全範圍ヲ舉ゲテ反省ノ鬭争中ニ引込マレシ場合ニハ、右不定ノ感情ハ重大ノ激動ヲ呈スルニ至ルコトアリ。

是レ特ニ、久シク永續セル反省即チ疑惑ノ場合ヲ以テ然リトス。學說上ノ疑惑ハ「グーテ氏ノ著」ふらうすとニ於テ、又實際上ノ疑惑ハ「レウ」すび一、あノ著ハ「むれ」トニ於テ、詩學的ニ擬人セラレシテ見ルナリ。上ノ如ク實位諸心象ノ間ニ平分セラレシテ幫助ヲシテ、或一心象ヲ助クルノ狀ニ變ゼシムルトキハ、決定ヲ生ズルナリ。此ノ如クシテ幫助セラレシ實位心象ノ薦進ハ、決定ノ快樂トナリテ現ハル、モノナリ。是ニ於テカ疑惑ハ壓伏セラレテ眞理存ス。智力上ノ全感情ハ吾自信ノ徐々タル成育及ヒ吾人ノ科學的思想圈ノ進歩ト聯結セリ。此感情ハ新入ノ概念及ヒ斷定ト、我既得ノ有ラユル智識及ヒ自信トノ調和或ハ背反ニ基ケリ。カク新物ヲ舊物中ニ同化スルコトハ自覺作用ニ由リテ實行セラル、ナリ。此自覺作用ノ益、容易ニ行ハレ、又新物カ舊物ノ結構ニ愈、ヨク適應スルニ隨ヒ、此作用ト聯結セル快感ハ愈、敏活ナリ。之ニ反シテ、個々ノ拒斥セラレシ概念及ヒ

斷定ト吾人ノ既得セル全躰ノ自信ト背反セルコトノ大ナルニ隨ヒテ、愈、強烈ノ苦感ヲ生ズベキナリ。背反及ヒ之ニ伴ヘル苦感ノ最高度ニ達スルハ、左ノ場合ニアリ、即チ是レマテ吾人ノ學說並ニ實行上ニ於ケル反省ノ主義(原則)トナリ、以テ心象行動ノ能自覺者タリシ所ノ、一層老舊、確乎ナル心象群カ新入ノ幼稚ナル心象群ニヨリテ自覺セラレシ時、即チ自覺作用ハ進行ヲ反轉セシ、場合是ナリ。斯カル事ノ生起スルハ、或人ガ其信仰ヲ廢テ、其主義ヲ變ズルカ、或ハ生活問題ニ就キテ全然殊別ノ起點ニ立チシ時ニ在リ。此ノ如キ心象ノ衝突ハ必ズ心情ノ大攪亂ヲ伴生セズンバアラザルナリ。(第四十五節)。

眞ノ智力的感情ハ眞ヲ彰著ニ識覺シ、又之ニ向ヒテ漸進スルコトニ伴フモノナレバ、之ヲ蒙蔽ナル眞ノ感應、即チ論理上ノ關係ヲ識覺セズシテ正理ニ到達スルコトヲ區別セザルベカラス。(即チ眞理ノ本能性ナリ)。

(備考)

反省及ヒ決定ノ進行ト聯結セル感情ニ智力的ノ名稱ヲ付スルニ適スルモノハ、反省カ附屬セル私利ノ念ヲ蟬脱シテ、タゞ眞ニ向ヘル努力ヨリ感情ヲ伴生セシ場合ニ在リ。眞ニ對スル純粹無垢ノ愛タル此感情ハ、そくらてす氏ノ志操ニ於テ其最高點ニ達シタリ。スベテ哲學上ノ思辨ハ商業上ノ思考トハ全ク相反對セルモノニシテ、後者ト聯結セル感情ハ之ヲ智力的ノ中ニ算入スベカラズ、奈何トナレバ之ハ單ニ利益ノ願望ヲ満足スルヨリ來ルモノニシテ、眞ヲ得ルガ爲メニアラズ、却テ物質的ノ資財ヲ獲ルニアレバナリ。

第七十二節 審美的感情

審美的感情ハ物躰ニ就キ一切ノ條件ヲ離レタル(即チ絶對ナル)評價ハ感ニシテ、各ノ異種劣等ハ利害ヲ脱シ、覺官ハ直接認識ヨリ發起スルモノナリ、而シテ物躰ノ美ナルトキハ快樂トナリ、醜ナルトキハ不快トナリテ感スルナリ。

既ニ其評價ハ無條件ナルヲ以テ、之ヲ有利的評價、即チ物躰ヲ撰擇スルニ物躰其物ノ爲ニセズシテ、他ノ意向ヨリ條件的ニ撰擇スルモノト區別スベシ、又一切ノ劣等ナル利害ヲ離レタルモノナレバ、之ヲ願望ノ評價、即チ一時ノ情趣ニ基キテ頗ル不定ノ價值ヲ物躰ニ與フルモノト區別スベシ、最後ニ各公平ノ觀察者ニハ直接覺官的ノ認識ヲ實行シ易キモノナルガ故ニ、美ノ評價ハ之ヲ眞ノ評價ノ如ク、反省ノ動搖并ニ抽象的ニシテ多少苦痛ナル沈思ヲ經テ、漸ク智力上ノ快樂ニ達セラレヘキモノト區別スベシ。

審美的感情ヲ適意及ヒ不適意ノ情ト區別スベキ點ハ、後者ハ肉慾上ノ感情ニシテ、個々ノ覺官的覺感ノ内容ニ附着シ之ヨリ分離スベカラザルモノナレドモ、之ニ反シテ審美的感情ハ一層高等ニシテ、個躰ノ内容ニ屬セズ、總躰ノ形式ニ繫屬シ、而カモ之ヲ其物質的内容ヨリ分離シテ概念内ニテ分解スルコト能ハザルカ若ク、密ニ繫聯セルモノニアラザ

ルコト是ナリ。砂糖ノ快味ハ是レ只、ソノ感覺ナルノミ、此場合ニハ新
 元素ハ一モ加ハルコトナク、全ク其内容ト同一ナリトス。之ニ反シテ
 樂音ノ美ハ個々ノ音調ト異ナリ、此等音調ノ總合ニ於テ始メテ之ヲ説
 クベク、又建築ノ美ハ衆多ノ石材ニアラズシテ、此等ヲ一定ノ形態ニ排
 整シタル所ニアルナリ。是カ故ニ吾人ハ適意ニ關シテハ其愉快ナル
 所以ノ理由ヲ論理的ニ示スコト能ハズ、是レ其個々ノ事物ニ係ルノミ
 ニシテ如何ナル論理上ノ分解ヲモ施スニ由ナクレバナリ、然ルニ美ニ
 關シテハ沈思反省ニ由リテ、美ナル物躰ノ關係中ニ其理由ヲ發見スル
 コトヲ得ベシ。中へるばる此氏ハ明言スラク、適意及ヒ不適意ナル諸情
 離セラレシモノナリ、而シテ此モ一部ノ不適意ナル諸情
 ナリト。諸心象ト同様に學關係ヲ存スルモノ、而カモ美ナル物躰ノ場合ニ於ケルニ一
 右ハ審美的批評ノ際ニ於テ實ニ然ルヲ見ルナリ。即チ此場合ニハ物
 躰ノ美ナルカ或ハ醜ナルカヲ辨別スルニ止マラズ、更ニ奈何ナル度マ

第

二

編

テ其美或ハ醜ナリヤヲ分タザルベカラズ。此事ハ物躰ガ公平ノ觀察
 者ニ於テ惹起シタル一躰ノ美情ヲ其元素的感情ニ分解シ、以テ該感情
 ナ生起セシ所以ノ關係ヲ指示スルニヨリテ成ルベシ。
 然リト雖モ、美術鑑定家及ヒ批評家カ或美術品ヲ鑑識スルニ當リテ行
 フカ如キ分解ハ、必ズシモ美感ヲ享クル所以ノ要件ニハアラザルナリ。
 審美上ノ快感ハ寧ロ美躰其物ヨリ吾人ノ意識内ニ來レル満足及ヒ調
 和ノ結果トシテ生スベキモノニシテ、或ハ之ヲ生ズル根本ノ心象ガ自
 覺作用ニ由リテ、或美術品ノ相當ナル評價ニ缺クヘカラザル彰著ノ度
 ニ達セザリシ場合ニテモ亦然リ。吾人ハ、ごち、く風寺院ノ建築設計ヲ
 會得セズトモ、能ク右建築ノ尖狀穹形ノ妙工ヲ視テ、心中ニ満足ヲ感ス
 ベク、又毫モ音調和合ノ秘密ヲ窺ハザルモ、能ク典雅風ノ樂曲ヲ聽キテ
 万人ノ盡ク趣ヲ一ニスベキ満足ノ感ヲ生シ、以テ彼ノ批評家カ綿密ニ
 細項ヲ查驗セシ後始メテ收メ得タルト同一ノ結果ニ到達スルコトヲ

得ルナリ。

(備考一) 單純ナル者ハ美ニアラズ又醜ニモアラズ。例ヘバ單一ノ音聲、數學上ノ點、單一ノ色ノ如キハ美醜ノ孰レニモアラザル、中性ノ物體ナリ。然ルニ今二ノ音聲ノ同起又ハ繼起スルヲ聞クトキハ、直ニ之カ認識ニ加ヘテ、審美的ノ性アル一ノ感情ヲ生スベシ。サレドモ同一ノ音聲ヲ間斷ナク、又ハ同等ノ長間斷ヲ以テ反覆スルノミナルトキハ、快樂ヨリハ却リテ厭倦ヲ生ズルノミ。故ニ一躰ノ快感ノ各部ハ全然同一ナラズシテ、寧ロ差別ナラノコトヲ要シ、且ツ此差別アルニモ拘ラズ、各部ハ相互ニ契合シテ統一ヲ成サ、ルベカラズ。此ノ如ク、分殊中ニ統一アリ、多樣中ニ契合アリ、相反中ニ和合アルコトヲ稱シテ調和トハ云フナリ。蓋シ此言辭ハ音樂上ヨリ故ニ調和トハ衝突ノアルベカリシ所ニ和合アルヲ謂フ。美ナル物體ノ各部分ニ於テ相和合セル衝突ノ大ナルニ隨ヒ、又美術品ニ於テ相調和セル

各部分カ、成ルベク本來相分離セントスルモノナルニ隨ヒテ、此等ノ調和ハ之ヲ認識スル心神ニ其美ヲ感ゼシムルコト愈多カルベシ。おくた¹、²ハ殆ト原音ト同一ニシテ、單ニ之ヲ反覆スルモノ、如ク聞ユルヨリ、二音ヲ同時ニ響カシムルモ以テ審美ノ快感ヲ喚起スニ足ラズ。サレドモ之ニ反シテ、元來相反セル音調ヲ和合セシムルカ、或ハ右ノ如キ殊別ノ和音ヲ更ニ大ナル一躰ノ音聲中ニ融和セシムルトキハ、斯ノ如キ相反ノ調和ハ特ニ鮮明ニ認知セラル、ナリ。是ニ由リテ樂曲ニ於テ不和ノ韻ヲ融合セシメ、又悲劇ト稱スル美術ニ於テ衝突ヲ調和セシムル所以ヲ解説スベシ。單純ナルモノハ審美上中性ナルガ故ニ、審美上ニ美又ハ醜トシテ或ハ撰擇セラレ或ハ拒斥セラルベキ物體ハ毎ニ關係ナラザルベカラズ、即チ音調ニアリテハ其調、不調ヲ定ムル所ノ振動數ノ關係ナリ。此關係ノ單純、おくた¹ニ於テハ、²ナリナルニ應シテ其調和ヲ認知シ易ク、其協和ハ

益、完全ナリ。又形態ニ關シテハ美ノ印象ヲ生スルモノハ其尺度ナリ。例ヘバ尋常ニ發達セル人體ヲ觀テ快樂ヲ感セシムルハ其各部即チ身長、手足ノ長サ、頭ノ大サ、面ノ角等ガ相互ニ秩然調和セル尺度上ノ關係ヲ有スル時ニアルノミ。固ヨリ吾人ハ其一定ノ尺度(あるぶれひと)と、いれる氏ハ其著書ニ於テ特ニ人體ノ比例ヲ攷究シタリ)ヲ明カニ識覺スルモノニアラズト雖モ、而カモ吾人ハ感情ニ於テ明瞭ニ其結果ヲ覺知スルナリ。建築術ニ於テモ亦一定ノ快適ナル錯比例ヲ用フルコトハ棟柱ノ排列、圓形及ヒ尖狀ノ穹窿ニ於テ見ル所ノ如シ。其他詩賦ノ韻律、音樂ノ節律(即チ樂音ノ起レル時間ヲ、一定ノ關係ニ從ヒテ區分セルモノ)ノ如キモ亦數量上ノ尺度ニ依ルモノナリ。

(備考二) 美ハ覺官的ニシテ外面ニ存シ、以テ容易ニ認識シ得ベキモノナルヲ以テ、特ニ人間ノ心情ヲ刺戟シ、且ツ覺官ニ訴ヘテ之ヲ高尚

ノ事物ニ就カシムルニ適セリ。自然ハ其造構上ニ夥多ノ美妙ヲ發現セリ。自然ノ山水景、星宿ノ燦然タル天上界、整然端正ナル結晶形及ヒ有機的造化ノ如キ、盡ク美ナラザルハナシ。然リト雖モ、自然ハ美ハ其造構及ヒ作用ニ於ケル整合ノ屢、茫漠錯雜ニ、又廣大ノ時順及ヒ空間上ニ互レルコトアリテ、爲メニ覺官的直覺ノ容易ニ近接シ得ベカラザルヨリ、往々ニシテ人類ノ認識ニ及ハザルコトアリ。是レ美術カ常ニ美ノ製出ヲ以テ目的トナシ、創造作用ニヨリテ人生ヲ純美ナラシメントカメ、心情ヲシテ高ク粗笨ノ物欲以外ニ興起セシメ以テ高等ノ理想境ヲ感得セシメントスル所以ナリ。サレバ美術ハ物質及ヒ物欲ハ人生ノ目的タルモノニアラズ、但、高等ニシテ覺官以上ノ目的ニ到ルノ方便タルコトヲ示スモノトス。彼ノ野鄙ニシテ全ク粗笨ナル物欲中ニ沒了セル心情ト雖モ、尙ホ音調ノ靈能ニ感シ美術ノ妙技ニ動かサル、モノナリ。(いびかすノくらゐにす—さう

第七十三節 審美的感情ノ元素及ヒ全躰、美ノ形躰及ヒ内容

審美的感情ノ元素トハ快樂及ヒ不快ナル原關係ノ認識ヨリ生スルモノニシテ之ニ反シ全躰ハ美感ハ右ノ如キ多クノ原關係カ同一ノ空間或ハ時順中ニアル物躰ニ於テ調和的ニ錯綜セルヨリ生ズル者ナリ。平行セル二線圓形或ハ尖狀ノ穹窿二音調ノ合音一物躰ノ均齊詩賦上ノ押韻及ヒ句韻等ハ皆愉快ナル原關係ニシテ元素の美情ヲ興奮セシム。然ルニ一樹ノ形躰或ハ家屋ノ前面ニ於テ均齊及ヒ真圓ノ關係ヲ見一聯ノ詩ニ於テハ多クノ句韻及ヒ押韻相依リテ一般ノ結果ヲ呈スルヲ見ル此等ハ皆全躰ノ美情ヲ喚起スルモノナリ。斯ノ如ク總躰ノ審美的原關係ヲ結合シテ一躰トナシ公平ナル各觀察者ノ心内ニ調和ノ快感ヲ惹起サシメシメニハ此等ノ原關係ヲ亂雜ニ放

第

二

編

置セルモノニテハ能ハズ必ズヤソガ或一定ノ經營或ハ觀念ニ基キテ之ヨリ數層高等ノ統一中ニ入ルトキニ初メテ能クスベキナリ。右ノ觀念ハ自然美ニ於テハ物躰ノ布置ニ於ケル創造的思想トナリテ發表セリ。植物及ヒ動物ノ機體の形狀ハ美ナリ人間ノ形態ニ至リテハ最モ美ナリ。スベテ空想及ヒ技術ハ其創造ニ於テ自然美ニ勝ラントシ又自然美ヨリモ更ニ美ナル物ヲ製セントスレドモ遂ニ及ハズ。如何ニモ技術ハ彼此ニ散在セル自然美ノ諸片ヲ結合シテ特別ノ一躰ト成スコトヲ得ヘシト雖モ而カモ決シテ自然ノ模型ニ卓出スルコト能ハザルナリ。造形術ニ於テ構想空想的ノ最高製作タルモノハ彼ノありむびあノ神躰ナリ而カモ彼等ハ皆人間ノ形態ヲ呈セリサレバ自然ニ相應セザル裝飾ヲ附加シテ人躰ノ嬌艶ヲ高ウセント試ムルモ畢竟徒勞ニ屬シ却テ人間ニダモ劣レル形像ヲ生ゼンノミ。技術者ノ手腕及ヒ精神ヲ自由ニ操作シテ表象セラル術美ニ於テハ

其ノ全躰ノ基礎タル觀念ハ即チ技術者ノ概念力ノ任ナリ、此觀念ハ宛モぶろめしうすノ閃光ノ如ク、美術品ノ（直接ノ妙美ヲ有スル）觀念的、内容トナリテ、審美的原關係ノ結構即チ美術品ノ形躰ヨリ射出スルモノナリ。此觀念ハ技術的製作ニ際シ能自覺的心象トナリテ技術家ノ心狀ヲ支配スルモノニシテ、技術全躰ノ事柄ハ盡ク之ニ次屬セザルベカラズ。斯ノ如ク觀念ハ一切ノ關係ニ對スル統一ノ中心點タルモノナレバ、之ヲ美術品ノ審美的内容ナリト稱スルハ當ヲ得タリト謂フベシ。自然物或ハ技術品ノ審美的内容トナリテ、美躰ノ基礎ヲ爲セル所ノ觀念ヲ默契スルトキハ、全躰ノ美感ニ由リテ、吾人ノ主觀的認識ニ對シ調和セル原關係ノ躰系トナリテ表ハルハ、モノナリ。個々ノ審美的關係ヲ結合スルコトノ多數ナルニ隨ヒ、又斯ノ如キ諸關係チ一ノ完躰ニ總合スルコトノ複雜ナルニ應シテ、該物躰カ吾人ニ生スベキ全躰ノ美感ハ益、高カルベシ。

（備考一）へるばると氏カ、審美的原關係ヲ指明シテ美ノ秘密ヲ顯示セシハ、實ニ氏ノ不朽ナル効績ナリ。斯クテ美ノ元素的關係ヲ明ニセシヨリ、美ノ神髓ハ物躰ノ形躰ニ存スルコト、ナレリ。然ルニ此形躰ハ獨リ之ノミニテ能ク審美的快感ノ基礎タルベキカ、將タ右ノ快感ハ寧ロ形躰ノ包有セル内容中ニ索ムベキモノニアラザルカノ問題ハ、輒近へるばると派トしるりんぐ、へーげる派トノ學者間ニ於テ一大論争ヲ生ズルコト、ナレリ。サレドモ此論争ハ、既ニ述ベタル本文ノ説明ニヨリテ容易ニ解釋スルコトヲ得ベシ。抑、美躰ハ實ニ其形躰ニ由リテ感動ヲ與フルモノナリト雖モ、而カモ形躰其物ハ内容即チ觀念ニ由リテ限定セラルハ、モノナリ。若シ又觀念其物ヲ取リテ考フルトキハ、是レ唯、論理的性質ヲ有スルノミニシテ、毫モ審美的特性ナシ（例ヘバ家屋ノ設計、詩賦ノ内容ノ如シ）而シテ此觀念ガ審美的特性ヲ得ルハ獨リ審美的形躰ヲ成セル時ニアルノミ。音樂

ノ美ニテモ殊ニ高等ノ樂(琴曲、合奏、音畫、舞曲ノ如キ)ニ至リテハ全ク内容ヲ離ル、コト能ハズト雖モ、而カモ此内容ヲ明晰ナル一定ノ觀念中ニ求ムベカラザルハ、猶ホ之ヲ樂手ノ蒙蔽ナル心狀中ニ索ムベカラザルニ均シキコトヲ許サザルベカラズ、即チ此心狀ハ論理上ヨリ明知セラルベキニアラズ、寧ロ心情ヲ感動スベキモノトシテ、一軀ノ音調ニ由リテ聽者ニ訴フルモノナリ。是ヲ以テへるばると學派ニテハ形軀ト伴ヘル内容ノ美ヲ限定スル要素タルコトヲ許サントスルモノ、如シ。(此問題ニ就テナラウスキ、氏ノ感情ノ生活百八十一頁ノ有名ナル説明ヲ參看スベシ。)

(備考二) 形軀ト内容トノ關係、并ニ兩者カ一般ノ審美的結果ヲ生ズル種々ノ技術及ヒ美術品ニ於テ果スベキ職分ハ、大ニ差別アリ。即チ觀念的内容ハ言語上ノ美術ニテハ造形術ヨリ多ク、造形術ニテハ音樂ヨリ大ナリ、但シ音樂ニテモ所謂未來ノ樂手ナルモノニ就テ言

フトキハ、内容ノ價值ハ一層大ナルベシ、此事ニ關シテハ「つゝ、はんすり」ノ「樂美論」トウ、あむぶろす、音樂及ヒ詩ノ限界ヲ論ズトノ論争ヲ參照スベシ、又歴史畫ハ山水景ヨリ内容多ク、戯曲ハ牧歌ヨリ、しるれるハ、げいてヨリ内容大ナリ。

第七十四節 審美的趣味

一物軀ニ美ナリ或ハ醜ナリトノ性ヲ付スル所ノ判斷ヲ稱シテ審美的斷定ト云フ。此ノ如キ斷定ノ主位ハ美ナル物軀之ハ美ノ性トシテ複合軀ナラザルカベラスノ心象ニシテ、其實位ハ審美的感情ナリ。此感情ノ元素的タルト或ハ全軀ナルトニ隨ヒ、斷定モ元素的タリ、或ハ全軀タルベシ。審美的斷定ヲナス所以ノ能力ヲ稱シテ趣味ト云フ。審美的斷定ハ其固有ナル明證ヲ有スルモノナリ、奈何トナレバ、主位ニ於テ純然タル心象トシテ現セシ所ノモノヲ、其實位ニ於テハ感情トシテ保有スレバナリ。審美的認識カ之ヲ純然タル學理的認識ニ比シテ

麟氏實験心理學

更ニ一步ヲ進メタル點ハ正ニ此處ニ在リ。即チ學理的ニテハ心象ノ内容ヲ論理的ニ分解スルノミナレドモ、審美的認識ニアリテハ更ニ新元素トシテ之ニ感情ヲ加フルモノナリ。一幅ノ繪畫ニ對シテ單ニ着色セラレシ絹素ヲ看ルノミナル人ハ、是レ未ダ繪畫ヲ觀ザル者ナリ。既ニ審美的斷定ノ賓位ハ感情ナリト雖モ、而カモ此斷定ハ純全タル眞價ヲ有シテ、主觀的心情ノ動搖ニ左右セラル、コトナギモノナラザルベカラズ。此事ハ既ニ其明證ヲ有スルニヨリテ明カナリ。事物ノ審美的斷定ノ動搖即チ趣味ノ變動ハ、是レ純粹ナル審美上ノ快樂ト、實利適意或ハ偶然ノ努力ニ屬スル如キ、全ク別種ノ評價トヲ混淆セル事實ニヨリテ解明スベキナリ。蓋シ審美的認識ハ美ナル物體ノ全心象ヲシテ我意識内ノ變動的並ニ偶然的ナル元素ヲ解脱セシメ、全ク其心情上ニ及ボス結果其物ノミニ就テ觀察センコトヲ要スルナリ、而カモ此要求ハ實際十分ニ遵守セラレシコト極メテ少ナシ。吾人カ美術品ヲ

第

二

編

認識スルヤ、十分ノ不偏公平ヲ以テ之ニ接セズ、又之ヲ評價スルニモ全ク其形骸ノ美ニヨリテ導カル、ニ任セズシテ、諸種ノ豫期及ヒ專制或ハ慣習トナレル能、自覺的心象ヲ以テ之ニ接シ、爲メニ知ラズ識ラス我審美的斷定ヲ影響シテ不明ナラシムルニ至リ、且ツ材料ノ價額、附屬物ノ華美、着色ノ鮮麗等ヨリ、或ハ又其中ニ含有セル政治宗教等ノ動機ヨリ生ズル結果ニ由リテ意向ヲ定ムルコトアリ、是レ純粹ナル審美的斷定ノ殆ト存セザル所以ナリ。右ノ如ク審美上ノ快樂ト、主觀上ノ豫期及ヒ當時ノ流行心象トヲ混同スルガタメニ、審美的趣味ハ非常ノ相對性及ヒ變動ヲ示セル所ノ、流行上ノ趣味ニ墮落スルニ至ルナリ。蓋シ流行ハ奈何ナル事物ヲモ美ナリト觀スルコト能ハザルモノナシ。流行美ノ醜ナルコトハ、現今廢風トナリシ流行ニ一タビ斷定ヲ下ストキハ直ニ明ナルベシ。右ノ如キ事實アルニモ拘ラズ、審美上ノ元素的及ヒ全體上ノ斷定ノ純

全ナルコト、並ニ之ト共ニ審美的趣味ノ卓絶ナルヲ損セザルナリ。但、之ニ要スル所ハ、純粹ナル審美的認識ノ主觀的要件トシテ不偏公平ノ心情ヲ保スルニアリ、此不偏公平ナルコトハ既ニ述ベシカ如ク、眞ノ認識ニ缺クベカラザリシ要件ト正ニ同一ナリ。吾人ハ先ツ我見、即チ主觀的豫期、偏向、私利ヲ擺脫セザルベカラズ、此ニ於テカ始メテ眞或ハ美ノ領會ヲ試ムルコトヲ得ベシ。

(備考) 既ニ眞ヲ領會スルニハ豫メ不偏、純一、冷靜ノ心情ヲ要ストセバ、美ノ場合ニ於テハ之ヲ要スルコト更ニ甚シキモノアリ、奈何トナレバ、美ノ眞元素トナリテ審美的斷定ト共ニ張大スルモノハ感情、即チ一ノ心情狀ナリ、而カモ客觀的美妙ハ熱冲セル心情中ニハ現映スルコト能ハザルモノナレバナリ。蓋シ美ハ神ノ若シ、之ニ對スルハ宛モ祭壇ニ進ムト等シク、敬虔ノ心情、純粹ノ眞心アラシコトヲ要スルナリ。然ルニ粗野ナル心情ハ其物體ヲ主ニ劣等ノ覺官ニ由リテ

取ルヤ、或欲望ヲ満足スル手段トナサン爲ニシテ、其好愛スル所ハ事物ノ形骸ニアラスシテ、其材料ニ在リ。審美的認識ニテハ物體ヲシテ靜ニ成立セシメ、只、高等ノ覺官ニヨリテ肅然敬虔ニ之ト接見スルノミナリ。人ハ星宿ヲ欲望セズシテ其鮮麗ヲ賞美ス。(グーテ氏) 彼ノ就中加特力教々會ニ於テ、宗教ノ禮式ト美妙トヲ聯結セルハ故アリト謂フベシ。以上ノ所說ハ音樂上ノ性情、及ヒ此場合ニハ結果ト原因トハ互ニ助長スルモノナルカ故ニ、音樂ノ淨盡力純人ノ性情ヲシテ靈能ニ關シテ特ニ嚮緊ナルヲ覺ユルナリ。而シテ此靈能ニ關スルし、くすび、あノ左ノ言モ其理由ナキニアラス、曰ハク、人ニシテ毫モ自ラ音樂ノ技ヲ有セズ、又妙音ノ曲ニ感動セザルガ如キモノハ、是レ謀反、強奪、詭計ヲ作スニ適センノミ、斷シテ斯カル人ヲ信ズルコト勿レト。

第七十五節 道德的感情

人ノ善或ハ惡ノ智識ニ達スルハ理性ニ由ルモノナリ。二者ハ孰レニアリテモ皆感情ヲ生ズルコトヲ得之ヲ道德的感情ト云フ。斯ノ如キ感情ヲ生ズル所以ノ根源ハ意志ト其主觀念トノ調和或ハ不調和ニ在リ。意志カ其主觀念ニ相應セル場合、換言スレバ、意志ノ當ニ有ルベキヤウ形成セラレタルトキハ之ニ應諾ヲ與ヘ、道德的快感トナリテ發現スルナリ。若シ之ニ反シテ、道德的觀念ト背反セル意志現象ノ認知セラレ、トキハ、此背反ハ道德的快感トナリテ現ハル、モノナリ。

右ノ如キ意志ト道德律トノ調和及ヒ不調和ハ、吾身ニ於テモ又他人ニ於テモ均シク觀察スルコトヲ得、故ニ之ヲ區別スルコト左ノ如シ。

道德的感情

- 甲、道德上ノ調和
 - 一、吾身ニ於テ
 - 二、他人ノ意志ニ於テ

- 乙、道德上ノ不調和
 - 三、吾身ニ於テ
 - 四、他人ノ意志ニ於テ

右ノ小區分第一ニ示セル感情ハ性格的人物ノ良心ヲ安ズルヨリ、心神ヲ聖化スル所ノ道德的安慰トナリテ發表シ、之ニ反シテ、第三ニ示セル感情ハ良心ノ反噬ニシテ、自責及ヒ失望ノ苦惱トナルモノナリ。又第二及ヒ第四ニ於テ示セル感情ハ、吾人ノ生活或ハ詩學(戯曲、叙事詩)ニ於テ、道德上ノ偉大或ハ卑劣、高貴或ハ醜汚ノ行爲ニ接セシトキニ、道德上ノ歎賞或ハ激怒トナリテ現ハル、モノナリ。(びるげるノ勇者ノ詩)是カ故ニ道德的感情ハ善ヲ快樂トシ、惡ヲ苦痛トナシ、以テ前者ヲ撰擇シテ後者ヲ拒斥スルモノニ外ナラザルナリ。此等ハ皆良心ノ永久、不滅ナル要求ヲ吾人ニ示ス所以ノ感情ナリ。人ハ善及ヒ惡ノ心象ニ不偏冷淡ナルベカラズ、却テ心情ヲシテ道德的感情ニ感動シ易カラシムルハ、是レ實ニ至大緊要ナル道德上ノ條件ナリ。

リ。カク良心ヲシテ微妙ノ感ヲ呈セシムル、右ノ感性ヲ助成スベキ最良法ハ、道德的觀念ヲ具體的ニ現前シテ我カ心情ニ覺エズ道德上ノ賛歎ヲ發セシムベキ、彼ノ偉大ナル道德的性情ヲ沈思セシムルニ在リ。

直ニ覺官ニ訴フル技術ハ抽象ノ心象ヨリハ更ニ效力大ナリ。(真正ノ)演劇ニ於テハ、道德的或ハ不道德人物ハ直接ニ我目前ニ現ハレ、以テ道德上ノ歎賞或ハ道德上ノ激怒ヲ感發スルモノナリ。しるれるノ「道德上ノ校舍トシテノ論」ヲ參看スル有名人ノ

(備考一) 善ヲ美ト區別スベキ點ハ、美ニアリテハ審美的斷定ノ物躰ハ異種ニシテ且ツ多少、中性ナル物(例へバ色彩、石材、音調、言辭)ナリ、然ルニ善ノ場合ニテハ其物躰ハ人間ノ意志即チ人間、其物ナルニ在リ。故ニ諸種ノ技術ニ於テ美ヲ表象スルコトハ一般ニ吾人ノ義務タルモノニアラズト雖モ、吾人ノ意志及ヒ行爲ニ於テ道德的觀念ヲ實現スルノ義務ニ至リテハ、誰カ之ヲ避クルヲ得シヤ。例へバ爰ニ未熟ナル洋琴樂手或ハ凡庸ノ詩人アリ、他ヨリ其技藝ヲ批評スルコトア

リトモ、該人ニシテ奏樂或ハ作詩ハ一身ノ隨意ニシテ、斯カル業務ヲ廢スルモ可ナリト言ハシカ、其難ヲ一掃スルコトヲ得ベシ、然レトモ若シ彼ニシテ不良ノ人ナランニハ、他人ノ加フル批難及ヒ輕侮ヲ甘受セザルベカラザルナリ。是ヲ以テ善ハ他ノ點ニ於テハ美ト密接ノ關係アリト雖モ、美ニ比スレバ無上ニ高等ナルモノトス。

(備考二) 道德的感情ハ元來單ニ善ヲ應諾シテ惡ヲ批難スルコトナレドモ、其場合ノ異ナルニ隨ヒテ諸種ノ形狀ヲ呈スルナリ。即チ他人ノ德或ハ不德ヲ知覺スル場合ニハ尊重或ハ輕蔑トナリ、其成立セラル權利ノ持續ニ關スル場合ニハ正義ノ情トナリ、名譽即チ他人カ自己ノ德行ニ下シ、判斷ニ關スル場合ニハ名譽ノ情トナリ、自ラ自身ノ失行ニ批難ヲ下ス場合ニハ羞恥及ヒ悔恨トナリ、他ヨリ受ケタル善行ニ報復セントスル場合ニハ感謝トナルガ若キ是ナリ。

第七十六節 宗教的感情

道德的感情ト密着ノ關係ヲ有スルモノニ宗教的感情アリ。宗教的感情トハ不可思議界ニ關スル人間ノ諸心象(其中心ヲ占ムルモノハ天神ノ心象ナリ)ヲ本據(座位)トナス所ノ感情ヲ謂フナリ。

人ハ(特ニ非常ノ災害、元素等、水、火、風、ノ動亂、暴海、危難等ニ遭遇スルトキハ)忽チ己ノ無力ニシテ、高等ノ有力者ニ依頼スルモノナルコトヲ悟ルモノナリ。人ハ造化ノ功ノ宏大壯麗ナルヲ見テハ全能ノ主ヲ悟リ、自然界ノ秩序整然トシテ深義アルカ如ク、又事變ノ進行中ニ否ムベカラザル先見ノ明アルヲ見テハ、或全智ノ主宰ヲ要スルコトヲ識リ、最後ニ道德上ノ要求ノ得テ拒ムベカラザルハ、道德律ニ高德ノ(神聖ナル)創立者ヲ豫料スルモノナルコトヲ知ルベシ。人ハ此ノ如キ考察ニヨリテ最高本躰ノ智識ヲ得ルニ至ルモノナリ。

天神及ヒ未來世界ノ心象ハ諸種ノ感情ノ起因トナルナリ。天神ニ對スル崇敬、感謝及ヒ愛ハ皆宗教的感情ニシテ、天神ノ畏敬及ヒ宗教上ノ

諸式、就中、天神トノ對話タル禮拜ニ於テ發現スルモノナリ。

此感情ハ極メテ切要ナルモノナリ、其故ハ塵世ニ於ケル生活ノ轉變浮沈ニ際シテ驚クベキ慰藉ヲ人類ニ與ヘ、能ク其心神ヲシテ現世界ノ外ニ逍遙セシムルモノナレバナリ。サレドモ其至大ニ肝要ナル點ハ道德ニ缺クベカラザル支柱タルニアリ、是レ該感情ハ、若シ之ヲクバ純然タル理性ノ要求ニ過キザルベキ道德律ヲシテ、神意ヲ表顯スルモノガラシメ、其賞罰ニヨリテ之ニ對スル順不順ヲ制裁スルモノナルコトヲ知ラシムレバナリ。

(備考一) 現世ノ生活ニ於ケル一切ノ關係ハ、若シ之ヲ宗教ノ起點ヨリ觀ルトキハ更ニ一層ノ美光ヲ放テルモノトナルベシ。即チ人間ノ成立ハ肉體ノ死ト共ニ畢ルニアラズ、却リテ其實ハ此ニ始メテ其端ヲ發スルモノナリ、今世ニハ擯斥セラレテ泥土ニ委スル道德モ來世ニハ勝ヲ制スベク、今世ニ於テ凱旋車上ニ揚々タル邪惡ハ來世ニ

於テ復仇者ニ會スベク、彼ニアリテハ偽善者ハ暴露セラレ、正義ノ士ハ表彰セラレ、到ル處ニ和合、安寧、福祉ヲ見ザルハナシ。此ノ如キ考察ハ是レ宗教ノ驚クベキ慰藉ヲ呈スル所以ナリ。

(備考二) 自然ヲ綿密ニ考察スルトキハ大ニ信仰及ヒ宗教的感情ヲ強ムルモノナリ。自然ノ經濟ニハ永久ノ秩序アリ。自然ノ有ラユル事變ニハ到底人間理性ノ及バザル深意ノ預匠徧在シ、又個々ノ諸現象ハ驚クベキ意匠ヲ以テ相錯綜シテ最高ノ目的ニ達スルニ適セリ。——總テ此等ノ事實ハ至高ナル宇宙主宰ノ成立ヲ證シテ餘リアルベシ。故ニ古來ヨリ最大ノ理學者ハ亦尤モ敬虔ナル人ナリキ。傳ヘ言フ、最モ深ク宇宙ノ秩序ヲ洞察セシ^レ、^レとん氏ハ、神ノ名ヲ聞ク毎ニ未タ曾テ其頭巾ヲ脱セザルコトナカリシト。

第七十七節 我情

我情ノ物躰ハ自己ノ「我」是ナリ。コノ「我」ハ精神生活ノ行程ニ於テ薦進

第

二

編

及ヒ制遏ヲ經驗スベシ、是レ我情ノ興起及ヒ沈降ノ基ク所ナリ。例ヘバ承認、賞讚、名譽ノ如ク、スベテ吾人ノ「我」ノ承諾セラレタル場合ニハ興起ヲ生ジ、又譴責、輕蔑、嘲罵、失敗、強暴及ヒ諸種ノ束縛ノ如ク、「我」ノ拒否セラレシ場合ニハ皆我情ヲ沈降(沮喪)セシムルナリ。

「我」ハ全躰ノ心象圈ニ擔ハル、モノナレバ、人間ノ最強ナル心象群ナリ。然レドモ、其外界ニ向テ活動スルニ當リテハ忽チ障礙及ヒ制限ニ會シ、又之ニ克ツコト能ハザルナリ。此ノ如キ障礙トハ盲目ノ自然力、或ハ他人ノ自譏的動作コレナリ。

「我」カ右ノ如キ障礙ニ克チ制限ヲ越ユルノ度ニ隨ヒ、愈、自己ノ強大、有力ニシテ不羈ナルコトヲ感ズベシ。外界ニ於ケル反對ノ障礙ヲ排スルヨリ、生ズル「我」心象ハ、薦進ハ即チ我情ノ基ク所ナリ。而シテ其勝利ノ十分ナルニ隨ヒテ我情ハ益、強大ナルベシ。彼ノ兒童ト雖モ己カ「我」ノ外界ヨリ優力ナルコトヲ實際ニ徵シ、「我」カ外

部ノ活動力ニ對抗シ得ベキコトヲ示スガ如キ業務ニ於テ満足ヲ感ズルモノナリ。兒童ノ外物ヲ破毀スルコトヲ喜ビ、或ハ無生物ヲ以テ戯遊シ(即チ隨意ニ其形狀ヲ變更シ)、又ソノ朋輩ヲシテ己ニ服セシムルコト、即チ己カ「我」ニ從屬セシムルコトヲ樂シムカ若キハ、皆右ノ理ニ由レリ。

サレドモ成人モ亦其言行ニ於テソノ「我」ヲ主張スルコトノ必要ヲ感スルモノナリ、但シ彼ノ兒童及ヒ蠻人ニ於テ觀ル所ノ粗暴ナル破壞ノ衝動ハ、大人ニアリテハ高尙ナル構造及ヒ技術ノ衝動ニ變シ、以テ破壞ニ代ヘテ新物ヲ創造スルニ至リ、又彼ニアリテ粗暴ナル權勢ノ願望ハ、此ニハ一變シテ法律ノ遵奉トナリ、以テ始メテ眞ノ自由ヲ得ルニ至ルナリ。サレバ人間ノ我情ハ、最初ハ「我」ヲ過重スルノ餘リ一切ノ外物ヲ賤シメントスル恐アレドモ、此ニ至リテ其相當ノ制限ヲ得ルモノナリ。」
 此事ハ一個ノ我情ヲ擴充シテ社會上ニ及ボシ、之ヲ高尙ナラシムルト

キハ特ニ其然ルヲ見ルナリ。人ノ社會ニ立ツヤ宛モ部分ノ全躰ニ於ケルカ如キ關係ニ在ルモノナリ。此社會ニ於テハ個人ハ實ニ其中心點ニ在ラズシテ、却リテ之ヲ政治、宗教及ヒ社會上ノ領袖並ニ最貴、最善ナル者ニ讓ラザルベカラズ、而カモ其思想界ニ於テハ及ブタク右ノ中心點ニ接近シ、以テ一個人ノ制限、不完全及ヒ不定無常ヲ脱シ、自ラ社會全躰ノ主權及ヒ強大ニ關與スルカタメ、大ニ自己ノ興起ヲ感スベキナリ。(著者ノ「社會心理學」第二十四節參着。)

社會的我情ハ己ノ價值ヲ社會ニ承認セララル、ニ基ク所ノ名譽、ハ情コレナリ、故ニ此情ハ社會ノ眼ヨリ見テ、一身ノ人品ノ觀念ヲ興起スルコトヲ得ベキ各事物ニ薦進セララル、ナリ。人ハ本能性ニヨリテ、自己ノ人品ノ觀念ヲ社會ノ意識中ニ高く保持センカ爲メ、換言スレバ、其名譽ヲ保センタメ、若シ又其侵害セラレシトキハ之ヲ回護セン爲メニ、万事ヲ計畫スルモノナリ。自識カ不意ノ反抗シ難キ制遏ヲ受クルトキハ蓋

耻ノ情トナリテ現ハル、ナリ。 名譽ナクンバ生活スルコト能ハズトノ思想ハ高尚ノ義ニ於ケル決斷ノ基礎ヲナスナリ。

(備考一) 此ニ又虚偽ノ我情ナルモノアリ、是レ即チ己カ「我」ノ眞價ヲ證スベキ實際ノ經驗ニ基カズシテ、其誤認セラレシ價値ニ關スル想像ヨリ生ズルモノナリ。人ヲシテ此ノ如キ生活ニ有害ナル虚偽ノ我情ヲ避ケシメンニハ、幼時ヨリ從順ニ慣レシムルヲ以テ第一トス。此從順トハ「我」ヲシテ高等ノ勢力ニ服セシムルコトニ外ナラズ。斯ノ如キハ又道德上ヨリ觀ルモ少年ニ有要ノ練習ヲ與フルモノナリ。サレド我情ハ若シ利己ニ墮チザルトキハ、ヨク人ヲシテ卑屈ニ陥ラシメザルモノナレバ、一ノ高尚ナル道德的感情ナリ。

(備考二) 最モ苦痛ナル感情中ノ一、即チ死ハ、畏怖ナルモノハ我情ヲ抑壓スルニ基ケテ。蓋シ如何ナル思想モ、向後「我」ハ既ニ成立スルコトナキ状態アラントノ心象ノ如ク、我情ヲ強壓スルモノナカルベシ。

此ノ如キ「我」心象ノ壓迫ハ即チ死ノ畏怖ヲ生ズル根源ナリ、サレド此畏怖ハ「我」ハ既ニ成立スルコトナキ状態ヲモ畏ル、ニ足ラズトノ論辨ニ由リテハ驅除セラレザルナリ。是レ死ノ畏怖ナル感情カ人ヲシテ不安ナラシムル所以ハ、或豫期セラルベキ禍害ノ心象ニアラズシテ、空無ノ思想ニ在レバナリ。是カ故ニ「我」ハ無窮ニ存續センコトヲ要求スルモノニシテ、此要求ハ不死不滅ノ信仰ニ於テ満足ヲ得ベキナリ。

第七十八節 同情

我情ハ人々ヲ孤立セシメント迫リ、之ニ反シテ同情ハ吾人ヲシテ己ト同種ナル他ノ人類ニ密接セシメントスルモノナリ。蓋シ人ノ感情ハ其顔面及ヒ形態ニヨリテ相貌ノ上ニ表出セラル、ナリ。快樂及ヒ悲歎ハ眼色ノ光澤或ハ黯曇ニ於テ、體勢ノ舉起或ハ憔悴ニ於テ、又顔容及ヒ言語ニ於テ外ニ發表スルモノナリ。故ニ人々ノ外相ニヨリ、其内部

ニハ奈何ナル感情ノ發動セルカヲ推斷スルコトヲ得ベシ。
 斯ノ如キ方法ヲ以テ他ノ感情ヲ知覺スルトキハ、吾人ハ永ク之ニ冷淡
 ナルコト能ハズ、却テ他ノ「我」ノ中ニ其身ヲ轉置シ、以テ該感情ヲ生シタ
 ル心象ヲ我心内ニ收容スルガ故ニ、遂ニ此感情ヲ自己ノ有トナスニ至
 ル、換言スレバ、他人ト共ニ感ズルコト、即チ同情ヲ表スルモノナリ。故
 ニ同情ハ他ノ感情ヲ知覺セルヨリ生スルモノニシテ、其調節ハ先ニ知
 得セシ感情ト同一ナリ。即チ該感情ノ快樂ナルト苦痛ナルトニ從ヒ
 テ、吾人ノ同情ハ同歡或ハ憐憫トナルナリ。
 同情ニ際シテ「我」ヲ消失スルハ、自他ノ心象ノ同性ナルヨリ「我等」テフ共
 通ノ意識ヲ生起スル時ニ尤モ迅速ナリ、其故ハ右ノ如キ場合ニハ我身
 ヲ以テ他ノ状態ヲ思考セシコト尤モ容易ナレバナリ。是ヲ以テ吾人
 ハ尤モ己ト精神ノ状態同シクスル人々、骨肉ノ親、同齡ノ朋友、同國人等
 ニハ最モ同情ヲ感シ易シ。

然レドモ、同情ニハ知ラズ識ラズ自己ノ状態ノ反省ヲ混淆スルモノニ
 シテ、多少ノ別コソアレ其中ニ現ハレザルハナシ、是ヲ以テ憐憫ニハ自
 己ノ状態ノ安全ナルヲ喜ビ、又同歡ノ場合ニハ自己ノ状態ノ之ニ及バ
 ザルコトヲ歎ズルヨリ、同情ヲシテ一ノ混合的、感情ヲラシムルニ至ル
 ナリ。若シ斯ノ如キ隨伴的、感情ノ前面ニ現出スルトキハ、却テ同情ヲ
 滅熄シテ、反對ノ感情即チ反情ニ變形スベシ。此事ハ他ノ感情ヲ知覺
 セルニ當リ、之ト反對ノ感情ニ移サル、トキニ起ルナリ、例ヘバ他人ノ
 歡樂ハ自己ノ憂愁トナリ、他人ノ悲歎ハ我ノ快樂トナルカ如シ。第一
 ノ場合ニハ同歡ノ反對即チ猜忌トナリ、第二ノ場合ニハ憐憫ノ反對即
 チ毀害心トナルナリ。
 同情ハ道德觀念ノ重心タル慈仁及ヒ親愛ニ到ルノ津梁タルヨリ、觀レ
 バ、頗ル緊要ナルモノナリ。反情ハ常ニ必スシモ排斥スベキモノニア
 ラズ、例ヘバ偽善者カ暴露セラレテ哀ムベキ状態呈スルトキニ、誰カ之

ヲ快トセザルモノアラシト雖モ、大體上、道德ノタメ危険ナル状態ナリ、
 奈何トナレバ、此情ハ惡意及ヒ憎惡ニ陥リ易クレバナリ。
 吾人ハ右ノ如キ感情ト、無意ノ同情及ヒ反情、即チ生物及ヒ無生物ニ對
 ネル無意識ノ親近及ヒ拒斥トヲ區別セザルベカラズ。吾人ハ初メテ
 接見シタル人、或ハ鸚鵡及ヒ猿猴、或ハ山村及ヒ市街等ニ就キテ同情或
 ハ反情ヲ感ズレドモ、其果シテ何故ナルカヲ明知セザルナリ。(婦人ハ
 蜘蛛ヲ憎ミテ猫兒ヲ愛好ス。)此ノ如キ感情ハ、其關スル物體ノ心象ト
 聯合シテ吾人ニ苦樂ノ情ヲ生起スル所ノ蒙蔽心象ニ基ケルナリ。蓋
 其察スルニ、愛ニ人アリ、善ク吾人ヲ想起セシムベキ形相ヲ有スルトキハ、該人ハ
 ニ餘谷アリ、吾人ヲ原野ト類似セルモノナルベシ。
 是レ我家、鄰近傍ノ原野ト類似セルモノナルベシ。
 (備考一) 憐憫ハ同歡ニ比スレバ、生活中ニ屢、實見セラル、モノナリ。
 火災ニテ財物ヲ蕩盡セシ人及ヒ絶望ノ境ニ在ル人ヲ目撃スルトキ
 ハ、彼ノ富講ノ大賞ヲ賭シ得テ其好運ヲ歡ベル人ニ於ケルヨリハ、一

層同情ヲ感ジ易シ、サレバ同歡ハ野鄙ナル偏向ヲ絶テル高尙ノ心情
 ヲ徵スルモノナルコトハ、猶ホ毀害心カ其心情ノ深ク腐敗セルコト
 ヲ示スニ同シ。是ノ故ニ兒童ノ心情中ニ於ケル毀害心ヲ容レ、之ヲ
 シテ年ト共ニ增長セシムルカ如キコトアルベカラズ。兒童カ動物
 ノ苦痛ヲ感ズルモノナルコトヲ知リツ、モ、金龜子及ヒ蝴蝶ノ羽翼
 四肢ヲ裂クコトヲ樂シムハ、是レ既ニ不良ノ心情ヲ示スモノナリ。
 カク無力ノ動物ヲ苦シムルハ、一ノ瑣事ナレドモ、其增長スルニ及ビ
 且ツ機會アラシニハ、更ニ人類ニ對シテ大ニ之ヲ實行スルニ至ルベ
 シ。猜忌ハ毀害心ノ如ク排斥スベキモノニハアラズ、奈何トナレバ、
 猜忌ハ多クハ我身ノ不幸ナル状態ヲ顧ミルヨリ生ズルモノナレバ、
 幾分カ恕スベキ點アリ、且ツ一層ノ勇氣ヲ鼓シテ之ヲ改善セントス
 ル與奮ヲ與フルコトアレバナリ。是ヲ以テ人々ノ尤モ猜忌スル所
 ハ其外部ノ境遇ノ已ト同等ナル人ナリ、是レ以前ニ同等ナリシヨリ

此ニ相互ノ比較ヲ促シ、其相違ヲ著シカラシムレバナリ。乞丐ノ猜ム所ハ多幸ノ惠與ヲ受ケシ他ノ乞丐ニシテ、王侯ニハアラザルナリ。王侯ハ乞丐ノ身ヨリ見ルトキハ高級ノ人類ナリ。

(備考二) 同情ハ容易ニ愛ニ變ズルモノナリ。此愛ナル普通名辭ハ、他人ニ我身ヲ奉ズル一ノ感情ニシテ、成ルベク他人ト合躰セントスル情交ニ於テ其真相ヲ發表スルモノナリ。愛ハ其愛スル目的物ニ成ルベクタク密接シテ之ト同化シ、以テ彼我ノ間ニ横ハレル溝渠ヲ徹セント求ム。故ニ愛ハ各個人ヲ融合シテ一躰ノ成立ト爲シ、且ツ及ブベキタク其間ノ懸隔ヲ滅セントス。此情ハ其諸種ノ特狀(即チ交友、親子ノ愛、兩性ノ愛)ヲ呈スルニ隨ヒテ種々ノ動機ヲ示シ、又其道徳上ノ價值ヲモ異ニスルニ至ルベシ。若シ愛カ各ノ動機ヲ去リ、人類ノ汎愛(即チ同胞ノ愛)トシテ如何ナル思念ヲモ狹マズ、單ニ我身ヲ人類ニ奉ズルトキハ始メテ道徳上ノ最高價值ニ達シタルモノナリ。

是レ即チ真正ノ愛ニシテ基督教ハ之ヲ以テ道徳ノ中堅ニ置ケリ、此愛タルヤ機會アレバ到ル處ニ活動シ、奈何ナル人ヲモ(仇敵スラモ)容レテ斥クルコトナシ。善ナルト惡ナルトヲ問ハズ愛ヲ以テ一切ノ人々ヲ遇シ、全人類ニ代リテ十字架上ニ死シ、其仇敵ノ爲ニ祈リシ基督ハ、即チ基督教ノ愛ノ最高儀表ナリ。

第七十九節 感情ノ相互作用

意識ノ統一アルヨリ同起ノ諸心象ヲシテ融合セシムルカ如ク、心情ノ統一ハ生活ノ同時ニ起リシ一切ノ感情ヲシテ相聚流セシム。此ノ如キ同起諸感情ノ總和ハ情趣トナリテ發表スルモノナリ。

此情趣ハ無數ノ元素的感情ヨリ總合セラレシモノナリ、而シテ元素的感情ハ多クハ蒙蔽心象ニ基キ、其一個一個ニアリテハ餘リ微弱ナルカタメ認知セラレザルモノナリ。此等ノ元素的感情ノ調節ハ相聚リテ情趣ノ調節ヲ爲シ、以テ快感或ハ苦感ノ心調トナリテ現ハル、ナリ。

普通感覺及ヒ生活感情ハ吾人ノ各時ニ於ケル情趣ノ暗處ヲ成スモノナリ。之ト共ニ微少ノ心情運動アリ、是ハ日々ノ種々ナル事變ニ應シテ、時ニハ不興或ハ爽快トナリ、時ニハ興起或ハ沈降トナリテ吾人ヲ影響シ、其總躰ニ於テ始メテ不氣色或ハ好氣色トナリ、愉快或ハ鬱憂トナリテ認識セラレ、モノナリ。此等ノ蒙蔽ニ感シテ且ツ各自極メテ微茫セシメ、心調ニ對シテ決シテ其原因ヲ發見スルヲ得ザルモノト興起或ハ沈降トナリ、或モ瑣人ナル偶事ト雖モ、其遺上ニ影ヲ以テ閉セル朝ニ、鬱憂ノメ自開ケテ日光昭々タリ。此ニ於テ該人ヲ取リテ之ヲ情趣ハ忽チ消シテ至レリト思想ヲ一掃ス。

此ノ如ク蒙蔽ニシテ單ニ調節ヲ有スルノミノ複合感情ヲ離レ、獨リ特殊ノ状態トナリテ超出セルモノハ、唯、彰著ノ心象或ハ一定ノ確立セル心象圈ニ於テ座位ヲ有スル所ノ感情アルノミ。サレドモ此等ノ感情スラモ全般ヲ支配セル情趣ノ調節ヨリ大ニ影響セラレ、モノナリ。」

此等ノ特殊感情ノ相會遭スルカ爲メ、其調節ノ相和合スルト否ザルトニ隨ヒテ感情ノ増進及ヒ感情ノ反對ヲ生ズルコト少ナカラズ。整備セル食卓ノ快樂ハ、完備セル斡旋動作ヤ、首尾ヨキ吟味ニヨリ、又嬉々タル祝祭ノ情ニヨリ、或ハ吾人ノ同意セル或目的ニ關係セルタメ(祝宴及ヒ公宴)或ハ同心ノ朋友ノ現存スルタメ(饗宴)ニ増進セラル、コト多ク、又他方ニ於テハ、此快樂ハ目前ニ於ケル勞働及ヒ計畫ニ注意スルガタメ、或ハ吾人ニ不快ナル人々ノ現在セルタメ、大ニ挫折セラレ、コトアリ。其心ハ其物ニ於テ純粹ノ快樂ヲ與フル源泉ナレバ、何レノ快樂ヲモ増進ス、之ニ反シテ、罪業ノ意識ハ各、ノ快樂ヲ毀損スルモノナリ。今現一一般ニ用ヒラレ、宴樂ニヨリテ此快樂ヲ助勢セシトスルハ、若シ之ニ適セル一種ノ音ヲ發明スルニテ、其効少ナキカ如シ。音調之ニ快樂ト類ニ屬スルモノナリ。全

爰ニモ亦混合的の感情アリ。蓋シ吾人ノ情狀ニ或變化アルヤ一方ニ於テハ心象ノ制遏ヲ、又他方ニ於テハ其薦進ヲ増大ナラシメ、以テ同時ニ

快樂及ヒ苦痛ノ情ヲ生起スルコトハ尤モ尋常一般ニ見ル所ナリ。各ノ驚愕ハ皆混合ノ情トナリテ作用スルナリ。混合的感情ノ強大トナリ且ツ永續スルトキハ之ヲ煩悶ト稱ス。

諸感情ハ其内容ノ相反對スルトキハ該感情ノ本據(座位)タル心象ノ制限セラル、カタメ、又互ニ制限スルコトアルベシ。意識ニ限狹(凝聚)アルカ如ク、心情ニモ亦限狹アリ、而シテ感情ノ數多ナルト、多様ナルト又其反對ナルトニ從ヒテ、益、感情ノ強度及ヒ連續ヲ減少スルハ、即チ右ノ限狹アルニ由レリ。是ヲ以テ四海同胞主義(即チ世界人民ニ對スル熱心)ト愛國主義(祖國ニ對スル熱心)トハ相反對スルニ至ルナリ。又數多ノ殊別ナル事物ニ熱冲スル人ハ、其熱心ハ淺薄輕躁ナルベシ。

(備考一) 情趣ハ恒久ナルモノニアラズ、寧ロ情趣ノ根本タル無數ノ心理的要素ノ變ズルニ應ジテ變動シ易キモノナリ。情趣ノ原調節ハ快樂或ハ苦痛ノ孰レナラザルヲ得ザルガ故ニ、此調節ヲ限定スル

モノハ其中ニテ尤モ勢アル心情ノ元素ナラザルベカラズ。例ハバ一度憂鬱ノ心調ヲ惹起シ、後ハ之ヲ心情ノ全軀ニ波及スルモノニシテ、既ニ不機嫌ノ狀ニ在ル人ハ謂ハユル壁間ノ蒼蠅モ能ク之ヲ激怒セシム、斯クテ全軀ノ心象生活ハ盡ク不興ノ狀ニ陥ルベシ。是カ故ニ晨時ニ於テ、或ハ別境界ニ入りシ際ニ於テ得タル第一ノ印象ハ、其情趣ヲ左右スルコト屢ニシテ、第一ニ印セラレシ調節ハ實ニ終日或ハ全對話ヲ通シテ常ニ響應スルモノナリ。サレドモ往々之ト反對ニ出ルコトアリテ、心調ハ一ノ調節ヨリ反對ノ調節ニ變ズルモノアリ。若シ此調節ノ慣習トナリテ無意ニ行ハル、ニ及バ、特ニ之ヲ稱シテ氣色ト云フ。此氣色ハ肉體上ノ攪亂ヨリ生ズルコト多シ。

(肝臟症、ひばこんでり、及ヒ、ひすてりあ。)
(備考二) 蒙蔽ノ情趣カ彰著ノ意識内ニ勢ヲ逞シウシタルトキハ、之ヲ心地ト云フ。情趣其物ハ快活或ハ憂暗ナルコトアルベク、興起セ

ルカ又ハ沈鬱ナルコトアリ。興起セル情趣ハ一定度ノ身體健全ヲ要シ、又精神内ニ有要ノ心象群ノ現存セシコトヲ必須スルモノナリ。是ノ如キハ總テノ大事業ヲ成就シ、一切ノ美術品ヲ創作シ且ツ享樂スル所以ノ状態ナリ。

第八十節 情動即チ激情

○激情即チ情動(精神ノ争闘)トハ心情ノ靖平ト全ク反對セルモノナリ。熱眠セル時ヲ除キテハ全ク感情ノ靖平ナルコトナシ。所謂ソノ靖平トハ諸心象ノ緊張ノ中、狀即チ其相互ニ融合シテ制遏セルヨリ、及ブタケニ外ナラザルナリ。諸心象ハ一時平稱ヲ得ルモ、緊張及ヒ解放、過充及ヒ空虚、薦進及ヒ制遏ノ謂ナル感情ニ由リテ絶エズ攪動セラル、ナリ、而カモ又之カタメニ心情ノ靖平ヲ破ルニ至ルコトナシ、奈何トナレバ、心象ノ緊張ハ其如何ノ度ニ達セシ時ニテモ、毎ニ純然タル心理上ノ方法ヲ以テ復ビ之ヲ解放スルコトヲ得ベクレバナリ。實際上經驗ノ證スル所ニ據レバ、深ク

第

二

編

精神ノ内部ニ根底ヲ有シ、最モ多種ノ心象群ト相綜織セル所ノ最強ノ感情(即チ本國ノ愛、親近ナル人トノ愛着、宗教上ノ崇拜及ヒ詩賦ノ靈化)ハ眞ノ心情ノ激動ト遙ニ相去ルモノナルコトヲ知ルベシ。此激動ヲ生ズルハ、平稱ノ狀ニアル心象ハ一心象(多クハ覺官知覺)ハ俄然急激ニ突入セシタメ、一ノ衝突即チ強度ヲ昇降セシムベキ必要ヲ受ケ、爲メニ従前ノ心象平稱ハ火急激烈ノ攪亂ヲ蒙リ、以テ心象ノ靜ニ開展スル場合ヨリハ一層數多ノ心象ヲ意識内ニ興起セシメ、或ハ意識外ニ驅逐シテ、相平稱セル心象ノ關係ニ相應セザル時ニアリトス。カク此發動ノ急遽ニシテ混雜セルカタメ、我ノ心象ハ爰ニ現出シテ其自覺的勢力ヲ鞏固ナラシムルコト、換言スレバ、平稱ヲ回復スルノ途ナキナリ。○激情(例ヘバ忿怒)ニ於テハ人ハ「我」ニアラズシテ、寧ロ其本心ヲ失シ、爾後心情ノ靖平ヲ回復セシ時ニ、其己ニ出テシコトヲ承認スルヲ得ザルカ若キ言行ヲ作サシムルニ至ルモノナリ(人ハ忿怒中ニハ其身ヲ知

麟氏實験心理學

心象ノ急遽ニ昇降スルトキハ、之ト同時ニ生理的共鳴、即チ心意作用ニ隨伴スル神經系統ノ状態ニ於テモ、右ニ相應セル變動ヲ呈スルモノナリ。此變動ハ初ハ腦脊系統ノ中樞ニ最モ近キ神經作用ノ興奮或ハ萎縮トナリ、次ニ之ヨリ派出セル神經纖維ニ及ビ、最後ニ植物性機關ノ神經及ヒ系統ニ反射スルモノナリ。是ヲ以テ激情ニ隨伴セル身體ノ現象ハ甚々著シキモノニシテ、或ハ筋肉ノ急激ナル緊張又ハ弛解(握拳、拘攣、戰慄、痙攣)トナリ、或ハ血液循環(赧顔、蒼白、動悸)、分泌及ヒ分泌停止(胆汁、唾液、涙液、腫脹)并ニ呼吸(忿怒ノ際ニハ氣息ノ切迫、又恐怖ノ時ニハ呼吸ノ停滯)ノ激變トナリテ發表スルモノナリ。

神經状態ノ急遽ナル攪動ハ、又精神ノ状態其物ノ上ニ甚々有要ノ反射作用ヲ行フモノナリ。神經系統ノ體質ニ於ケル増進或ハ抑壓ノ興奮状態ハ、其固執性ニヨリテ、直ニ攪亂ノ状ヨリ正當尋常ノ作用ニ復歸セ

第

二

編

ノトスルヲ妨グ、是ニ由リ高ク緊張セル心象ヲシテ平稱ノ状態ニ回歸スルコト能ハザラシムルナリ。激情ハ自ラ滅熄セザルベカラズ、但、神經状態ノ次第ニ鎮靜セル後ニ至リ、始メテ精神状態モ尋常ノ平稱ヲ復スベキノミ。是ヲ以テ激情ノ状態ニアリテハ身體ハ(實ニ一時ナレドモ)精神ヲシテ其支配ニ屈服セシメ、其自由ノ自定力ヲ奪フモノナリ。

此理由ニヨリテ、激情ハ多クハ氣性ト關聯スルモノニシテ、中ニ就キ短氣性ハ激情ヲ助勢スルニ尤モ力アリ、魯鈍性ハ尤モ少ナシ。教化脩練ハ吾人ノ心象界ニ平均セル内部ノ融合ヲ生ズルモノナレバ、能ク激情ノ成立ニ抗スルモノナリ。

以上叙述セル所ニヨリテ、激情ハ左ノ如ク釋義スルコトヲ得ベシ、曰ハク、此情ハ心象ノ平稱ヲ急遽激烈ニ攪動セルモノニシテ、此攪動ハ不意ニ侵入セル印象ノ結果トシテ、生理的原因ノ協働ヨリ生起シ、激烈ナル心情ノ興奮ト聯絡セルモノナリト。

(備考一) 各ノ感情ハ強大ナル生理的共鳴或ハ強大ナル生理的壓迫ノ爲メ思慮ヲ失墜スルトキハ直ニ激情ノ高サニマデ興起スルニ至ルコトアルベシ。人間ノ最高ナル感情例ヘバ權利及ヒ道德ノ感情ニテモ又カ、ル激度ニ進ムコトアリ。人民ノ公平ノ感情ハ正義ノ遲緩ナルカ或ハ其不十分ナルカタメニ激セラル、トキハ直ニ激情ニ興起シ、以テ彼ノ恐ルベキ私刑法上ノ行爲トナリテ暴發スベシ、是レ宛モ、高尚ナル愛國ノ情ノ激興シテ屢、革命的狂亂ヲ呈スルモノト正ニ同一ナリ。

(備考二) 神經系統ノ生理的攪動ハ元來ハ激情ノ結果ニ過キザレドモ、後ニハ之ヲ助勢スル所以ノ原因トナルナリ、斯クテ精神ハ初ニハ身體ヲ攪亂スレドモ、此攪亂ハ爾後身體ニ於テ永續スルヨリ、却テ這回ハ直ニ精神ヲシテ其本然ノ狀態及ヒ作用ヲ挽回スルコトヲ許ササルナリ。是ヲ以テ劣等ノ激情ハ身體ヨリ奮興セラル、コトアリ、

サレバ人アリ、忿怒セル人ノ風ヲ擬シテ額ヲ蹙メ、拳ヲ握ルトキハ、實際ニ忿怒ノ情ヲ生スベシ、而シテ額ノ細蹙ヲ覺ス手ハ、又之ニ由リテ表出セラレシ忿怒ノ氣ヲ下サシムベシ。(ろつわい氏)是ニ由リテ純然タル生理的ノ方法ニテ激情ノ鎮壓セラル、所以ヲ解説スベシ。例ヘバ激興セル人ニハ冷水一杯ヲ與ヘ、落膽セル人ニハ精酒一杯ヲ進メバ善ク其目的ヲ達スベシ。加之、或座ニ就カシムルモ効驗アルコトアリ、サレバかんと氏ハ、怒氣勃々トシテ室内ニ入來リテ吾人ヲ難詰セントスル人アラバ、之ニ對スベキ最良ノ反論ハ先ツ之ニ椅子ヲ與フルニアリト云ヘリ。是レ忿怒セル人ヲシテ座セシムルトキハ、先ツ筋肉ヲ弛ムルト共ニ其心象ノ緊張ヲモ緩ウスベク、レバナリ。(備考三) 心象ノ平稱ニシテ若シモ鞏固ナル能自覺的心象ニ基カズシテ薄弱ナルカ、或ハ偶然ノ變事ニヨリ吾人ノ不意ヲ襲ハル、トキハ、極メテ瑣々タル外部ノ事件ト雖モ、激情ノ意義ニ於テ心象ノ平稱

ヲ俄ニ破ルコトアリ。サレバ逆境不運ニハ堅忍ナル人モ、其意外ノ時ニ一鈕子ノ脱落スルカ、或ハ一蒼蠅ノ鼻頂ニ留マルトキハ、其本心ヲ失スルコトアルナリ。

第八十一節 激情ノ彙類

激情ノ彙類ハ感情ノ彙類ニ相應セリ。抑、心象カ平稱ノ狀ヲ離レテ偏傾スルハ、即チ心象ノ興起スルカ或ハ其沈降スルカ爲メニ生ズルモノナルベシ。第一ノ場合ニハ心象行動ノ盛ナル自由及ヒ催進ト共ニ意識ノ充溢及ヒ興起セル力情ヲ見、第二ノ場合ニテハ心象行動ノ盛ナル緊張(制遏)ト共ニ意識ノ空虚及ヒ無力ノ情ノ專ラ行ハル、ヲ見ルナリ。心情ノ激動ハ、第一ノ場合ニテハ其形狀宛モ山脈ノ如ク、第二ノ場合ニテハ山間ノ谿谷ノ如シ。右二ノ場合ニ於ケル生理的反射作用モ亦相反對セリ。第一ノ場合ハ之ニ伴ヘル神經發動力ヲ増進シ、第二ノ場合ニハ其沮喪ヲ生ズルモノ

ナリ。

第一種ノ激情ハ活動的ニシテ、第二種ハ減縮的ナリ。

忿怒ハ活動的激情ノ代表者ニシテ、畏怖ハ減縮的激情ノ代表者ナリ。忿怒ハ多クハ傷害ヲ受ケタルガタメ我情ヲ激セシヨリ生ズルモノニシテ、全心象ノ行流ヲ意識ノ水平上ニ興起シ、其亂リニ壓迫シ來ルカ爲メ吾人ノ思慮ヲ奪ヒテ、或一ノ心象ヲシテ俄ニ最高強度ニ突起セシメ、斯クテ之ヨリ續生セシ意志及ヒ動作ハ過充横溢ノ性ヲ生ズルニ至ルモノナリ。之ニ反シテ、畏怖ニアリテハ、一ノ心象群(畏ル、事件)ノ非常ニ強大トナリテ他ノ諸心象ヲシテ一般ニ沈降セシムルカタメ、俄ニ心象ノ退縮ヲ見ルモノニシテ、之ヨリ伴生セシ意識ノ空虚ハ沈黙、戰慄、無定見及ヒ不動トナリテ外部ニ發表スルモノナリ。其他激情ニハ其暴發、ソノ極度及ヒ其落着ノ經過アリ。此落着ハ疑ニ排斥セラレタル「我」ノ心象ハ漸次ニ其力ヲ回復シテ、激情ヨリ生ゼシ心

象群ヲ自覺スルニ至リ始メテ成ルベシ。右ニ舉グタル彙類ハ激情ノ極度ニ達セシ際ノ意識状態ニ關スルモノナリ。

今此節ヲ結ブニ臨ミ、左ニ博士ナ一ろうすき一氏ノナシタル普通激情ノ列記ヲ轉載スルハ適當ナルベシ。

甲、活動的即チ積極ノ激情

乙、減縮的即チ消極ノ激情

適意ノ驚訝。

過度ノ驚駭。

不意ノ快活。

狼狽、錯愕、不意ノ不興。

喜悅。

苦痛ノ驚訝。

放逸。

悲歎及ヒ憂愁ノ發作。

祝宴。

掛念。

大悅。

沈鬱。

勇敢。

臆病。

忿怒。

羞耻。

苦惱、憤悶、憤怨。

歎賞。

感動。

狂喜。

畏怖。

恐懼。

悽愴。

寒心。

悔恨。

失望。

第三編 意力(努力)

第一章 願望

第八十二節 願望

願望トハ一般ニ現ニ存セザル或他ノ心狀ヲ生ゼシメント努ムル一ノ心狀(精神狀態)ナリ。願望ハ常ニ或一定ノ物體ニ指向セラル、モノナリ、サレドモ意識内ニ入ルコトヲ得ベキモノハ唯、物躰ノ心象ニシテ、物躰其物ニハアラス、例ヘバ願望ノ物躰(目的物)ハ黄金ニアラズシテ之ヲ安全ニ所持セントスル心象ナリ、又清水ニアラズシテ止渴ノ感覺ナルガ如シ。

然レドモ、願望セル物躰ノ心象ハ之ヲ願望セシ時ニハ業已ニ意識内ニ存スルモノナリ。人ニシテ清水ニ止渴ノ効アルコトヲ知ラザルカ、若クハ所有ノ快味ヲ想像スルコト能ハザルモノハ、決シテ此等ヲ願望セ

ザルミシ。此等ノ心象ハ之ヲ満足スル以前ニ在リテハ制遏セラレ、既ニ之ヲ満足セシ後ニハ解放セラレ、モノナリ。

是ニ於テカ願望セル物體ノ被制遏心象ハ其不相當ナル制遏ノ狀ヲ排棄シ、之ト同時ニ心象ニ藉リテ及フベキタケ該物體ヲ支配左右スルコトヲ得ソカクメ、右ニ代フルニ相當ナル無制遏ノ狀ヲ以テセントスル意力(努力)ヲ起スニ至ル。即チ此努力ハ願望セル物體ノ心象ガ制遏ノ反對ト爭鬪ヲナシ、以テ益、高ク意識ノ水平上ニ昇登セントスルヨリ生ズルナリ。之ヲ爲スニ必須ナル勢力ハ、願望ヲナスニ至ラシメシ幫助心象、即チ願望ノ動機タルモノヨリ得ラル、ナリ。

努力ノ狀中ニ包括セラレシ心象ヲ名クテ願望ト稱ス。故ニ願望ヲ釋義シテ、意識内ニ現存セル反對ニ對シテ一、心象ハ昇登スルコトナリト云フベシ。

嚴密ニ言フトキハ、各心象ハ皆其自然ノ狀態トシテ、結果ハ他心象ノ反對作用(反對)ニ廢止セラレ、一、心象ハ無數ノ宛モ現存セル幫助ニ支シ

第

三

編

セラレテ益、高度ノ影響ヲ昇登シ、終ニ一時吾人全意識ヲ占領スルニ至ルトキハ、始メテ此努力ヲ一、特殊ナル精神作用即チ願望ト稱スルニ得ベシ。

願望ニ於テハ感情ニ於ケルト等シク左ノ區別アリ、即チ願望セル物體ノ心象 \parallel A、反對ノ總和 \parallel M、幫助ノ總和 \parallel N、コレナリ。サレドモ願望ノ感情ト異ナル點ハ、願望ハ後者ノ如ク或一瞬時ノ心象發動ニハアラスシテ、此ノ如キ諸發動ヲ通ズル經過ナリ、換言スレバ願望ハ或運動ノ義ナリ。此運動ノ諸切斷面ハ即チ感情ナリ、而シテ或ハ主心象 A ノ興起、或ハ其反對 M トノ無益ナル鬪争ノ意識ニ現ハル、ヨリ、混合的感情トナルナリ。願望ノ勢力ハ幫助心象 N ノ呈スル勢力ニ基キ、又反對心象 M ノ抵抗ニヨリテ測ルコトヲ得ベシ。若シ此等ノ幫助心象カ直接ニ作用スル覺官印象ヨリ絶エズ勢援セラレ、覺官知覺ナルカ、或ハ一定ノ生理的關係ニ基ケル感覺動向ナルカ、或ハ又心象 A ニ於テ相交又シ、其開展(展出)セントスル努力ニヨリ、之ヲシテ意識内ニ興起セシムル

所ノ系列ナルト「キハ、該願望ハ非常ニ激烈トナリ、貪慕或ハ渴望トナリテ發表スベシ。又反對ニ遭ヒテ心象ノ沈降スル反面的願望ハ即チ嫌惡ナリ。

第八十三節 願望ノ満足

願望ハ主心象Aカ一般ニ能クセラレベキ心象ノ高サ、即チ最高度ノ彰著ニ達シタルトキハ満足セラレ、モノナリ。

此瞬時ニハ強大ノ快感トナリテ主觀ニ認識セラレ、ナリ、奈何トナレバ、久シク徒ニ抗爭セシ反對ハ自今永ク壓伏セラレ、コト、ナレバナリ。

此ノ如キ満足ハ、一般ニ、再現セラレシ心象、即チ想像力ニヨリテ保持セラレシ心象ガ覺官、知覺トナル時ニ至リ始メテ得ラルベキモノトス、奈何トナレバ、右ノ心象カ單ニ狹義ノ心象第十三節タル間ハ其反對ト爭鬪シテ、此ヨリ生ズル制遏ノ一部ヲ受クザルヲ得ザレバナリ。其覺官

感覺トナル時ニ及ビ(第四十四節ニ隨ヒ)始メテ全然制遏ヲ脱スルコトヲ得ルナリ。

實驗ハ十分ニ此事理ヲ證明スルモノナリ。

例ヘバ懷郷病ハ實際故郷ニ往キ、之ヲシテ其覺官ヲ刺戟セシムルトキハ始メテ治療セラレベキナリ。

心象ヲ最高度ノ彰著ニ興起ニ内シメ、有ラユル反對ヲ意識セル物體ニ存セザル渴望ノ物體ニ就テ追憶ヲ強ヒテ直接ノ覺官的印象ヲ離レ、現リテ求ムルモ、而カモ、此満足ハ決シテ如キ覺官法ヨリ一種ノ満足ヲ得ク、十コト固シテ久シキ満足ト且ツ不安ナク、助ト能ハズ、所謂甘美此場合ニハ稱分ノ願望ノ場合ニ該人一種ノ精神状態メ、其願望ナルナリ。

智力的願望ノ場合ハ全ク之ト異ナリ、其目的ハ覺官的物體ニアラズシテ、例ヘバ一問題ヲ解釋スル場合ノ如ク、諸心象ヲ新ニ排整スルニ在リ。此場合ニ於ケル満足ハ、全軀ノ注意力ヲ或心象群ニ凝聚シテ意識ヲ狭

四三〇

キ心象圈内ニ限リ、以テ大ニ該心象ノ彰著ヲ増進スルヨリ成レリ。是ヲ以テ、吾人ハ智力的願望ニ藉リテ注意力ヲ意識ノ此點或ハ彼點ニ向注セシメ、且ツ之ニ應ジテ我思想ノ行路ヲ左右スルコトヲ得ルナリ。願望ハ其満足ト共ニ消滅スルモノナリ。サレドモ若シ覺官ノ刺戟ヲ輕減スルカ、或ハ注意ヲ失シタルカ、曾テ此好機ヲ失セザル反對ノ意識内ニ侵入スルトキハ直ニ復ヒ願望ヲ起シ、願望セル物躰ノ心象ハ先ノ自由ノ狀ヨリ努力ノ狀ニ變ズベシ。此ノ如キ場合ニハ更ニ新ノ満足ヲ得ラルベキ途ヲ開キ、而シテ斯ノ如キ願望及ヒ満足間ノ戯ハ長時ノ間活潑ニ行ハル、コトヲ得ベシ。特ニ此戯ハ、個々ノ諸動作ガ一定ノ節律的交遞ヲ以テ相互ノ間ヲ往返スルトキハ大ニ注意ヲ惹クモノナリ。遊戯及ヒ時順上ニ發展スル技藝(舞踏、躰操、音樂、歌曲)ノ興樂ハ是ニ由リテ成レリ、之ニ反シテ造形術及ヒ建築ノ如キハ、其不變ナル所ニ於テ莊重ノ素ヲ存スルナリ。又勤勞ノ如キモ努力スル願望ト之ニ

伴生スル満足トテ、斯カル節律ヲ以テ交遞セバ能ク其勞ヲ忘ルベキナリ。

(備考一) 若シ願望セル物躰ニ關スル心象群ニシテ愈、十全ニ且ツ專制的ニ我意識ヲ占領シ、又願望ノ緊張ヲ解除スルコトノ十全ナルニ應ジテ、満足モ亦愈、十全ナリ。此ノ如キ十全ノ満足ハ、獨リ覺官的願望ノ特有トスル所ナリ、奈何トナレバ、此願望ニアリテハ其内容尤モ單純ニシテ、其満足ヲ生起センコト尤モ容易ナレバナリ。覺官的ナラザル願望ニアリテハ、其關聯スル思想圈ノ益、廣大ナルニ從ヒ、其満足モ愈、不十分ナリ、是レ此圈界ノ大ナルニ隨ヒ、多ノ緊張ヲ殘ル限ナク解除スル困難ハ愈、増加スベクレバナリ。概スルニ、人ノ心象生活ノ豐富トナルニ隨ヒ、心象活動ノ次第ニ増進シ且ツ其間ニ行ハル、關係ノ富賡トナルト共ニ、此ニ顯出セシ願望ヲ十分ニ満足セントスル事ハ益、困難トナルモノナリ。是カ故ニ動物、兒童及ヒ素朴ナル蠻

人ノ願望ヲ満足セシムコトハ、教育アル人ニ於ケルヨリモ蓋シ頗ル容易ナルベシ。各ノ願望ハ覺官上或ハ智力上ノ必要ニヨリ増加スルモノナリ。願望ノ覺官上或ハ智力上ノ必要ニヨリ増加スルモノナリ。其ノ必要ノ及ヒ精神的、社交的、及ヒ經濟的、生活ノ愈々複雑トナルニ隨ヒテ、著者ト「幸福ノ問題」第八章ト對照スベシ。

(備考二) 願望及ヒ満足ハ期待及ヒ實現ト同一ノ關係ヲ有ス。期待ハ空想ノ作用ニヨリテ其目的ヲ理想シ、爲ニ其實現ヲシテ期待ニ副フコト能ハザラシムルコトアリ、此ノ如ク願望ノ満足ニ就テモ是レマデノ蠱惑ヲ解悟セシ場合多キコトハ人ノ熟知セル所ナリ。例ヘバ市街ノ住民ハ田舎ニ移ラシムコトヲ望ミ、田舎人ハ市街ヲ欲スルモノナレドモ、既ニ斯ノ如キ轉移ヲナストキハ、熟レモ唯、ソノ期待ノ一部分ノ實現セラレタルノミナルコトヲ知ルベシ。

第八十四節

意力ト心象及ヒ感情トノ關係

願望ハ又感情ト等シク其座位ヲ心象群ニ有スルモノナリ。願望テフ一ノ孤立セル能力ナキコトハ、猶ホ別ニ感情テフ一個ノ能力ナキガ如シ、否、寧ロ願望ハ諸心象間ニ於ケル相互作用ノ一形式タルノミナリ。願望ノ感情ト相異ナレル點ハ、感情ハ多クハ蒙蔽中ニ隠ル、モノナルニ、願望ハ自ラ獨立ノ内容ヲ有スルニ在リ。願望ハ其物體ノ心象ニ於テ其中心點ヲ存スト雖モ、感情ニテハ全ク之ヲ缺ケリ、是レ吾人ハ何物ヲ願望スルカヲ知ラザルベカラザレバナリ。不知ナルコトニハ、願望ナシ。是ヲ以テ散漫ノ感情アレドモ、散漫ノ願望ナルモノハアラザルナリ。或ハ願望セル物體中ニ乘類スルメテ蒙蔽ノ心象ニ基ク、所謂欲願ル喫烟ノ欲願ノ如キコトナリ。然リト雖モ、願望及ヒ感情ハ密ニ相關係セルモノニシテ、各、一ヨリ他ニ通過スルコト少ナカラズ、奈何トナレバ、意力ノ昂進及ヒ沈降即チ運動ハ感情ノ緊張ヲ離レテハ其如何ナルモノナルカヲ考ヘ難ク、又他方ニ

於テハ諸心象ノ緊張ナルモノハ其間ニ或運動ヲクンバ成立スルコト能ハザレバナリ。希望、愛情、友愛、懷郷病、愛國心ノ如キハ、孰レモ皆願望及ヒ感情ノ特質ヲ有スル心情ノ状態ナリ。

サレドモ一般ニ言フトキハ、感情ハ靜狀ノ作用ニシテ、願望ハ動勢ノ作用ナリ、感情ニアリテハ諸心象群ハ其各部間ニ於ケル相互ノ緊張ニヨリテ平稱ノ狀ニ在リ、然ルニ願望ニテハ心象群中ニテ別立セル一個ノ心象ハ、總テ其他ノ諸心象ヲ離レテ或ハ興起セラル、カ或ハ壓伏セラ、ニ至ルモノナリ、又感情ニテハ快樂或ハ苦痛ヲ所動的ニ受クルモノナルカ故ニ、意識ノ主觀的状態ハ其現ニ在ルガ如ク、不動ナルコトヲ得ベシ、然ルニ願望ニテハ能動的ニ他ノ状態ニ通過セントスルヨリ、意識ノ現狀ヲ破毀セザルヲ得ザルコト、ナルナリ。

心象ガ或彰著ノ點ニ達シ、而シテ之ニ從屬スル心象群ノ制遏ニシテ右心象ニ反抗スルニ足ルベキ強度ヲ有スルトキハ、直ニ此不快ノ感情ヨ

リシテ自然ニ願望ヲ開發スルモノナリ。人モシ不安及ヒ苦痛ノ物躰ヲ知リタルトキハ、之ヲ排棄セント努ムルハ自然ノ勢ナリ。サレバ懷郷病ニ惱マサル、人ハ歸郷ヲ願ヒ、病者ハ健全ヲ望ミ、囚人ハ自由ヲ欲スルモノナリ。廢棄及ヒ禁止ハ吾人ノ習熟セル心象ヲ壓伏スルガタメ、吾人ヲシテ或不安ノ感ヲ生ゼシム、是レ禁止セラレシ物躰ヲ願望シテ(禁制物ニ對スル努力)此感ヲ脱センコトヲ索ムル所以ナリ。

是カ故ニ願望ハスベテ心象行動ノ運命ヲ感情ト與ニ分受スルモノナリ。サレドモ吾人ハ願望ノ場合ニハ感情ニ於ケルヨリハ一層正當ニ再現、記憶力及ヒ想像力ノコトヲ説クヲ得ベシ、是レ願望ハ特殊ナル心象ノ内容ニ依ルモノニシテ、隨ヒテ其聯合セル幫助ノ意識内ニ現ハルル毎ニ共ニ復リ來ルモノナレバナリ。サレドモ幫助ノ強度ハ時順ト共ニ減少スルモノナルカ故ニ、願望ノ勢力モ亦低減セザルヲ得ズ、斯クテ願望ハ感情ト等シク時順ノ經過ト共ニ遲鈍トナルモノナリ。遂ニ

幫助ノ蒙蔽トナリタルトキハ願望ハ中性ノ狀ニ(視以外、心以外ニ)沈降スベシ、加之願望ハ若シ反對カ十分ニ幫助ニ勝ツトキハ、全ク反對ノ努力ニ變スルコトアリ。斯カル方法ヲ以テ或物體ニ對スル愛ハ、若シ經驗ニヨリテ從來ノ非ヲ悟リ、幻覺ヲ破リシ後ハ一變シテ憎惡トナルベシ。

(備考一) 吾人ノ意識ハ直接ノ物慾ニ影響セラル、コト多ク、而シテ心理的脩練ニヨリ諸心象間ノ直接關係ニ意ヲ注グコト少ナキニ隨ヒ、心情ハ益々願望ノ刺衝ニ動カサレ易ク、且ツ願望ハ激動ノ性ヲ帶ブルコト愈々多カルベシ。兒童ハ其見タル諸物ヲ盡ク望ミ、無教育ノ人ハ激動的ノ慾望ヲ有スルヲ以テ著シキモノナリ、之ニ反シテ教育アル人ハ奈何様ニシテ其願望ヲ檢束スベキカヲ知り、すどあ派ノ聖賢ハ其格言上ノ推斷ニヨリテ願望及ヒ之ヨリ生起スル必要ヲ排拒セリ。「すどあ派」ノ禁壓ハ皆正論ヲ失シタルモノナリ、奈何トナレバ、此等ハ願望

ト共ニ意志ヲ絶チ、以テ願望ノ根柢ニアラス、其規制ニナリ。道徳ノ吾人ニ要求スル所ハ、願望ノ禁壓ニアラス、其規制ニナリ。道徳及ヒ意志ノ微力ヲザルハ、道徳上サレドモ吾人ハ此ノ如キ無願望ト近代ノ純的心調トテ混同スベカラズ、ソハ後者ハ心身上ノ遲鈍ニ基キ、寧ロ老舊時代ノ魯鈍性ト同種類同一ニアラス、ノモノナレバナリ。

(備考二) 屢々願望ヲ再現スルトキハ大ニ其強度ヲ増進スルコトヲ得ベシ。其次第八、願望セル物體ノ心象ハ意識内ニテ其反對ニ抗爭スルカ爲ニ、直接再現ニヨリテ先ニ蒙蔽ナリシ該物體ノ心象ヲ自由ナラシメ、以テ大ニ努力ノ全勢力ヲ強カラシムベシ、就中先キノ願望カ満足ト聯結セル場合ヲ以テ殊ニ然リトス、是レ満足トハ即チ反對ノ制服ヲ謂フモノナレバナリ。此ノ如キ方法ニヨリテ願望ハ偏向及ヒ性癖トナルコトヲ得ベシ。

(備考三) 願望ハ其欲スル物體ニ一定ノ興味ヲ付シ、且ツ各人各時ニ

於ケル願望ノ相對ニ從ヒテ變動スル所ノ價值ヲ該物躰ニ與フルモノナリ。渴者ハ水ヲ望ミ、飢者ハ食ヲ欲シ、倦怠者ハ鬱散ヲ、疲勞者ハ休息ヲ、研究者ハ真理ヲ、守錢奴ハ黃金ヲ、囚徒ハ自由ヲ願望スベシ。願望ノ圈內ニ漸次牽込マル、モノハ其自躰ニ於テ願望スベキ價値アルモノ、ミニアラズ、又其物ニハ斯カル價値ナクトモ、他ノ願望ヲ満足セシムベキ導子トシテ或實利的價値ヲ有スルモノ是ナリ。斯クテ願望ハ獨リ目的ノミナラズ又手段ヲモ其中ニ包有シ、單ニ美及ヒ善ノミナラズ又利アルモノヲ望ミ、將タ適意ノモノ、ミナラズ、又一層大ナル快樂ヲ得ンタメノ手段トナル限リハ、不適意ナルモノヲモ欲スルナリ。

第八十五節 願望ノ相互作用

願望ノ相互作用ハ心象ノ相互作用ト共ニ生ズルモノナリ。諸ノ願望ハ同一或ハ同種ノ物躰ニ向フトキハ相互ニ薦進スベク、若シ又ソノ相

容レザル諸物躰ニ向フトキハ互ニ制遏スベシ。例ヘバ宗教上ノ努力ハ道德上ノ同種ナルヲ以テ二者ハ互ニ薦進スベク、愛國心ハ本國改革ノ努力トハ全ク途ヲ異ニスレドモ、而カモ二者ハ其畫策及ヒ行爲ニ於テ等シク満足ヲ得ラルベシ。是ニ反シテ學術上達ノ努力ト肉身的放逸(骨牌、酒遊等)ノ欲望トハ相兩立セザルヲ以テ二者ハ相互ニ侵害スベシ。心情ノ限狭ハ願望ノ場合ニ於テモ亦之アリ。吾人ノ努力ハ唯一ノ目的ニ向ヒテ盡ク他ノ目的ヲ排拒シ、以テ其複多及ヒ撞着ニヨリ徒ニ散亂スルコト少ナキニ應シテ、愈々強大ニシテ久シキニ耐フベシ。教育學及ヒ心理學ハ宜シク此事實ニ注目シ、以テ夥シキ努力ノ目的ヲ立テ、人ノ心カヲ徒費シ、之ヲ痿痺セシムルコトアルベカラズ。古來何レノ處ヲ問ハズ、一大事業ヲ成就セシモノハ皆、ダ々努力ノ凝聚ニ由レリシナリ。(ころんぶす。經濟社會ニ於ケル分業ノ原則) 現時ノ教育ハ心

徒ノ努力ヲ徒費セシトスル危險アリ。若シ注意力ヲ同時ニ餘リ夥多
ノ事(國語、音樂、圖畫、体操、舞蹈、速記術)及ヒ其他ノ諸藝ニ注グトキハ、獨
此外部ノ不幸ニモ、現時既ニ一人ニ過多ノ其害ヲ受クベキナリ。

(備考一) 若シ一切ノ努力ニシテ宛モ光線ノ如ク或中心點ヨリ輻射
シテ再ヒ之ニ歸一スルトキハ、是レ管ニ外部ノ成蹟ノタメノミナラ
ズ、又人ノ精神並ニ心情ノ状態ニ對シテ尤モ宜シキヲ得タルモノト
ス。サレドモ内界及ヒ外界ヨリ來レル衆多ノ誘因ニツキテ斯クナ
サノコトハ容易ノ業ニアラズ、且ツ此場合ニハ豫メ願望ノ比較及ヒ
秤量ヲ要スルモノナリ。悟性及ヒ理性、謹慎及ヒ徳義ノ來ルハ此ニ
在リ。

(備考二) 願望ノ衝突ハ同一ノ物躰ヲ一方ヨリハ願望シ、他方ヨリ嫌
惡スル場合ニ起ルモノナリ。此事ハ二ノ異ナル思想圖M及ヒN
ハ意識内ニ入りテ相闘争シ、以テ一方ノMハ心象Lヲ増進即チ昇登
ノ狀ニ置カンコトヲ求メ、他ノNハ之ヲ壓伏即チ沈降ノ狀ニ置カン

コトヲ求ムル場合ニ在リ。此ノ如キ闘争ノ終局ハ二ノ心象圖中孰
レカ一時他ヲ排却スルノ力アルニ因レリ。覺性ト理性トハ心象ノ
二大圈ヲ成スモノニシテ、或願望ノ場合ニ於テハ相抗争スルモノト
ナリテ意識内ニ現ハルベシ。サレドモ又同一ノ圈中ニ在リテモ願
望ノ衝突ヲ生スベキ利害及ヒ思慮ヲ呈スルコトアリ、即チ覺官ノ境
ニ在リテハ(例ヘバ外科ノ諸手術ノ如ク)諸種ノ適意及ヒ不適意ノ相
闘争シ、又道徳ノ境ニテハ諸種ノ道徳的觀念(例ヘバ權利及ヒ公平)ノ
相衝突スル場合ノ如キ是ナリ。此ノ如キ衝突ノ起ルヤ必ズ強大ノ
心情動搖ヲ生シ、隨ヒテ苦痛ノ感ヲ伴ハザルコトナキハ言テ埃タザ
ルナリ。

第二章 願望ノ特形

第八十六節 願望ノ彙類

麟氏實験心理學

願望ニツキテハ左ノ諸點ヲ區別スルコトヲ得ベシ、第一ハ其内容即チ願望セル物體ノ心象、第二ハ其動向即チ動機ニシテ、是レ願望セル物體ノ心象ヲ努力ノ狀ニ致サントスル幫助諸心象ノ複合ナリ、第三ハ其強度、第四ハ其連續コレナリ。

願望ハ内容ニ隨フトキハ覺官的ナルカ或ハ精神的ナルカノ孰レナルベシ(第八十三節參照)。清水ノ願望ハ覺官的ニシテ、問題ヲ解釋シ、歴史上ノ名目或ハ年月ヲ見出シ、真理ヲ發見セント欲スルカ如キ、概スルニ精神上ノ目的ニ對スル願望ハミナ精神的願望ナリ。

願望ノ動機ハ心象ノ制限ナキ活動ニ於テ、或ハ悟性ニ於テ、將々或ハ理性ニ於テ存スルコトヲ得ベシ。此事實ニ基キテ願望ヲ願望本部、意志

第

三

編

及ヒ自定ニ區別スルモノナリ。

意志ハ悟性上ノ願望ニシテ、願望セル物體ニ到達セラルベシトノ心象ニヨリテ指導セラル、モノナリ、故ニ必ス悟性上ノ斷定ヲ要ス。吾人ハ此場合ニモ獨リ目的ノミナラズ、又其自體ニ於テ願望スベキ價值ノ有無ニ關セス、目的ニ達セシムベキ手段ノ願望セラル、コトヲ見ルナリ。人々ノ努力スル大多數ノモノ、即チ所有、富裕、地位等ノ如キハ皆タダ一層高等ナル目的ニ達スベキ手段タルノミ。願望ハ其物體ノ果シテ達セラルベキカニ關スル斷定ヲ加アルトキハ、變ジテ意志トナルナリ。

サレドモ最後ニ斷定ハ手段ヨリ眞ノ目的ニ移リ、奈何ナル物コソ毫モ他ノ事由ニ關セスニ、其物ニ於テ願望スベキ價值アルモノナリヤ、ノ疑問ヲ提出セザルベカラズ。此疑問ハ理性的反省ヲ豫料スルモノナリ。人ニシテ反省ノ狀態ニ在ルトキハ、爰ニ現ハレタル様々ノ意志ニ就テ

或撰擇ヲ爲スガ故ニ其動作ハ自由ナルモノナリ。是ノ故ニ理性的願望トハ反省及ヒ自定ニ基ケル自由意志ナリ。

右ノ外願望ニツキ更ニ幾層ノ小區分ヲナスベキ他ノ視點ハ之ト連結セル願望ノ強度及ヒ連續ノ點コレナリ。連續ニ隨フトキハ願望ヲ經過的(一時)ト慣習的(永續)トニ區分スルコトヲ得ベク其強度ニツイテハ興起スル階級ニ一ノ定點アリ之ヲ過グルトキハ願望ハ自覺セラレザルモノトス。願望ハ此點ノ下ニ在ルトキハ吾人ノ精神的脩練ニヨリテ猶ホ規制スルコトヲ得レドモ其上ニアリテハ欲情トナルナリ彼ニアリテハ吾人ハ願望ヲ規制スベク此ニアリテハ之ニ支配セラレナリ。欲情ハ其概念ニ隨ヒテ慣習的願望ニ屬スルモノナリ而シテ動向及ヒ偏向ノ如キモ亦然リ。

今右ノ如キ小區分ヲ結合スルトキハ次ニ掲グル意力ノ一般分類ヲ得ベシ。

願望

經過的

慣習的

甲、願望本部

覺官的願望
智力的願望

偏向、性癖、動向、自覺的
欲情……………不自覺的

乙、意志

外部ノ意志
動作及ヒ行爲

意志ノ慣習
意志ノ原則

内部ノ意志
有意的注意

丙、自定

自定ノ單一作用

性格

第八十七節 動向

動向ハ人間ハ自然ニ基キテ種類ニ就テハ一定スレドモ物躰ハ不定ナル願望(或ハ嫌惡)ヲ生ズル所ハ永存的傾向ナリ。

動向ヲ願望ト區別スベキ事實ハ左ノ如シ願望ハ經過的ナルニ反シテ動向ハ慣習的ナリ又願望セル物躰ノ心象ハ願望ニ於テハ努力ニ先ツト雖モ動向ニアリテハ之ニ躡クコト是ナリ。

動向ハ不快ノ感覺ト不快ノ感情ノ座位タル蒙蔽ノ心象トヲ以テ其基趾トス。此ノ蒙蔽ナル不快ノ感情ハ不適意ノ情狀ヲ去リテ更ニ適意ナル情狀ニ移ラントスル一般不定ノ努力ヲ生ズルモノニシテ而カモ或彰著ノ心象アリテ之ニ到達スベキ方途ヲ指示スルコトナキナリ。

是カ故ニ動向ハ盲目ナリ而シテ吾人ハ實驗及ヒ偶合ニヨリテ漸次ニ一定ノ物躰ハ此動向ヲ満足セシムベキ相當ノ方便タルコトヲ認知スルニ至ルモノナリ。

飢渴ノ不快ナル感覺ハ元來或方法ヲ以テ此等ノ感覺ヲ除カントスル

第

三

編

一般不定ノ努力ヲ發スルモノニシテ或目途ナキ激動及ヒ尋求トナリテ發表スル一定ノ不安ハ兒童及ヒ動物ヲ支配シ蓋シ數多ノ無効ナル試業ノ後遂ニ相當ノ飲食ニ於テ飢渴ヲ満足スベキ一般ノ方便ヲ發見スルマデハ已マザルナリ。此ニヨリテ食物ノ動向成ルサレドモ此動向ハ一般ノ食物ヲ尋求スルノミニシテ例ヘバ牡蠣或ハ鱈ノ如キ特殊ノ食物ヲ索ムルモノニアラザルナリ。

動向ノ定義中ニハ其自然的動向タルコトヲ含有セリ。故ニ慣習教育及ヒ脩練ニヨリテ人爲的ニ吾人ニ付植セラレシ或願望ノ傾向ハ其慣習的ニシテ有力ナルコト往々自然的動向ニ讓ラスト雖モ此等ハ皆其中ニ入ラザルナリ。喫烟粧飾或ハ政治上ノ自由ノ如キハ往々之ヲ得ントスル努力ガ然ノ動向ニ劣ラザル勢力ヲ以テ現ハルコト少ナカラザレドモ而カモ此等ハ決シテ動向ニアラザルナリ。動向ハ神經ノ活動或ハ心象ノ活動ニ於テ其基趾ヲ存スルニ隨ヒ生理

的及ヒ心理的ノ二ニ區別スルコトヲ得ベシ。運動神經及ヒ筋肉ノ一般ノ活動ハ運動ハ動向ヲ生ズルモノニシテ、特ニ小兒ニ於テ活潑ナリ、サレドモ年齢ト共ニ神經及ヒ筋肉ノ活動性ヲ減ズルニ隨ヒテ、同シク其力ヲ弱ムルモノナリ。嬰兒ノ跳踢、小兒ノ放恣、小年及ヒ成人ノ操戯ノ如キハ、皆コノ動向ノ發表セシモノナリ。各種ノ束縛(桎梏、足械等)ハ運動ノ動向ヲ壓制スルモノナルカ故ニ、苦痛ノ状態トナルナリ。

其他ノ生理的動向ハ、飢餓及ヒ性慾ニ屬スルモノ是ナリ。心理的動向ニ就テハ、普通ノ心象動向ヲ舉グルコトヲ得ベシ、此動向ハ精神的食料ノ動向トナリテ現ハル、モノニシテ、諸心象ノ開展セントスル努力ニ於テ其根底ヲ存スルナリ。精神ノ困倦ハ十分ノ心象運行ヲ缺キ、右ノ動向ヲ壓抑スルヨリ生ズルモノニシテ、何人モ熟知セル苦惱ノ状態ナリ、之ニ反シテ自由ナル心象運行ヨリ生ズル鬱散ハ、此状態

第

三

編

ニ對スル満足中ノ尤モ適意ナルモノナリ。

其他ノ心理的動向ハ、交通及ヒ社交ニ關スルモノナリ、又或意義ニ於テハ之ニ名譽、所有及ヒ權勢ニ對スル動向ヲモ舉グルコトヲ得ベシ。

爰ニ亦混合ノ動向アリ、其基趾ハ人間ノ精神的ヨリハ寧ロ肉體的組織

ニ於テ求ムベキモノナリ。此等ノ動向中ニハ、肉身的運動ト精神的心

象ト、ノ動向ヨリ混成セル動作ノ動向、并ニ人ヲシテ其成存ヲ維持シ、危

難ヲ免レンクメ各事ヲ計畫セシムル所ノ、自己保存ノ普通動向ヲ列ス

ルコトヲ得ベシ。人ニ際テハ往々不熱練ナルカメ、却リテ高ク水上

ニ舉グ偶、以テ其体ヲ沈没ナク速クカキ事、唯是レ例ヘモ、是ヲ以テ該人ハ

更ニ自保ノ動向ナキモ、沈没ト斷スベカキ事、唯是レ例ヘモ、是ヲ以テ該人ハ

ルケルカ如キ本能ヲ乏シヨリテ、正當ノ運動ヲ作シ、水中ニ於テ水中ニ住ス

平稱ノ動物ヲ保テテ之ヲ満足シムルコト、猶ホ陸上ニ於テ其體ベシ。

動物界ニテハ動向ハ本能ノ形ヲナスモノニシテ、人類ニ於テハ此本能

ノ二三ノ初作用ヲ反射作用中ニ見ルノミナリ(第二十五節參照)。本能

チ動向ト區別スベキ事實ハ、其獨リ願望ニ導クノミナラズ、又願望セル物ノ満足ヲモ生起スルニ在リ。本能ハ願望ノ座位ニ起リシ感覺ニヨリテ、反射作用ト同一方法ヲ以テ、自ラ運動ヲ生ズルノ力アル動物機體ノ組織ニ基クモノニシテ、之ニ由リ其願望ヲ満足シ、且ツ有機生活ノ保存、永續ヲナスモノナリ。人類ニ於テ運動及ヒ動作ヲ指導スル所ノ智慧ハ、動物界ニテハ多クハ本能トナリテ存シ、是ニ由リテ其食料ノ撰擇、住所(巢居)ノ構造、移住及ヒ機巧ノ如キ動作ヲナスモノナリ。

(備考) 動物ハ人類ト異ナリテ、孰レノ點ニ於テモ一層制限セラレ、隨ヒテ其身體造構ハ既ニ特殊ノ運動及ヒ發動ニ適スル様ニ造形セラレ、若シ動向ニ指導セラル、トキハ其願望ヲ満足スルニ適スル諸運動ヲ生起スルモノナリ。雛鷺ハ始メテ水ニ接スルヤ、直ニ其身體ハ游泳ニ適合シ、且ツ奈何ナル運動ニヨリテ能ク游泳スベキカヲ知レリ。是ト同一ノ方法ニヨリテ特殊造構ノ肢節ヲ有スル或動物ノ技

術的動向ヲ解明スベシ、即チ此等ノ動物ハ、單ニ其肢節ノ機制ニ於テ發動ヲ生ゼシコトヲ要スルノミ、然ルトキハ二三ノ試業ヲナシタル後、動物ノ機體ニ實現セル觀念ニ對合スル所ノ行路ヲ取リテ自ラ運動ヲ作スニ至リ、蜘蛛ハ績キ、海狸ハ築造スベシ。サレドモ、此等ノ動物ニ於ケル本能的動作ノ特性ヲ解明シ、蜂ハ毎ニ六面ノ蜂巢ヲ營ミ、黃鸝ハ其種ノ特有ナル囀聲ニ隨ヒ、蟻國ノ政躰ハ何レノ處モ常ニ同一ニ、又各個ノ蟻ハ多ノ敎示ヲ待タズシテ其社會ノ秩序ヲ守ルハ果シテ何故ナルカ、ヲ説カントスルハ更ニ困難ノ事業ナリ。此ノ如キ個々ノ事實ニ據ルトキハ、本能ハ多分ノ動作ヲ成スコトヲ得レドモ、全然之ヲ遂グルモノニアラズシテ、此場合ニモ近隣ノ境遇ヨリ生ズル覺官印象ノ變更ニヨリテ限定セラル、コト多キヲ證スルモノ、如シ、奈何トナレバ、動物ハ種々ニ變動スル場處ニ在ルトキハ之ヲ斟酌シテ宜シキニ從フコトヲ見、又ソノ動作ニ於テ無効ノ努力ヲ反覆

シ、缺點ヲ改良スルコトヲ見レバナリ。例ヘバ、黃蜂ハ其巢ヲ營ムニ木屑及ヒ水液ヨリ造リシ紙質ノ物躰ヲ用フレドモ、若シ既成ノ紙片ヲ得ルトキハ總テ其他ノ諸物ヲ措キテ獨リ之ヲ撰用スルモノナリ。

第八十八節 偏向及ヒ性癖

願望ハ個々ノ經過的發動ナリ、動向ハ心内ノ傾向ニシテ常ニ新ニ一定ノ願望ヲ生起スルモノナリ。偏向モ亦其反對ナル嫌忌ト共ニ、或特殊ノ願望ヘノ傾向或ハ忌避ニシテ、屢、復起スル同一種ノ願望ニ於テ現ハル、モノナリ。

サレトモ動向ハ深ク人性ノ組織中ニ根據ヲ有シ、隨ヒテ永存的ノモノナレドモ、偏向ハ其根據ヲタゞ一定ノ心象圈ニ有シ、或心理的方法ヲ以テ起レルモノナレバ、又之ヲ壞ルコトヲ得ベシ。是カ故ニ偏向ハ其中ニ變動ノ性ヲ有シ、其本源タリシ心象圈ト共ニ變動スルモノナリ。青年ト成人トノ偏向ハ相異ナレリ。

一ノ願望カ屢意識内ニ在ルトキハ慣習トナリ、以テ偏向ヲ生ズルモノナリ。若シ人アリ屢、象棋ヲサントスル願望ヲ満足スルトキハ、此願望ハ慣習トナリ以テ其偏向ニ化スベシ。吾人ノ知レルガ如ク願望ノ以テ此心象ヲ此等ノ感情ハ、補助トナシテ呈セシム、而シテ之ヲ物躰ニ付着シ、人カ既ニ願望ヲ満足シテタリ、願望ノ度數ニ隨フモノナリ。斯クテ或心象ヲ圖ト稱スル心象圈内ニ於テ、願望ノ傾向ヲ形成スルニ至ル、是レ吾人ノ象圈ニ及ブ毎ニ必ズ、現實ノ願望ヲ生ズルモノナリ。

人ノ偏向ハ獨リ其慣習ニ付着スルノミナラズ、又其自然ノ資性(天性)ニモ依ルモノナルヲハ人ノ知ル所ナリ。此資性トハ或發動ニ便宜ナル所ノ一定ノ有機的事情ノ和ヲ謂フ。人ノ或物躰ニ對スル資性ニシテ愈、大ナルトキハ、之カ偏向ヲ成サントハ益、容易ナリ、奈何トナレバ、此資性ハ其成功ヲ確保シ、而シテ成功セシ活動ノ感情(第六十九節)ハ願望ノ復起ヲシテ所望スベキモノタラシム、換言スレバ、願望ヲシテ偏向ヲラシムレバナリ。人ハ自然ノ資性ヲ缺ケル事物ニ就テハ到底偏向ヲ